

住民アンケート調査結果

(参考資料)

平成 25 年 2 月

千代川流域圏会議・分科会

1.実施概要

気候変動にともなう防災・減災を考える会では、平成 22 年 7 月設立以来、千代川沿川住民の水害に対する意識啓発のため、防災学習会、防災講演会などの取り組みを行ってきた。

これらの取り組みにより、住民の水害に対する意識がどのように変化したかを把握するため、平成 22 年 8 月に実施したものと同様の設問を設けた住民アンケート調査を実施した。

表 1.1 アンケート調査概要

調査期間	平成 24 年 11 月 12 日～平成 25 年 1 月 8 日
調査方法①	ポスティングによる無作為配布（6,700 部） 返信用封筒を同封し、料金後納郵便
調査方法②	自治会を通して配布・回収 明德地区（890 部） 大正地区（1,490 部） 富桑地区（1,000 部） } モデル地区
総配布数	10,080 部
総回収数	3,136 部（回収率 31.1%）

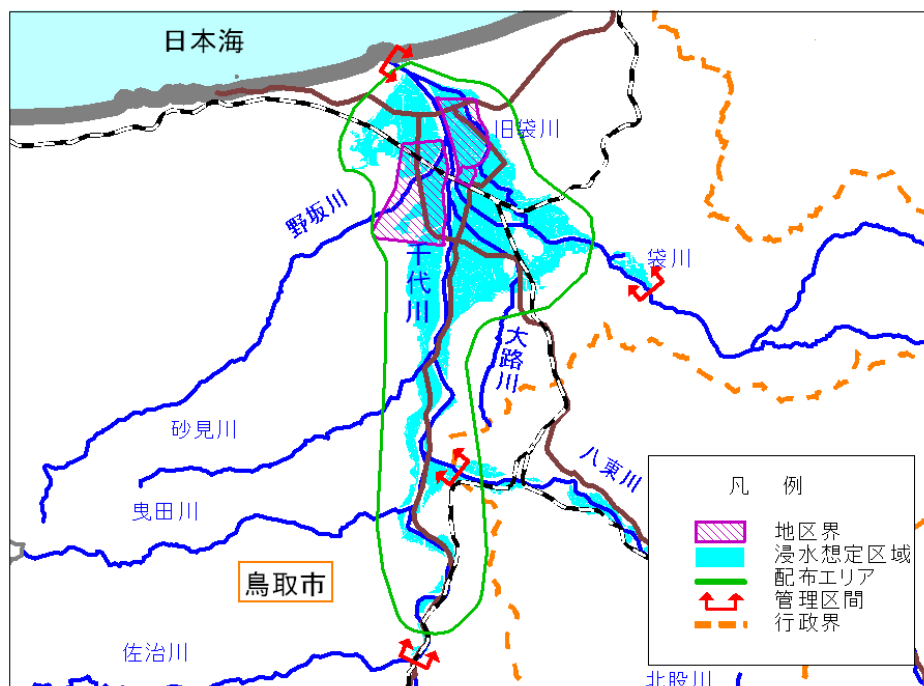


図 1.1 アンケート配布エリア

2.回収状況

自治会を通じて配布・回収を行った明德、大正、富桑のモデル地区では約 40～50%の回収率であった。モデル地区以外については、約 23%であった。

なお、配布部数は、平成 22 年度と平成 24 年度で同数であり、全体の回収率も約 31%と、ほぼ同等であった。

表 2.1 地区別回収状況

地区名		配布方法	配布数 (部)	H24年度 回収数 (部)	H24年度 回収率 (%)	H22年度 回収率 (%)	回収率変化 H22年度比 (%)
モデル 地区	富桑	自治会	1,000	508	50.8	36.3	14.5
	明德	自治会	890	429	48.2	44.0	4.2
	大正	自治会	1,490	664	44.6	43.8	0.7
上記以外の地区		ポスティング	6,700	1,535	22.9	25.8	-2.9
合計		—	10,080	3,136	31.1	31.1	0.0

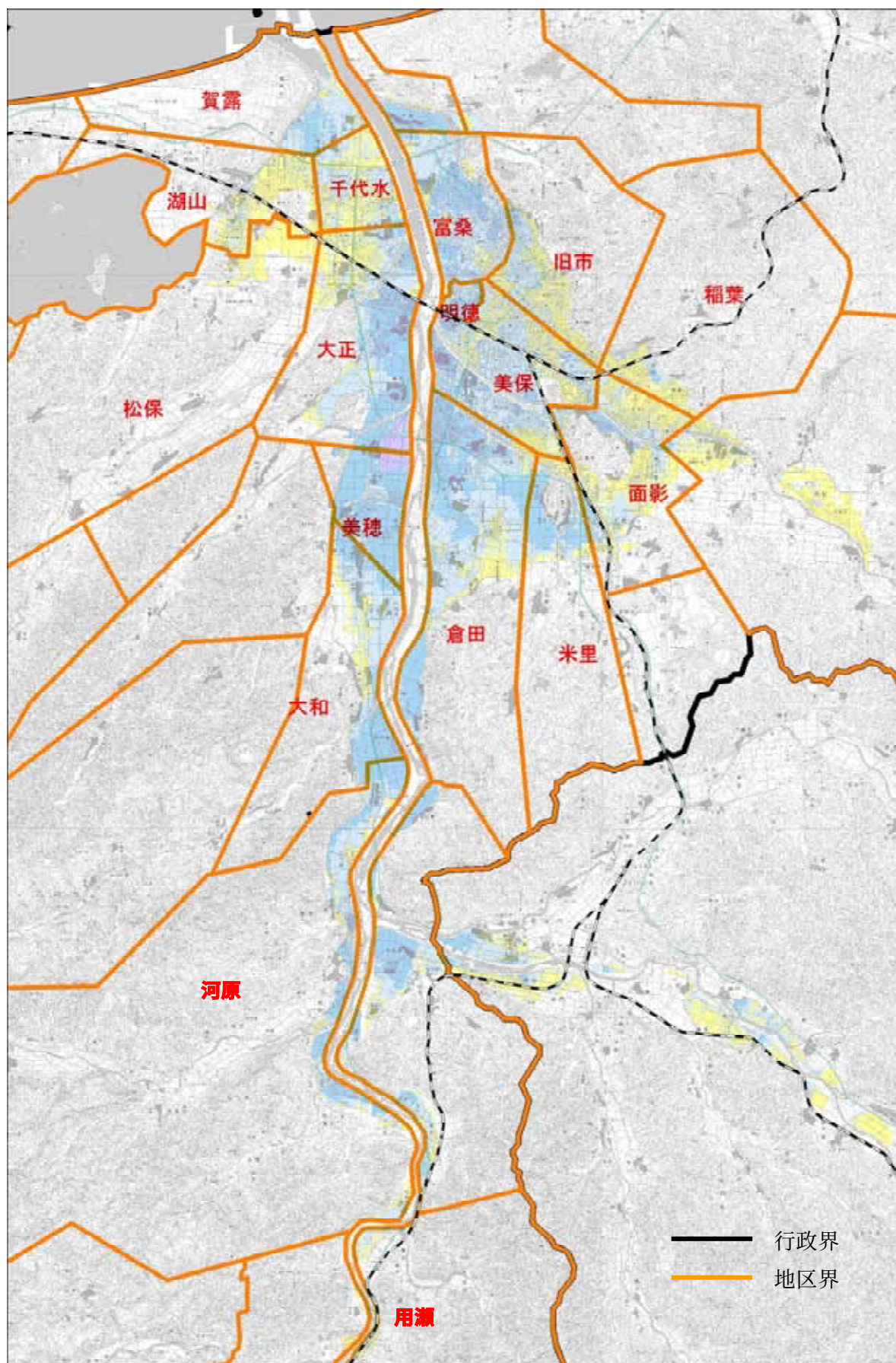
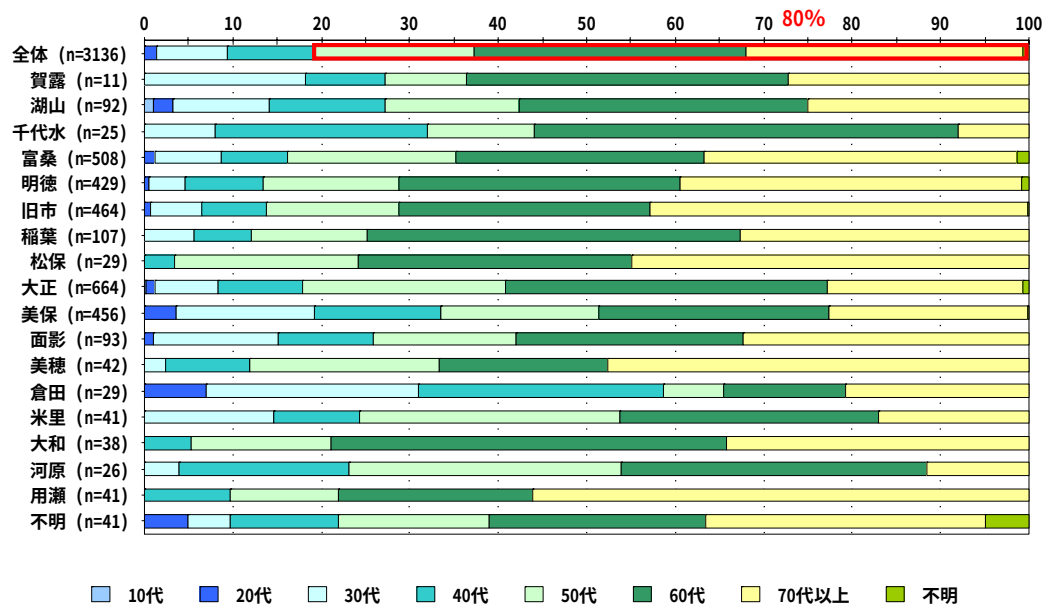


図 2.1 アンケート配布対象地区位置図

2.回答者の属性

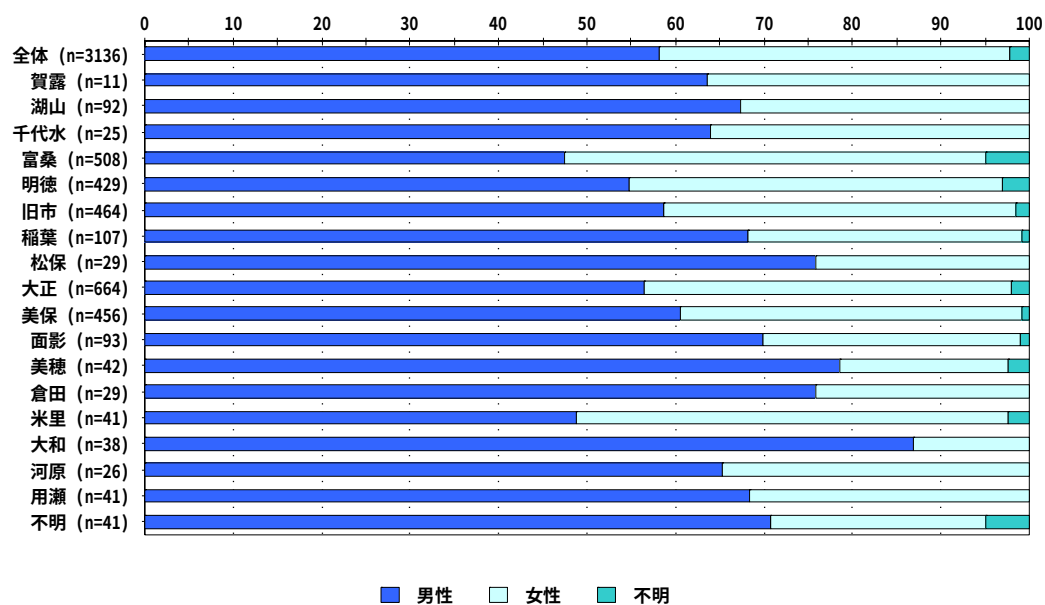
(1)年齢

50代以上の回答者が全体の約80%以上となっている。



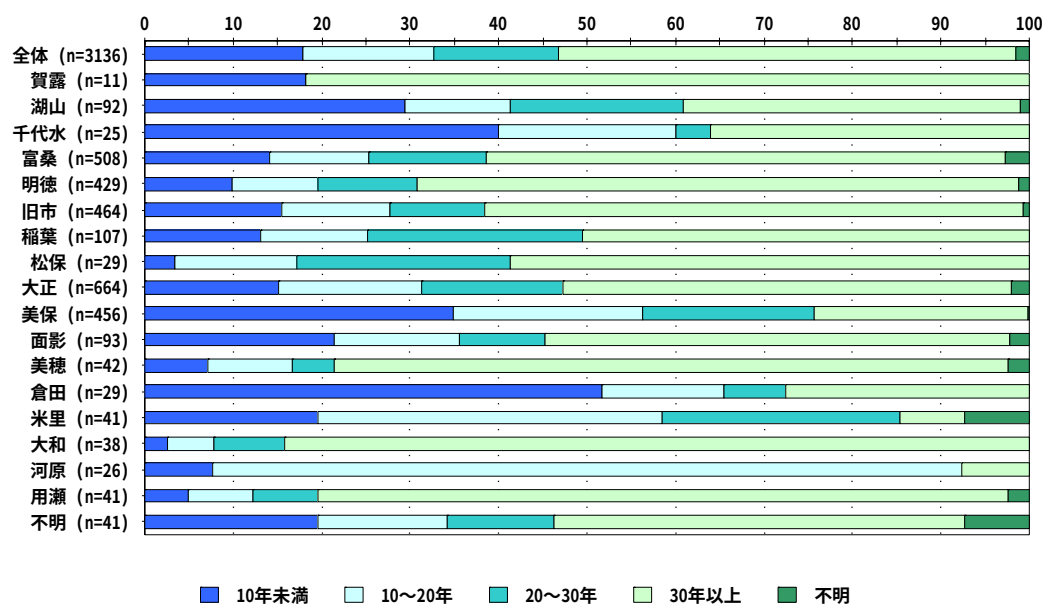
(2)性別

男性が約60%、女性が約40%となっている。



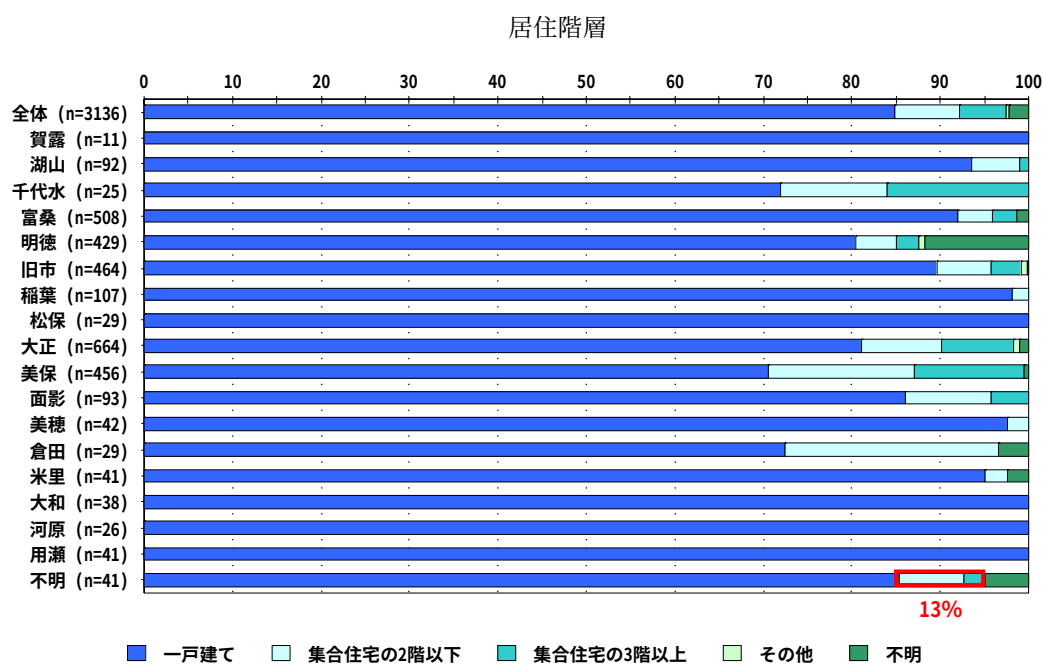
(3) 居住年数

居住年数は、30 年以上が最も多く、全体の約半数を占めている。

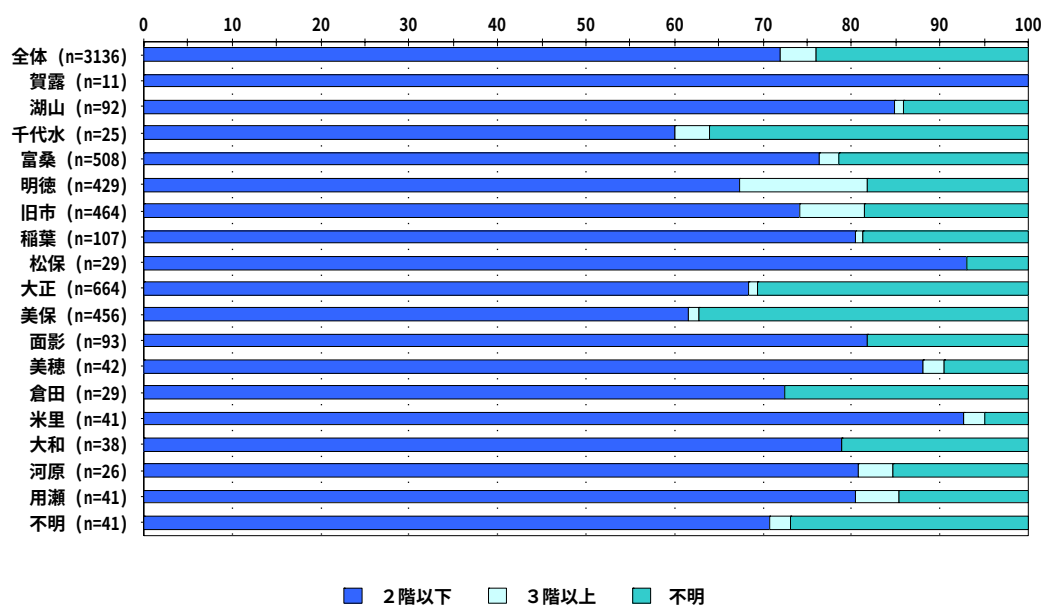


(4)住居

一戸建てに住む人が80%以上を占めている。そのうち1～2階建てが約70%となっている。集合住宅に居住する人は全体の約10%であり、そのうち3階以上は5%と少ない。



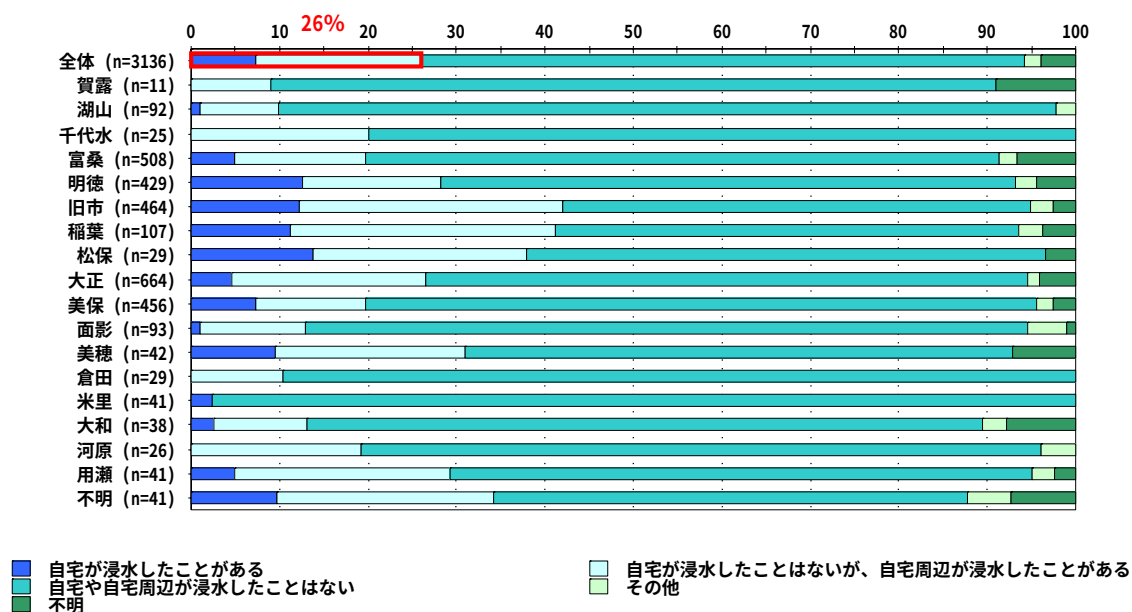
居住階層（一戸建ての内訳）



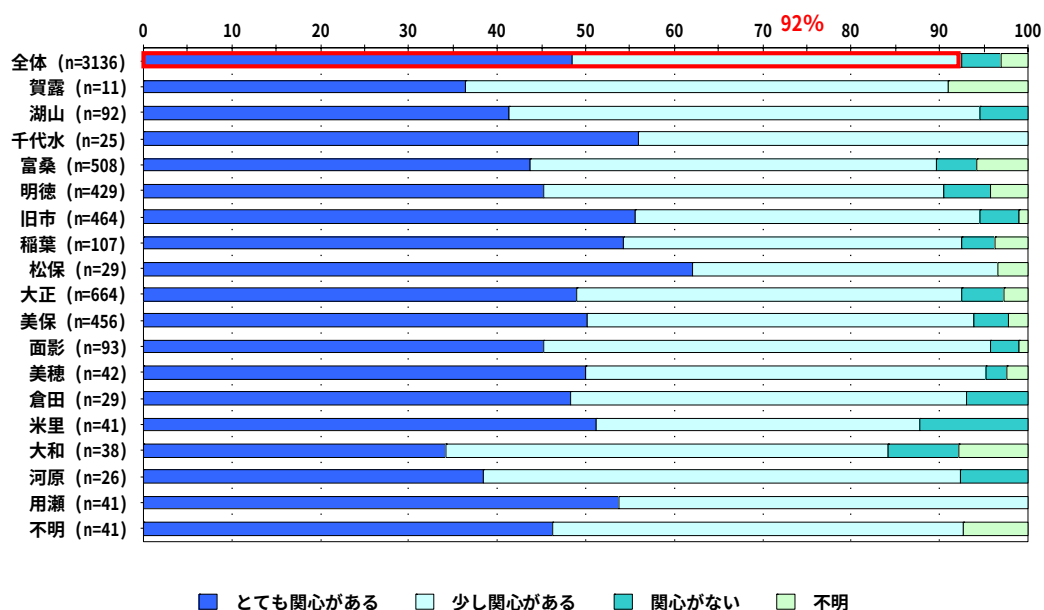
2. 調査結果の整理・分析

問1(1) 自宅や自宅周辺が浸水したことはありますか？次の中から1つお答えください。

自宅または自宅周辺が浸水したことがある人は、約30%であり、浸水経験のない人が約70%となっている。



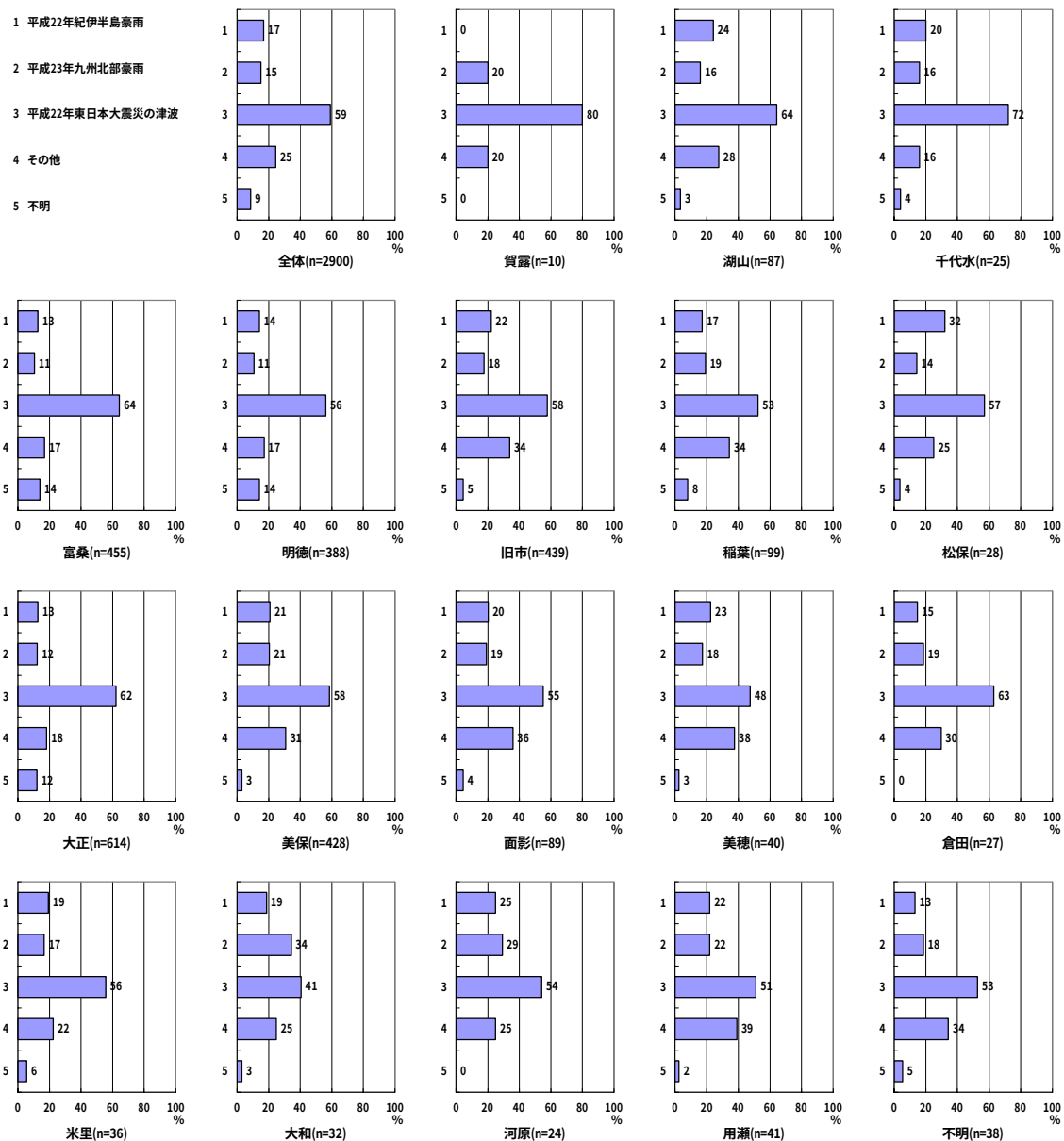
問1(2) あなたは水害について関心がありますか？次の中から1つお答えください。



問1(2-1) 問1(2)で「とても関心がある」または「少し関心がある」と答えられた方にお伺いします。水災害に関心を持ったきっかけは何ですか。該当するものをお選び下さい。(複数回答可)

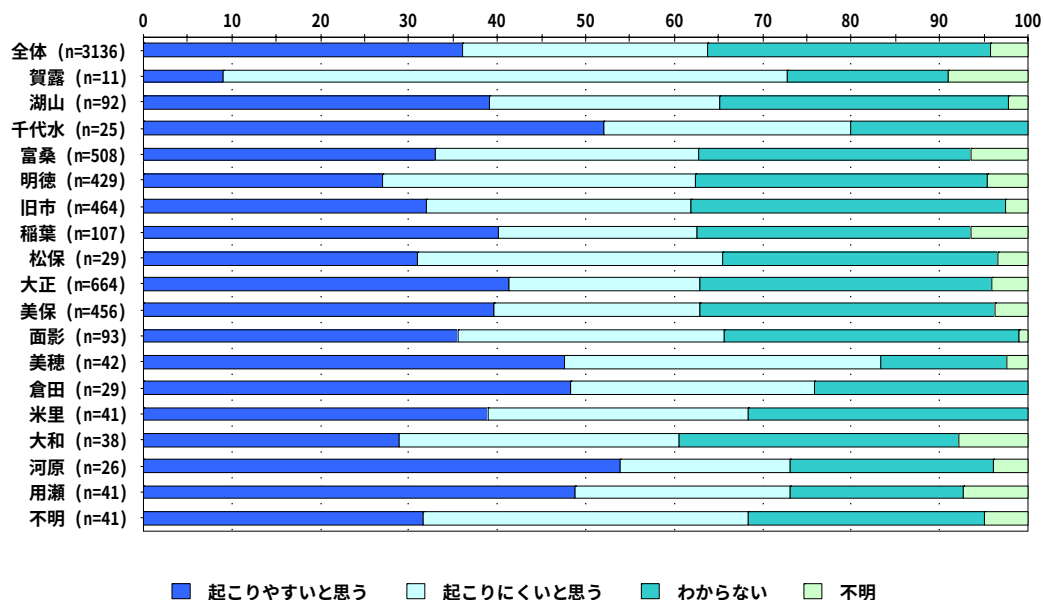
「とても関心がある」、「少し関心がある」と答えた人のうち、「平成22年東日本大震災の津波」をきっかけとして、水害に関心を持った人が約60%を占めている。

その他の回答として「昔から水害に遭っている」、「伊勢湾台風を経験したから」、「他地域の水害の様子を見て」という意見が多い。



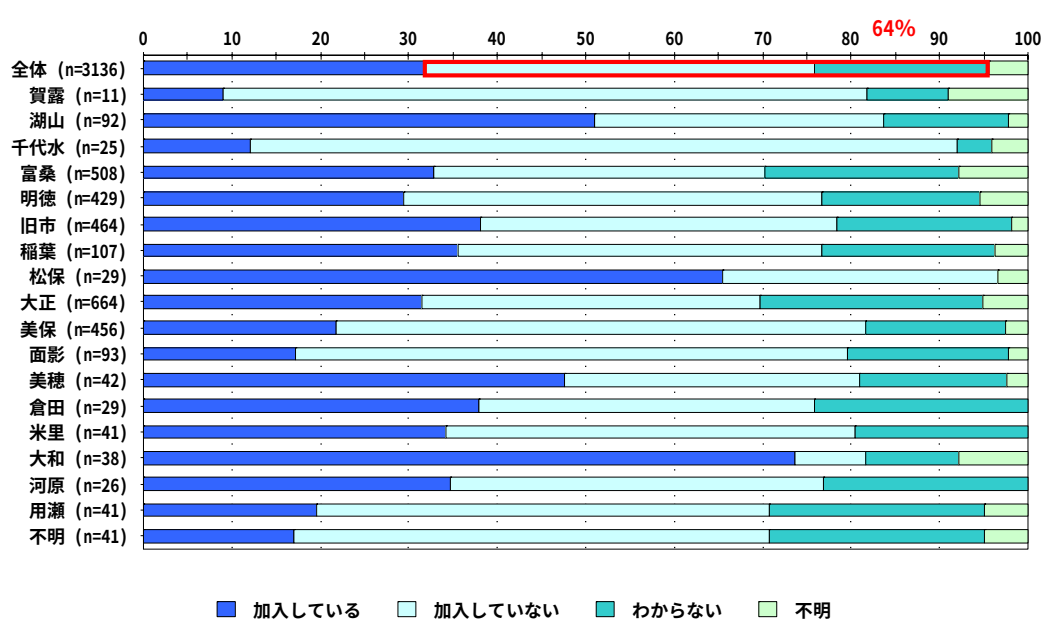
問1(3) あなたは、大雨が降った場合に、千代川は水害が起こりやすい川だと思いますか？次の中から1つお答えください。

「起こりやすい」、「起こりにくい」、「わからない」がほぼ均等になっている。



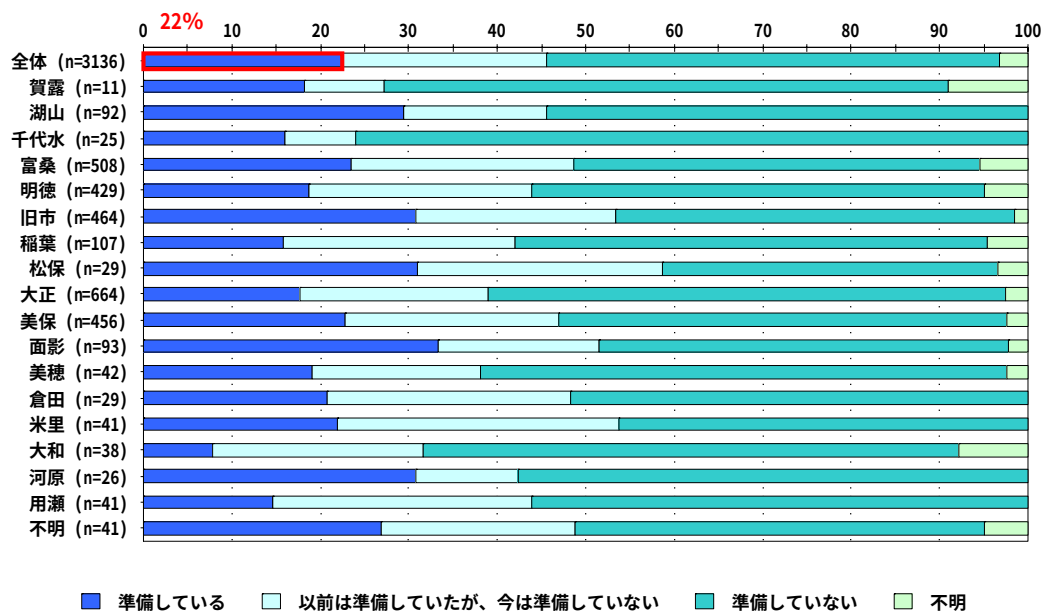
問1(4) あなたは、地域の自主防災組織に加入していますか？次の中から1つお答えください。

「加入していない」、「わからない」と答えた人が60%以上となっている。



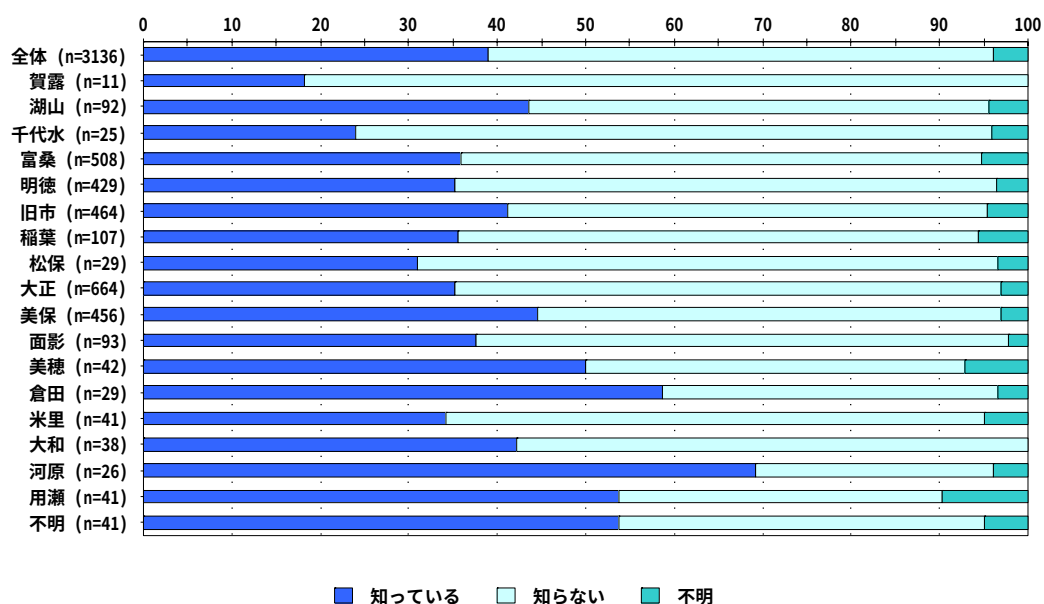
問1(5) あなたは、災害に備えて、非常用持ち出し品（非常用保存食、水、ラジオなど）を準備していますか？次の中から1つお答えください。

非常用持ち出し品を準備している人は、約20%となっている。

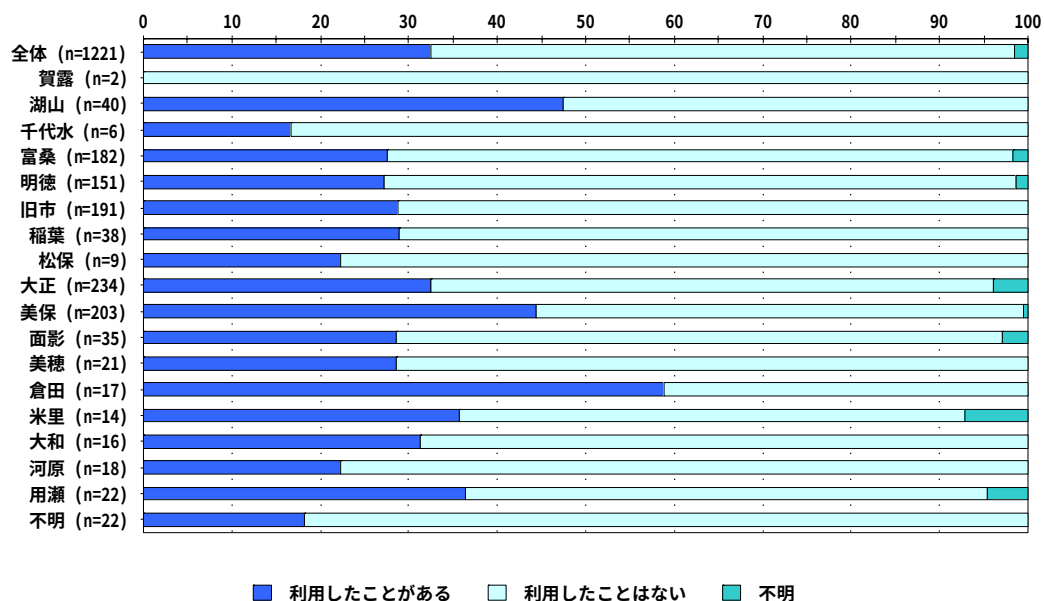


問2(1) あなたは、国土交通省や鳥取県がインターネットや携帯サイトで、雨量や水位などの防災情報を提供していることを知っていますか？次の中から1つお答えください。

防災情報サイトを知っている人は、約40%となっている。そのうち利用したことがある人が約30%であるので、全体での利用率は約10%である。

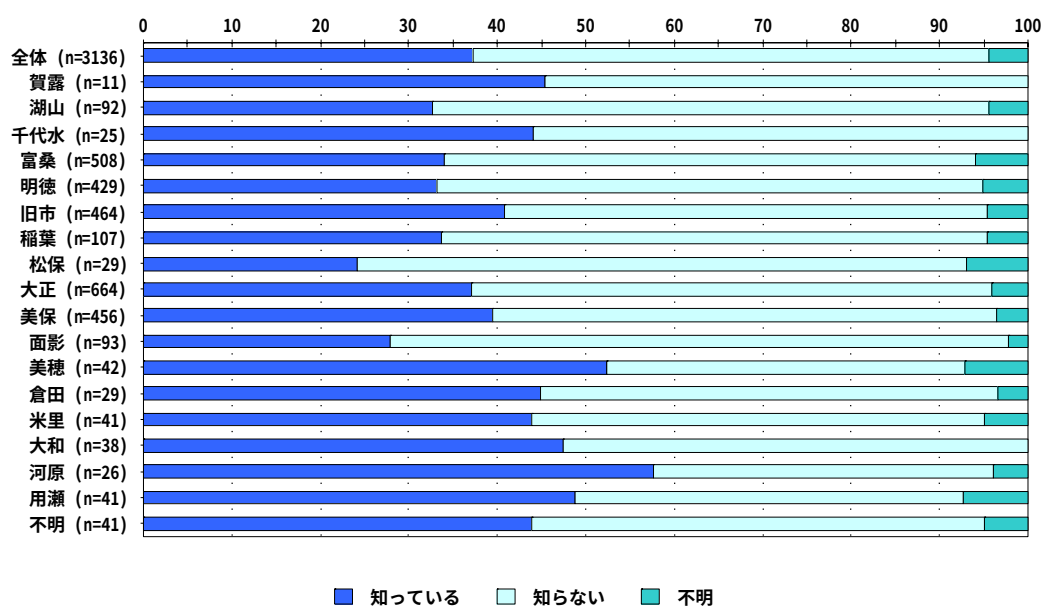


問2(1-1) 知っていると答えられた方にお伺いします。利用したことはありますか。次の中から1つお答えください。

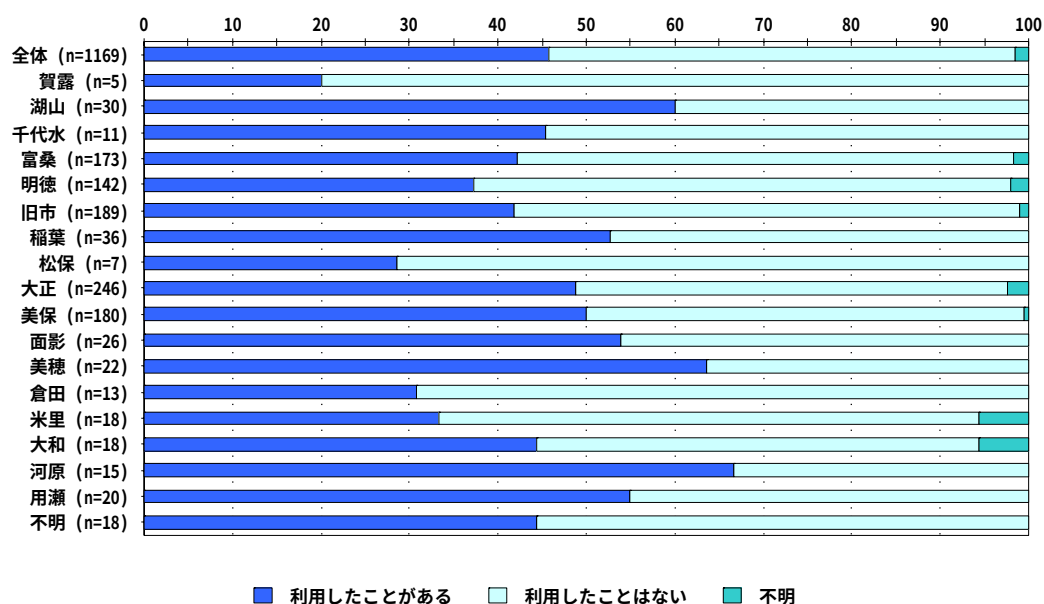


問2(2) あなたは、NHKデータ放送（BSデジタル放送や地上デジタル放送で実施しているもので、リモコンの「dボタン」を押すと見ることができます）で、雨量や水位などの防災情報を提供していることを知っていますか？次の中から1つお答えください。

データ放送を知っている人は、約40%となっている。そのうち利用したことがある人が約45%であるので、全体での利用率は約15%である。

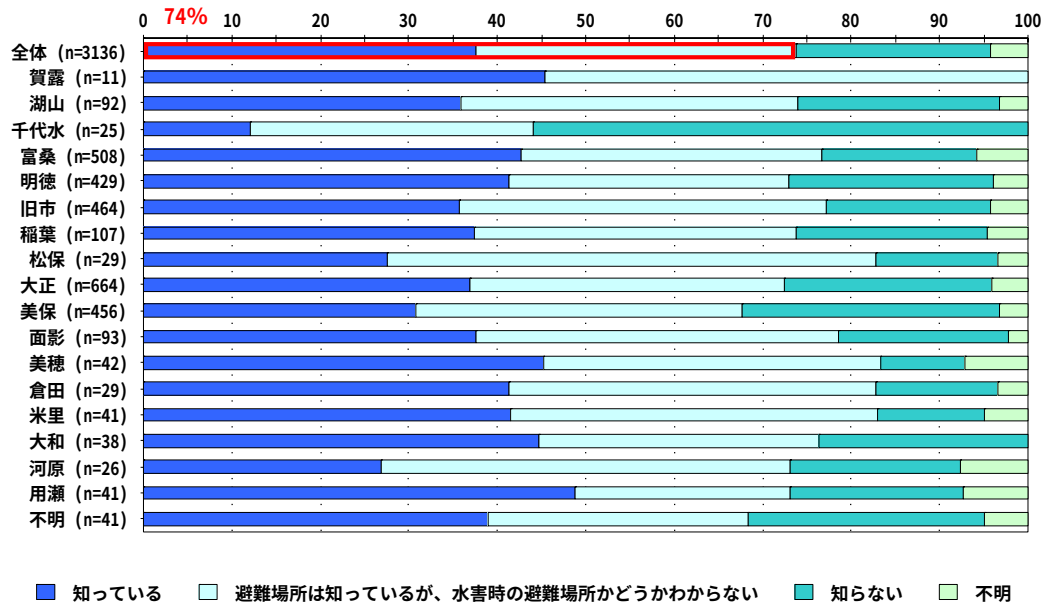


問2(2-1) 知っていると答えられた方にお伺いします。利用したことはありますか。次の中から1つお答えください。



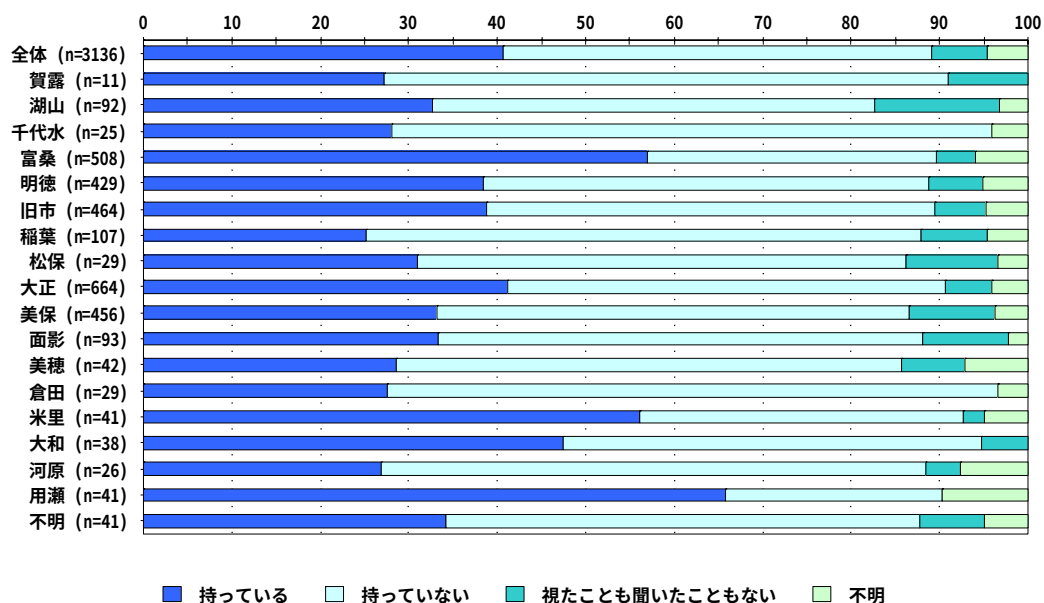
問2(3) あなたは、市や町が指定した水害時の避難場所を知っていますか？次の中から1つお答えください。

指定避難所を知っている人は、約70%であるが、その半数が水害時の避難場所か知らないと答えている。

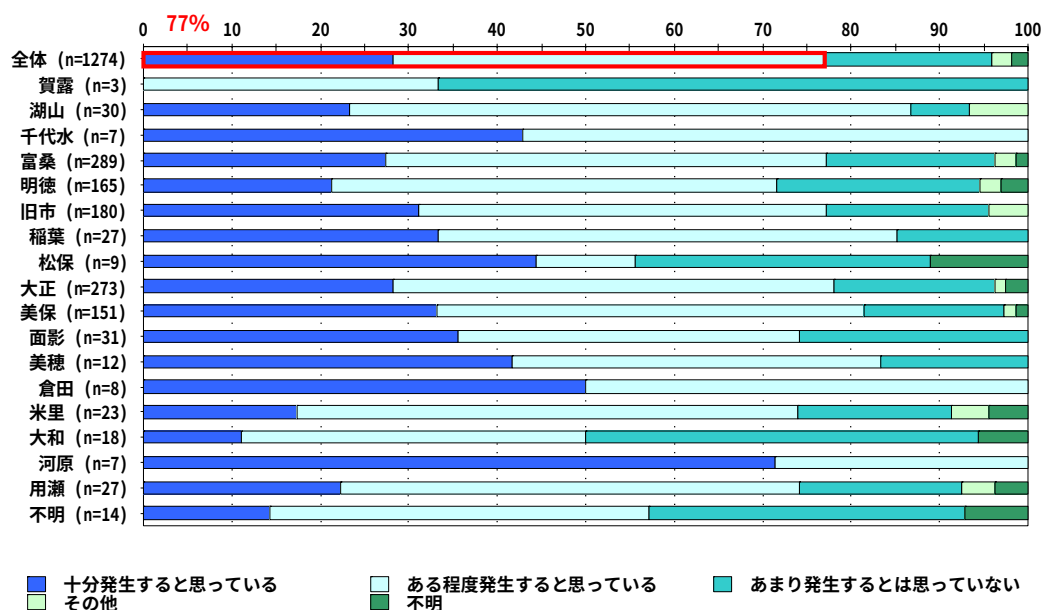


問2(4) あなたは、住んでいる市や町の洪水ハザードマップ（洪水避難地図）を持っていますか？次の中から1つお答えください。

ハザードマップを持っている人は、約40%となっている。浸水想定区域や浸水深については、将来現実に発生すると思う人が約80%と最も多くなっており、大規模な水害が千代川でも発生する可能性があると考えている人が多い。



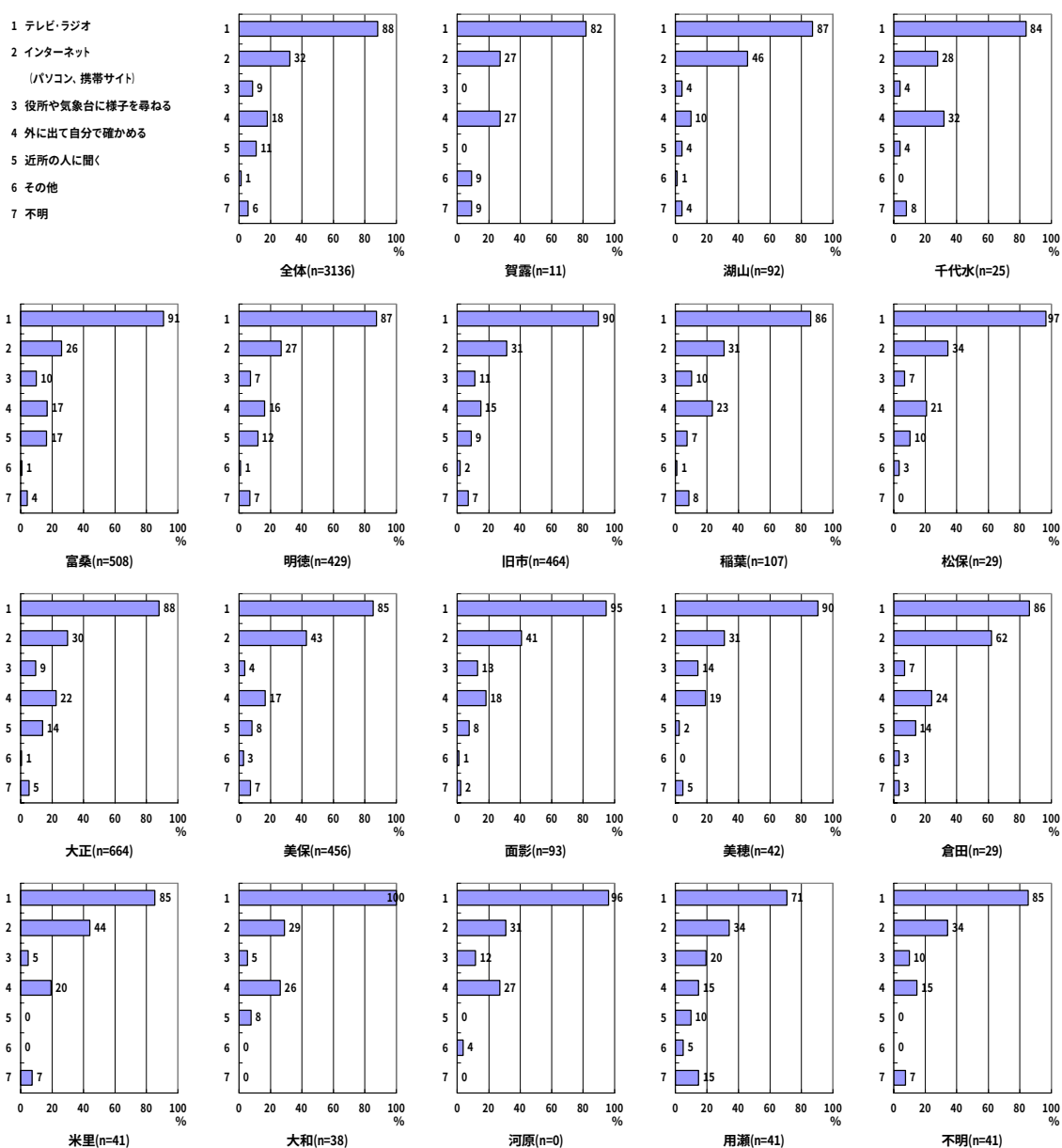
問2(4-1) 持っていると答えられた方にお伺いします。現在の洪水ハザードマップに記載されている浸水する想定区域や浸水深さは、将来現実的に発生するものだと思いますか。次の中から1つお答えください。



大型の台風が九州北部を通過し、6 時間後には千代川流域が暴風域に入る見込みで、既に強い雨が降り始めています。このような状況を想定して、以下の設問にお答えください。

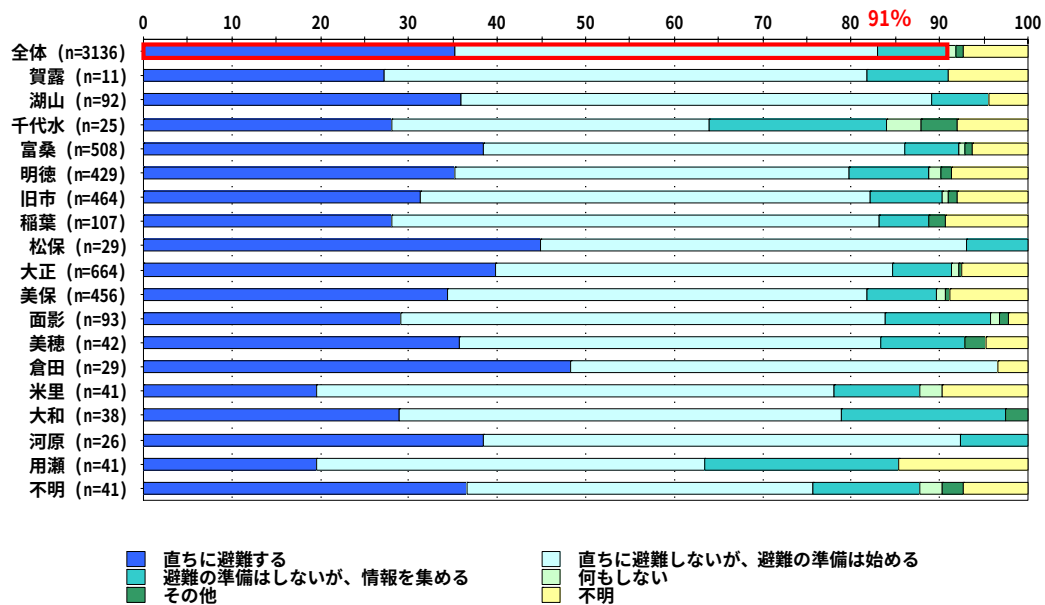
問3(1) 千代川の状況や今後の大雨の状況について詳しい情報が知りたくになりました。あなたは情報を何から得ますか？該当するものをお選び下さい。(複数回答可)

大雨情報の入手先は「テレビ・ラジオ」が約90%と最も多い。次いで「インターネット」が約30%となっている。



問3(2) 風雨が強まり、川が増水しています。外では広報車が避難を呼びかけています。あなたはどうしますか？次の中から1つお答えください。

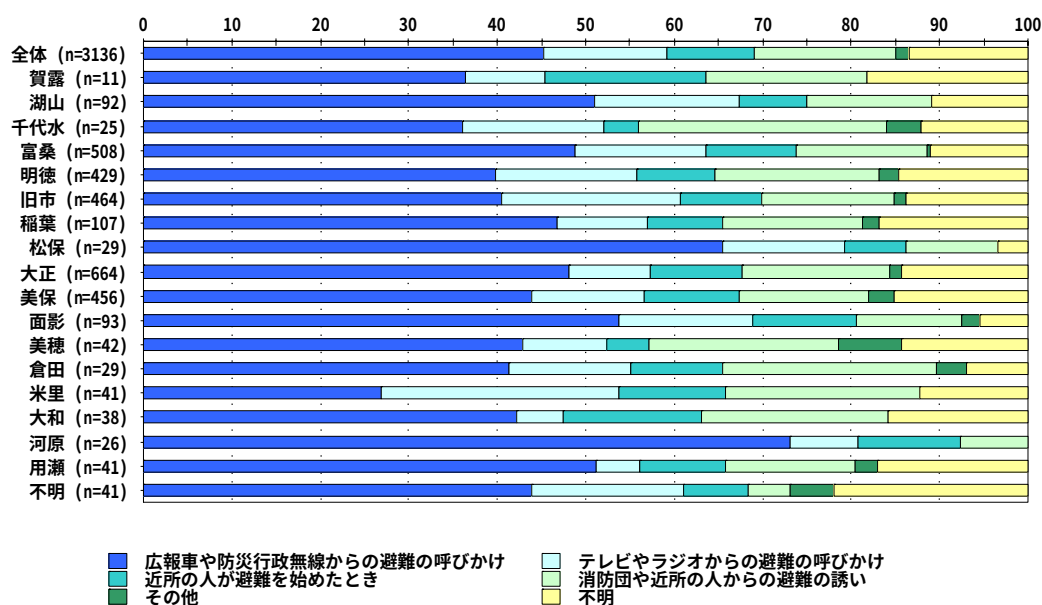
「避難の準備を始める」が約50%と最も多く、次に「直ちに避難する」が35%となっている。90%近くの人が広報車の呼び掛けにより、避難の意識が働くようである。



問3(3) あなたが避難を決心する場合の決め手は何ですか？次の中から1つお答えください。

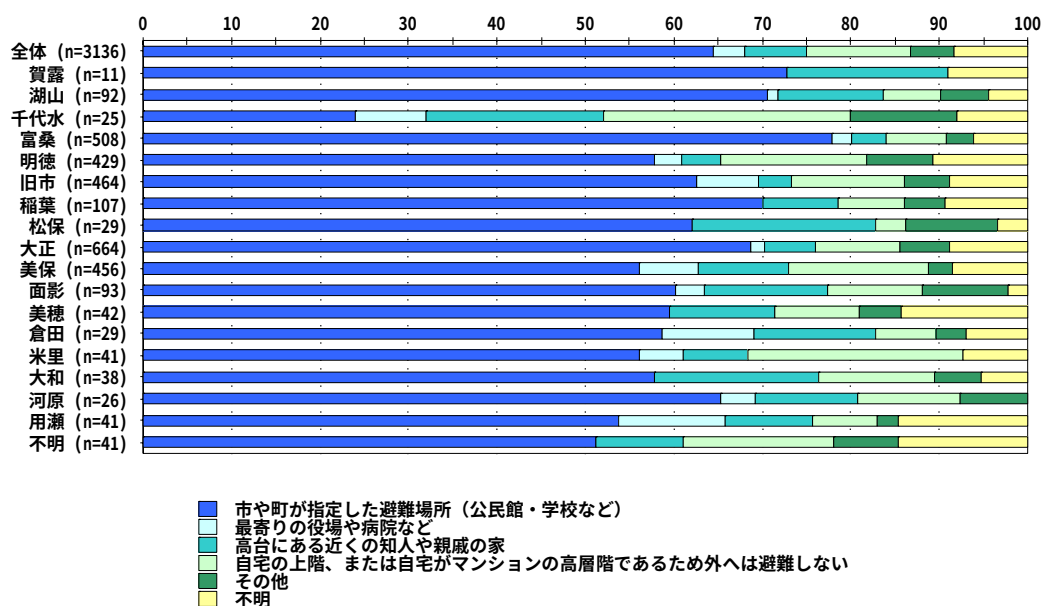
「広報車や防災行政無線からの呼びかけ」が約50%と最も多く、次いで「消防団や近所の人からの誘い」が約15%となっている。

大雨情報の入手先として圧倒的に多かった「テレビやラジオからの呼びかけ」は約10%と少ない。



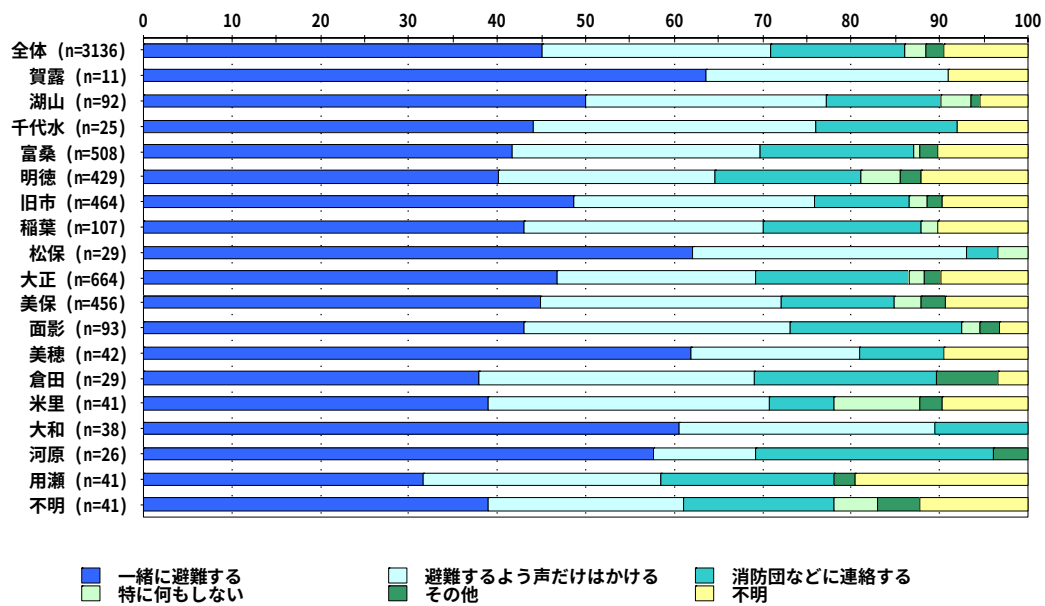
問3(4) 近くの川があふれそうになり、避難しなくてはなりません。あなたはどこに避難しますか？次の中から1つお答えください。

「市や町が指定した避難場所」と答えた人が約65%であり、最も多い。



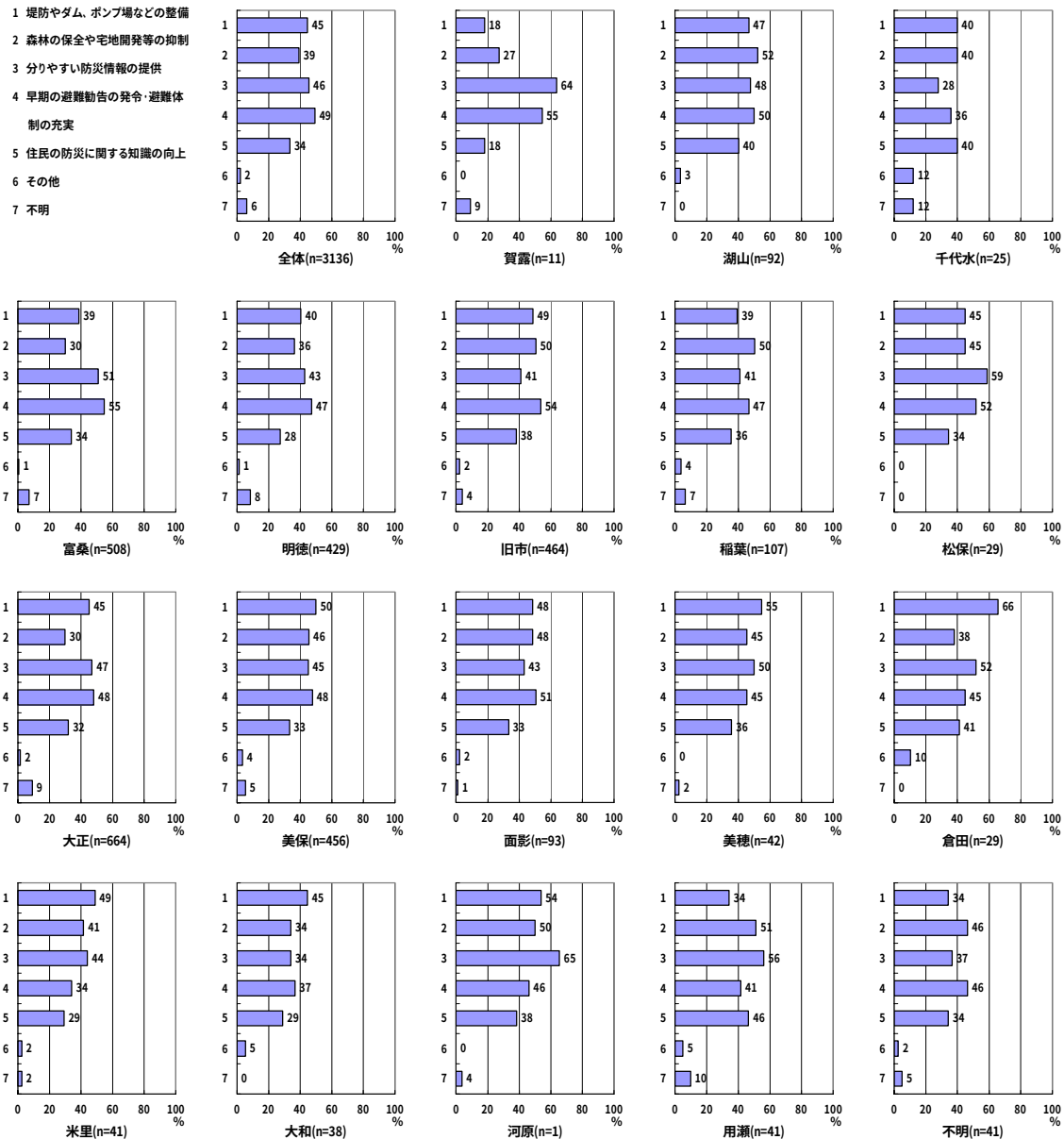
問3(5) あなたが避難している途中に、近所のお年寄りが気になりました。どうしますか？次の中から1つお答えください。

「一緒に避難する」と答えた人が40%以上となっており、最も多い。



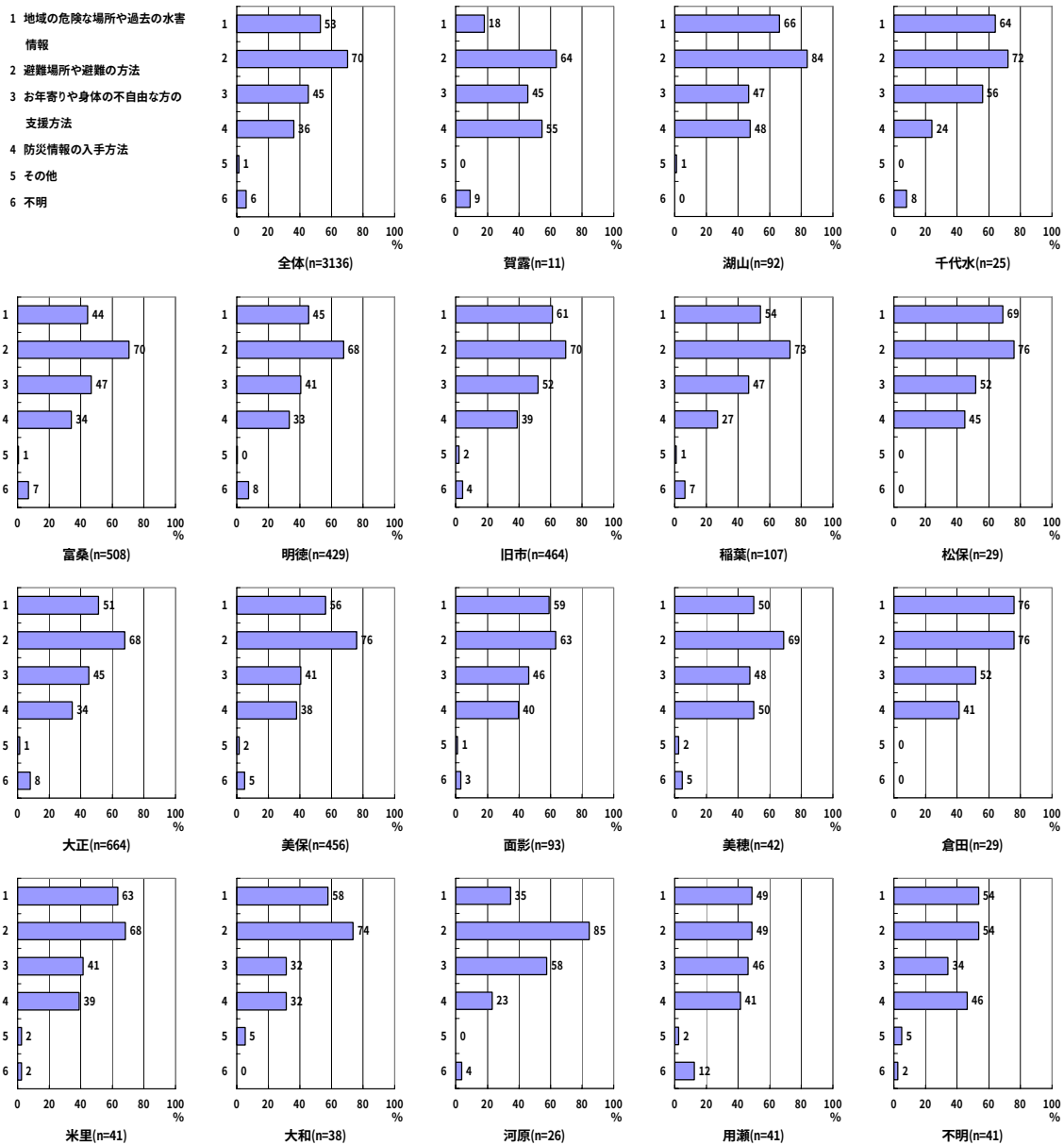
問４（１） あなたは、大規模な洪水被害を軽減するために、どのような対策が必要と
考えますか？該当するものをお選び下さい。（複数回答可）

「早期の避難勧告発令・避難体制の充実」の人が約 50%で最も多い。



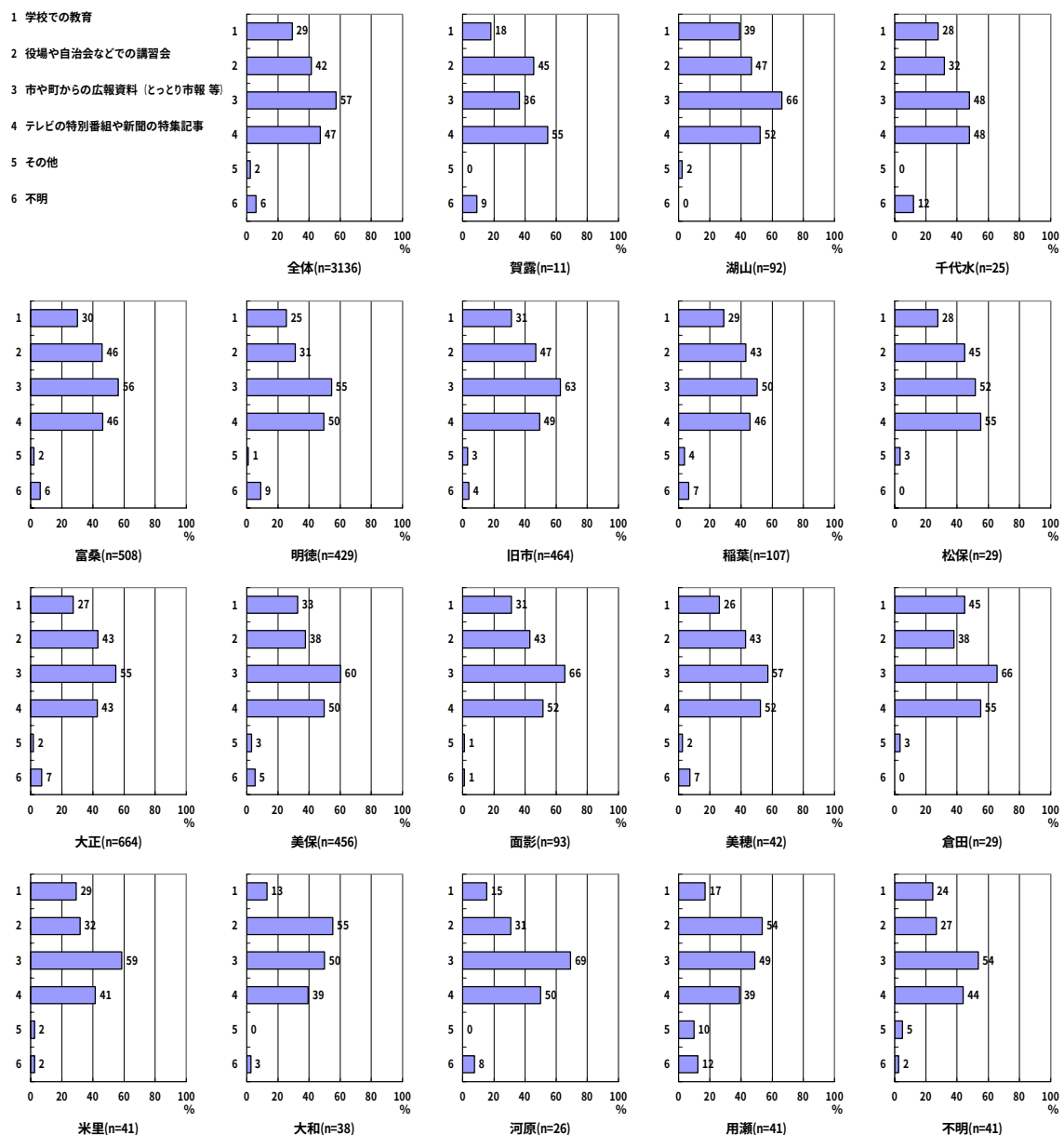
問4(2) あなたは、大規模な水害に備えるために、どのような知識や情報があればよいと思いますか？該当するものをお選び下さい。(複数回答可)

「避難場所や避難の方法」が70%と最も多い。次いで「地域の危険な場所や過去の水害情報」が約50%、「お年寄りや身体の不自由な方の支援方法」が45%となっている。



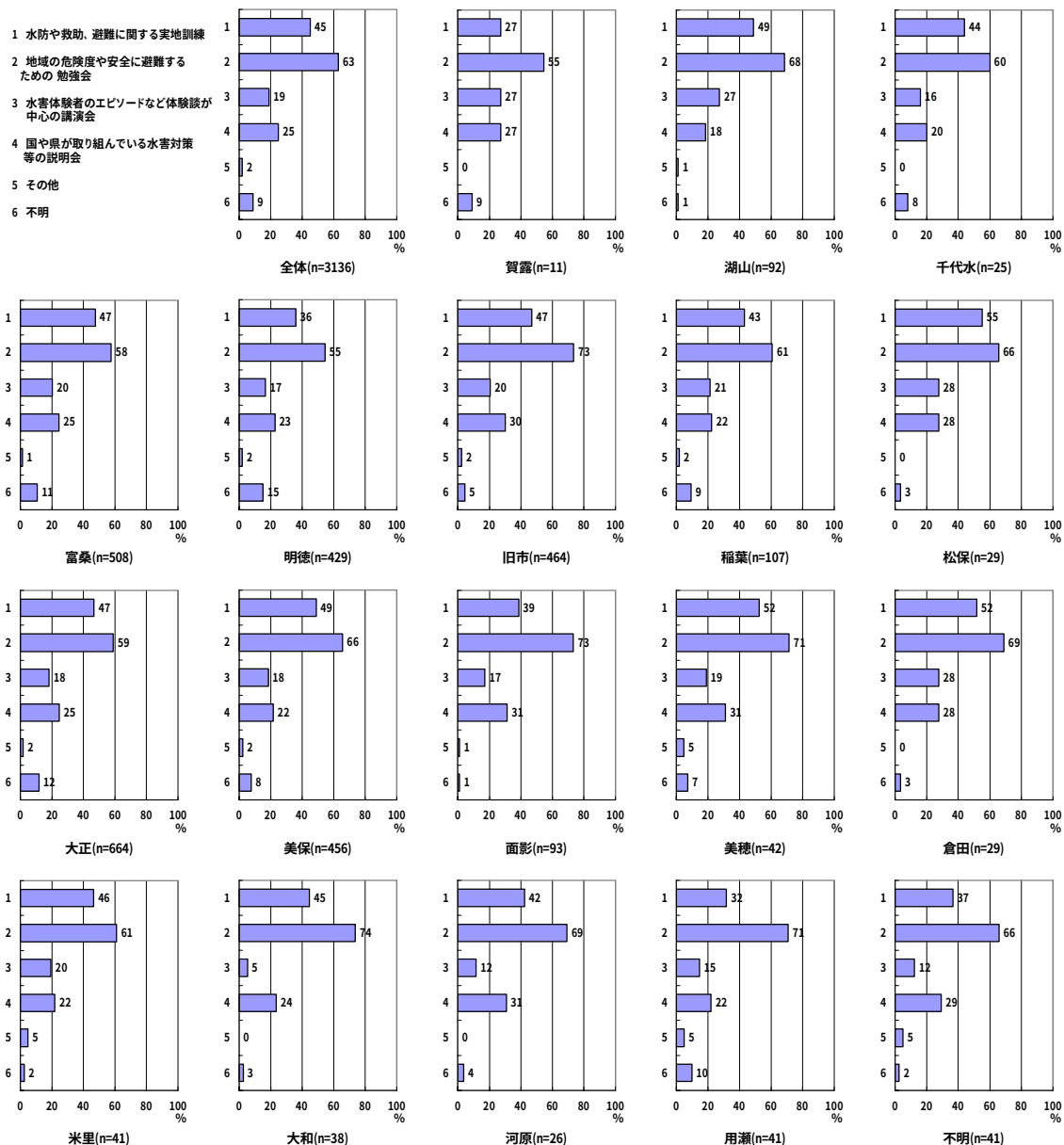
問4(3) あなたは、大規模な水害に関する自分の知識を深めるために、どのような方法が必要だと思いますか？該当するものをお選び下さい。(複数回答可)

「広報資料」が約60%と最も多く、次いで「テレビ番組や新聞の特集記事」が約50%、「役場や自治会などでの講習会」が42%となっている。



問4(4) あなたは、大規模な水害に備えるための訓練や勉強を行うとしたら、どのような内容を希望しますか？該当するものをお選び下さい。(複数回答可)

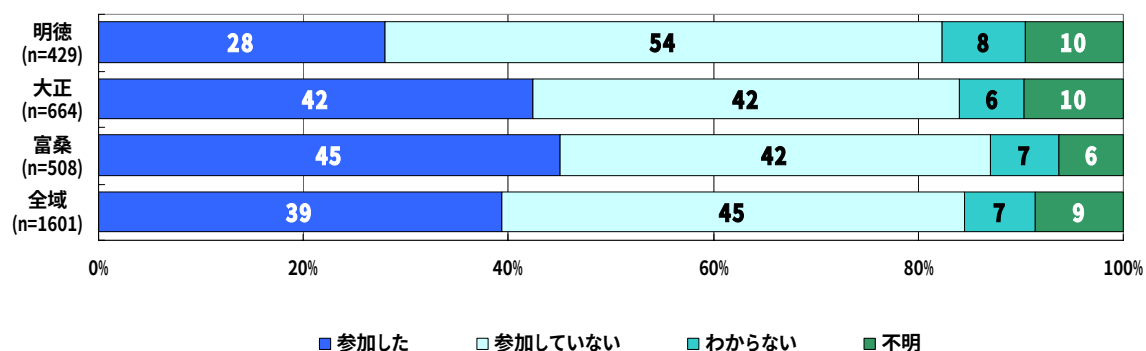
「地域の危険度や安全に避難するための勉強会」が約60%と最も多く、次いで「水防訓練」が約40%となっている。



「気候変動にともなう防災・減災を考える会」のモデル地区（富桑地区・明德地区・大正地区）のみなさまにお伺いします。モデル地区で実施した取り組みについて、あなたのご意見をお聞かせください

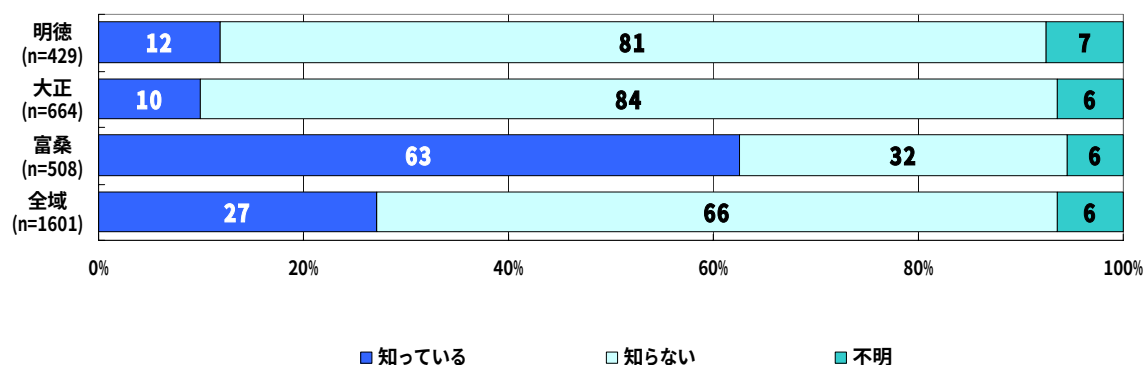
問5(1) あなたは、防災学習会や防災訓練などに参加されましたか？次の中から1つお答えください。

参加した人は40%となっている。



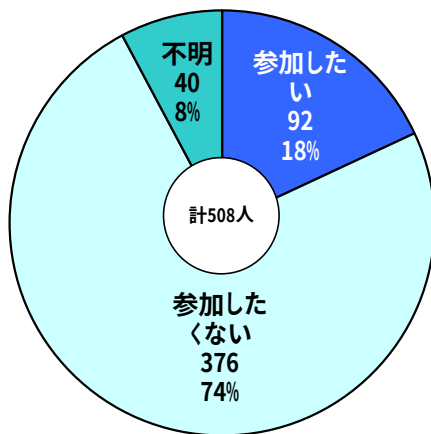
問5(2) あなたは、富桑地区のみなさんが「地域防災マップ（水害編）」を作成されたことを知っていますか？次の中から1つお答えください。

富桑地区で「防災マップ（水害編）」を作成したことは、知らない人が約70%を占めている。

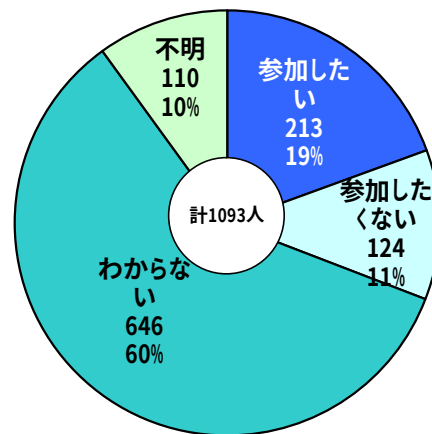


問5(3) あなたは、「地域防災マップ（水害編）づくり」のワークショップに参加されましたか？（または、参加したいですか？）富桑地区の方は（3-1）から、大正地区、明德地区の方は（3-2）から 1つお答え下さい。

富桑地区のワークショップ参加率は約 20%となっている。また、大正地区、明德地区では、「わからない」という回答が約 60%を占めている。



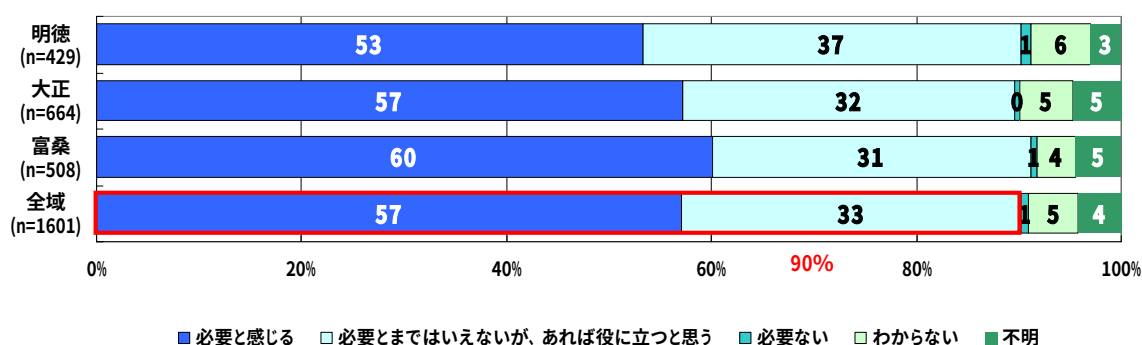
（富桑地区）



（大正・明德地区）

問5(4) あなたは、「地域防災マップ（水害編）」のほか、あなたの地区に浸水想定深さや水害時避難場所のわかる標識（表示）など、日頃から目に見える形の目印が必要だと感じますか？次の中から1つお答えください。

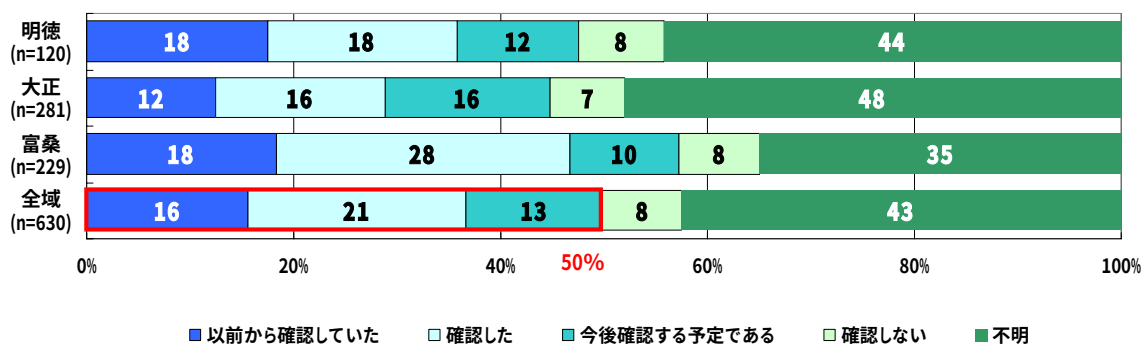
「必要と感じる」が57%、「必要とまではいえないが、あれば役に立つ」が33%となっており、目に見える形の目印は役に立つと考えている人は、90%に達している。



※下記については、防災学習会やワークショップ等に参加した人へのみ、質問した。

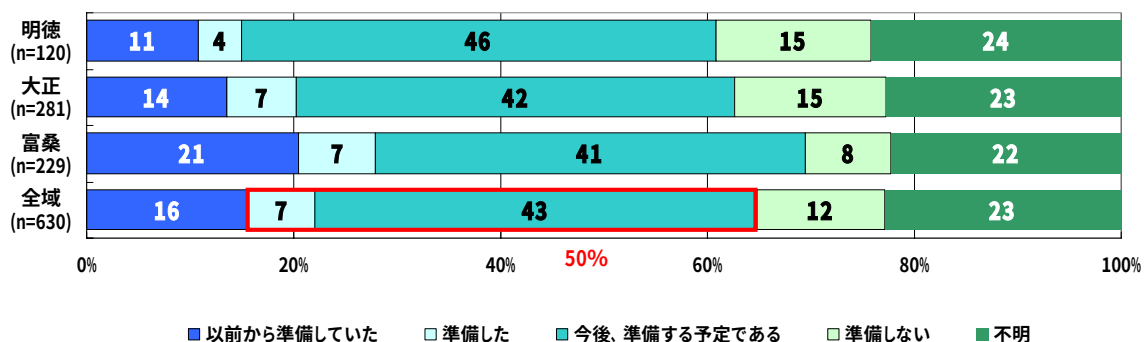
問5(5) あなたは、防災学習会やワークショップに参加した後に、あなたが避難する場所や避難する経路を確認しましたか？次の中から1つお答えください。

防災学習会等に参加した人のうち、「確認した」が最も多く21%、次いで「以前から確認していた」が16%、「今後確認する予定」が13%となっており、避難経路の確認の必要性を感じた人が50%に達している。



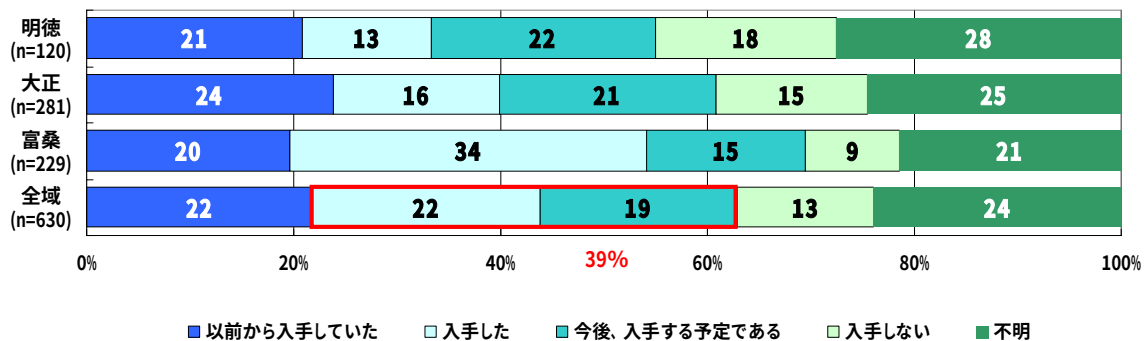
問5(6) あなたは、防災学習会やワークショップに参加した後に、災害に備えて、非常用持ち出し品（非常用保存食、水、ラジオなど）を準備しましたか？ 次の中から1つお答えください。

「今後、準備する予定」が約40%と最も多く、「準備した」を合わせると、約50%の人が防災学習会等をきっかけに非常用持ち出し品の必要性を感じている。



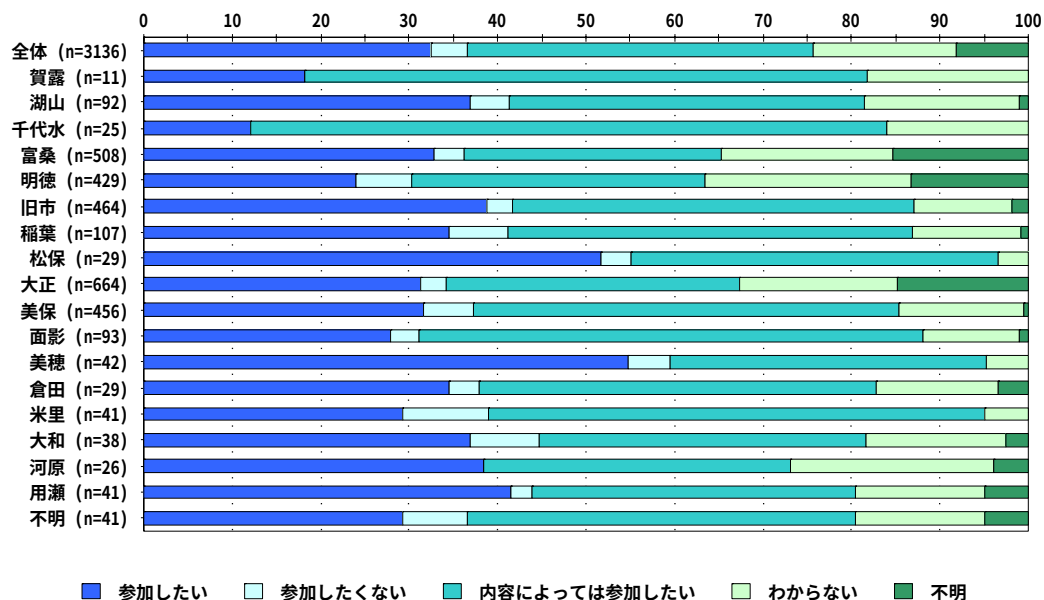
問5(7) あなたは、防災学習会やワークショップに参加した後に、鳥取市の洪水ハザードマップ（洪水避難地図）を入手しましたか？ 次の中から1つお答えください。

「入手した」が約20%、「今後入手予定である」をあわせると、約40%の人が防災学習会等をきっかけにハザードマップの必要性を感じている。



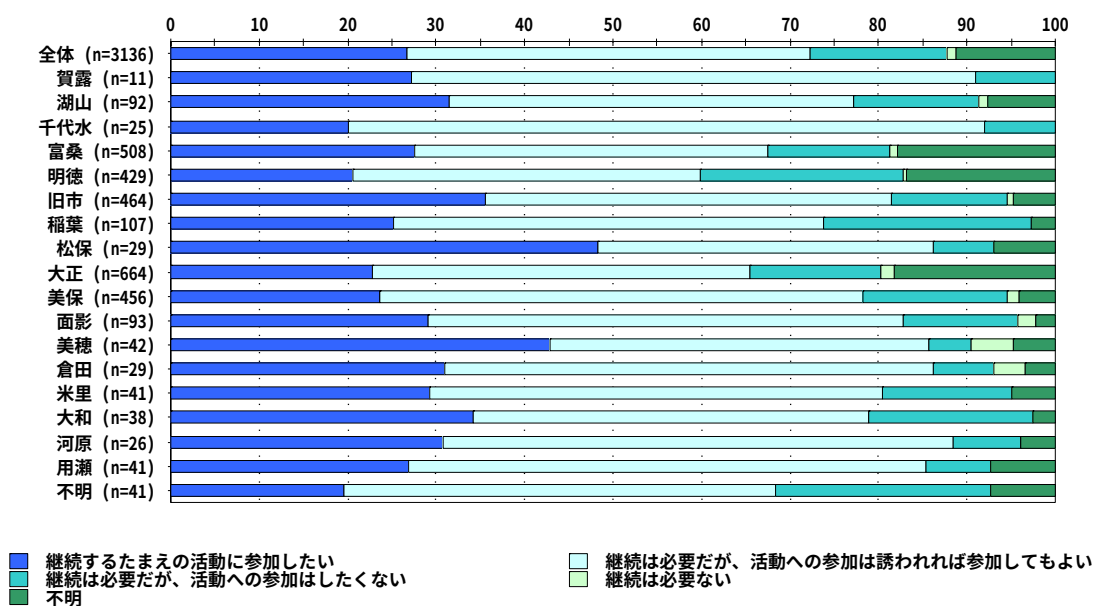
問6（1）あなたは、今後、防災に関する地域の取り組みに参加したいと思いますか？
次の中から1つお答えください。

「内容によっては参加したい」が約40%で最も多い。



問6（2）あなたは、これまでの防災活動を継続していくべきだと思いますか？次の
中から1つお答えください。

「誘われれば参加してもよい」と答えた人が約40%と最も多い。



問 7. 気候変動にともなう水害に備えるため、また防災・減災に関することで国や地方自治体に対して何かご意見等がありましたら、ご自由にお書き下さい。

自由記述の回収数に対する回答率はモデル地区で約 10%～20%であるのに対し、その他の地区では、約 20%～45%と高くなっている。これは、モデル地区での回収率が約 50%と高いのに対し、その他の地区では約 20%と、小数の防災意識の高い人が回答しているため、回収数に対する自由記述の回答率が高い結果となったことが推測される。

年齢別の回答率では、60 代、70 代以上の回答率が高く、約 27%であった。

具体的な記述については、次ページ以降に示す。

表 2.1 地区別の自由記述回答状況

		①	②	②/①*100	③	③/②*100	④	④/③*100	④/②*100	配布方法
地区名		世帯数※1 (世帯)	配布数 (部)	配布率 (%)	回収数※2 (部)	回収率 (%)	自由記述 回答数 (部)	回収数に対する 自由記述回答率 (%)	配布数に対する 自由記述回答率 (%)	
モデル 地区	富桑	5,790	1,000	17.3	508	50.8	60	11.8	6.0	自治会
	明德	1,560	890	57.1	429	48.2	52	12.1	5.8	
	大正	3,173	1,490	47.0	664	44.6	107	16.1	7.2	
	小計	10,523	3,380	32.1	1,601	47.4	219	13.7	6.5	
その他	賀露	196	50	25.5	11	22.0	3	27.3	6.0	ポスティング
	湖山	2,602	600	23.1	92	15.3	33	35.9	5.5	
	千代水	534	100	18.7	25	25.0	11	44.0	11.0	
	旧市	5,846	1,800	30.8	464	25.8	171	36.9	9.5	
	稲葉	2,433	500	20.6	107	21.4	36	33.6	7.2	
	松保	380	100	26.3	29	29.0	10	34.5	10.0	
	美保	10,012	2,400	24.0	456	19.0	166	36.4	6.9	
	面影	2,945	500	17.0	93	18.6	36	38.7	7.2	
	美穂	694	100	14.4	42	42.0	17	40.5	17.0	
	倉田	434	100	23.0	29	29.0	13	44.8	13.0	
	米里	1,337	150	11.2	41	27.3	15	36.6	10.0	
	大和	228	100	43.9	38	38.0	7	18.4	7.0	
	河原	586	100	17.1	26	26.0	8	30.8	8.0	
	用瀬	757	100	13.2	41	41.0	15	36.6	15.0	
	不明	-	-	-	41	-	11	26.8	-	
小計		28,984	6,700	23.1	1,535	22.9	552	36.0	8.2	
合計		39,507	10,080	25.5	3,136	31.1	771	24.6	7.6	-

※1 世帯数は、平成22年度調査時と同様に、当該地区の浸水想定区域内の世帯を対象として集計

※2 回答者の所属する自治体名が記載されていないものについては、郵便番号等により自治体を推測して集計した。

表 2.2 年齢別の自由記述回答状況

年代	回収数 (部)	自由記述回答数 (部)	自由記述回答率 (%)
20代以下	43	8	18.6
30代	252	61	24.2
40代	308	79	25.6
50代	566	134	23.7
60代	965	264	27.4
70代以上	983	272	27.7
不明	19	1	5.3
合計	3136	819	26.1

地区名：賀露（1）

No	年齢	性別	居住年数	意見
1	70代以上	女性	30年以上	近年はお陰様で水路が良くなり感謝の一言です
2	60代	男性	30年以上	防災情報を的確に情報を流してほしい
3	30代	女性	10年未満	避難経路、避難場所の備蓄等の情報開示。ペット連れの避難方法が知りたい。家庭での具体的な防災方法が知りたい。

地区名：湖山（1）

No	年齢	性別	居住年数	意見
1	70代以上	男性	30年以上	地域コミュニティで具体的な説明会など実施してほしい。書類関係のみではなかなか理解しがたい面もある。
2	30代	女性	10年未満	難しいと思いますが、自分の住んでいる地域の具体的な危険性についてもっと知りたいです。今回の東北の震災でも思いましたが、子供に関するものは、何が準備されているのか、何は持って行くべきなのかを、行政の赤ちゃん検診の時などに知識として教えてほしい。子供が小さい程、あれもこれもと準備しようとしてしまい、避難が出来る気がします。あとは、水害にそなえて自宅でできる対策について。家への水の侵入が防げる「かも」しれない“土のう”の積み方、場所、気をつけるポイントなど。
3	60代	男性	10～20年	東日本大震災の津波被害を思い地域の電柱等に「海拔〇〇m」の表示があれば防災意識の向上につながるものと考えます。
4	60代	男性	20～30年	土砂崩れ等の発生の可能性箇所を精密に調査をして欲しい
5	60代	男性	30年以上	①災害弱者のための共助や自助のためには、地域コミュニケーション、地域活性化が不可欠であり、そのための仕組みづくりを行ってほしい。②防災・減災について、行政を含めて地域で話し合う場が必要と考えます。
6	70代以上	男性	20～30年	小地区・単位（団地）ごとに基本的にかつ細かい点に配慮した訓練をやっていただきたい。訓練参加は家族全員とし、半強制的に、そして不在となった団地には防犯対策員を配置（巡回防犯）するなど本番的に実施してほしい。
7	60代	男性	10年未満	以前関西に居住しており、鳥取に転居してから3年目で現状がよくわかっていない。提供される情報に注意したいので今までに提供された分も含めて、広報等、お願いします。
8	60代	男性	10年未満	歩道の整備がすすんでいない。自動車ばかりでなく人の歩く道を整備すべきと思う
9	70代以上	男性	30年以上	河川の管理について（1）千代川の本流・支流を見るに、河川敷内に土砂の堆積・樹木等の繁茂により水の流れが片寄っている箇所が多い。堆積した土砂を除去し流水面を拡げて、平均的に流すようにすべきと思います。なお、除去した土砂は土木関係等で利用する。（2）山林は「緑のダム」と云われているが現状は放置され荒れている。間伐の徹底、老木の伐採等により山林の活性化を図り保水力を高める必要がある。なお、伐採した木材は用材なりバイオマス燃料等に利用する。
10	40代	男性	10年未満	千代川の災害が中心ですが、豊岡の増水時は、海に水が流れなくなり堤防がけっかいしたと記おくしています。千代川も似ていると記おくしています。決壊しない場合、湖山池及び小さな川の流れも、滞り、湖山池からの増水等は、ないのでしょくか。いつも千代川中心の水害対策に疑問を感じます。河川とかんかつが違う等でスルーされると思いますが、そのような対応に、いつも憤りを感じます。
11	70代以上	男性	30年以上	1.新聞での書く大記事。2.年最低1回のチラシPRを（希望2回）。
12	60代	女性	30年以上	パソコン等経験ナシ、所持ナシの個人はどうすればいいのですか。
13	70代以上	男性	30年以上	鳥取火災の怖さを知っているが（身を持って）水害の怖さを知らない。ただ台風での水害、地震津波の怖さはテレビのニュースなどでよくわかる。自分自身が体験していないのでどうしたらよいのか？故に年1度水害、地震の講習が必要。
14	70代以上	女性	30年以上	地方自治体はどの様なことをしているのか、我々にはあまり理解できません。
15	60代	女性	30年以上	①災害は100年単位～それ以上の流れで動くものだと思うので過去の歴史上のわかる限りの災害の状態や知っている人達の生の言い伝えをまとめておく②過去の歴史をもとに責任ある住宅の宅地化の許可など(水害だけでなく、陥凹や地雷の出現など)

地区名：湖山（2）

No	年齢	性別	居住年数	意見
16	50代	男性	20～30年	東日本大震災以来「想定外」はタブーとなっているが、自然の力は計り知れない。「想定を超えると予想する判断基準」を作成すべきでは？何でもかんでも行政の情報(避難指示等)がなかったことにしてしまう風潮はいかがなものかと思っています。情報の伝達はもちろん必要であるため、そのための整備は進める必要はあるが住民自ら判断できるよう、地域ごとの基準を作成し(作成に参加させ)訓練を行うことが重要だと思います。雨量ごとのハザードマップの作成。ただし、ハザードマップを信じ過ぎても危険なので、一定量以上の雨が降った場合など(降ると予想される場合)は早めに避難すべきその基準を住民に周知させ、自主的に行動できるようにすべき。
17	70代以上	男性	30年以上	今月末に神戸市の「人と未来の防災センター」(主に地震)に町内会で行きますけれどやはり目で勉強できる視覚設備等をお教えて欲しい。又、そのようなものをPRして欲しい。
18	50代	男性	10～20年	震災時津波に伴う湖山池の水位上昇予測、避難方法の周知。災害時周辺地域への避難方法の確保 食料、飲料の備蓄 県境道路の整備
19	40代	女性	10～20年	町内会での講習は火災に対するものばかりで、このアンケートを見て水害に対するそなえも必要であることを改めて感じた。自宅が川のそばであるため、大雨が降ると心配な時もあるが、川がどの程度増水すれば避難対象になるのかなど、さっぱりわからない。(自主避難も含めて)そのあたりの周知活動など積極的にしていただけたら助かると思う。
20	70代以上	男性	30年以上	国道、地方道などの側溝の木の葉、泥などの清掃をして頂ければと思います
21	40代	男性	10年未満	自分が危険な場所にいるのか、わからないと避難する時期がわからないので、早目に情報を提供してほしい。
22	60代	男性	30年以上	市の指定避難場所が、水害に適応しているか否かを明確にしてほしい
23	60代	男性	10～20年	各種情報の告知・把握 1.国交省、県がインターネットや携帯サイトで雨量や水位の防災情報を提供していること。 2.NHKデータ放送で雨量や水位などの防災情報を提供していること。 3.市や町が指定した水災時の避難場所。 4.住んでいる市や町の洪水ハザードマップを持っているか？ ・先ず、この4点の情報を住民が告知することが、必要だと思います。水害を経験していない人は、認識が薄いと思います。
24	70代以上	男性	30年以上	河川の中の木が大きくなっているのに伐採する必要があると思う。大水の際水が流れ悪くなり堤防のけっかいにつながる。
25	60代	男性	20～30年	河川や堤防の整備。下水の整備
26	30代	男性	10年未満	住民への周知徹底を強化。住民へのアンケート調査をする場合は「抽選でも何か粗品が貰える」というようにした方が投函率は向上すると思いますよ。
27	30代	女性	10年未満	都市部（東京など）は、色々な災害に対してある程度食料、その他備蓄しているとTVで見たり、聞いたりするが、鳥取はどうなのか知りたい。情報があまり入ってこない。
28	40代	女性	10年未満	避難した場合、そこに、どのような物が、備えられているのか？食料品とかもあるのか、知りたい。(何日分)最低限、自分たちが持参しないといけない物は、何か？本当に避難しないといけない場合、職場優先になる(介護職)と思うが、そのような場合施設等への支援はどうなのか？町内にあるスピーカーでは声が聞き取れない。
29	50代	男性	20～30年	国や自治体は事後でないと動かない。「こんな災害が起こったので、こんな物が必要です」というように人の安全に対するの対応はいいかげんなものだと感じる。今後想定外などという言葉は二度と使えないことを肝に命じるべきだと思う。
30	60代	男性	10年未満	保持している情報を開示して周知・徹底する活動をすべきである
31	60代	男性	30年以上	複数の情報手段・体験学習訓練・防災職員の育成・学習知識教育の充実・専門家の活用の継続と効果検証
32	40代	女性	10年未満	津波に対しての防災の話を書かないが対策はどうなっているのか？

地区名：湖山（3）

No	年齢	性別	居住年数	意見
33	50代	女性	20～30年	居住地域別に具体的な情報を網羅した厚手のパンフレットを配布して欲しい。（ex避難場所など）各町内看板を設置し、皆の目にふれるようにすることにより、防災への関心意識が高まると思う。※避難場所は大学（？）と聞かされていますが、大学のどこに行けばいいかわからないし、施錠してあるため、入れないとも聞きました。これでは名前だけの避難場所ではないです。

地区名：千代水（1）

No	年齢	性別	居住年数	意見
1	60代	男性	10年未満	（想定外の災害は起きる）を念頭に、起きた後の対策がスムーズに行えるよう、隣県との付き合いをより一層進めて欲しい。
2	50代	女性	30年以上	防災無線が聞きとれにくい
3	50代	男性	30年以上	現在住んでいる地域には避難する所が良く分からないのであるのであれば周知徹底が必要。
4	60代	男性	20～30年	早期の様子・状況をＴＶ等で情報を流して、広報車等を使用して情報を流してほしい
5	60代	男性	30年以上	地区の避難所が、下流で遠く、低地なのは問題であり、大きく分けるのではなく、例えば近くのマンションの通路（階段の）社屋などとの仲介に取り組む方がより現実的と思う。
6	50代	女性	10～20年	防災活動の内容が良く分かっていない人も多いと思います。市報などに定期的にのせて欲しい。質問の内容とは違いますが、千代川の「せいたかあわだちそう」と「すすき」が近年、群生していて、アレルギーがだんだんひどくなっています。近所の方もマスクをしないとひどい状態になっています。健康被害が強く、防草をお願いしたいと思います。
7	60代	女性	10年未満	千代川の近くなので水があふれる事が心配なのでどこに逃げたらよいかを知りたい。
8	40代	女性	10～20年	避難場所は千代水公民館となっているが建物自体古いので（しかも千代川沿いだし）他の避難場所を考えて欲しい
9	60代	男性	30年以上	防災は住民の住宅問題だと考えている。国や県が援助して、災害に耐うる。住宅を作るよう考えるべきだと思っている。
10	60代	女性	10年未満	転勤族です。転入届を出す際防災について説明がほしい。新しい住所で防災を担当している人（町内会長など）に、聞くこと等、していかなくはないかなと考えています。掲示板があればと思います
11	40代	男性	30年以上	危険地域には住宅建築を許可しないこと。

地区名：富桑（1）

No	年齢	性別	居住年数	意見
1	50代	女性	10～20年	安全な避難場所の確保。避難後の食糧や防寒対策。
2	30代	女性	10年未満	今年家を建築したのですが、普通の高さの基礎にする予定が、周辺に同じく家を建てられた方が、基礎を高くされたので、それに合わせて高くしました。自治体の方から、千代川沿川に新築する場合は、基礎を高くした方がよいなどの、アドバイスがあればよいのと思いました。
3	40代	男性	30年以上	堤防補強工事なども必要と感じるが、今日の異常な豪雨に対してまでの安全率を見込むことは、財政上からもやめた方がよい。地区地区での安全対策などの啓発強化にとりくむべきと思う。コミュニティの希薄となっている現在、どうとりくんでいくべきか悩みどころである。
4	50代	女性	20～30年	防災の情報であまりにも警報が多い。なぜこんな状況で警報が出ているのか不思議に思うことも多く、警報を多発しすぎると危機感がうすれるように思う。
5	40代	男性	10～20年	鳥取市の緊急情報が近くのスピーカー（マイク）を通して、聞こえますが、家の中にいると、聞こえにくい。（何を言っているのかわからない。）（風向によっては、まったく聞こえない、内容すらわからない。）町内会長さんのところには防災無線があると聞いてますが、それでは会長さんの負担が大きいと思う。1分1秒をあらそう時どうだろうか？本当に皆が避難できるのか心配になります。防災、減災対策危険なところは、早急に対処してほしい。
6	50代	男性	30年以上	もっと現実的な事をやってほしい。いまのままではわけのわからない人がわけのわからないまま指導している様になる
7	50代	女性	20～30年	・持ち出し袋を一部分は準備していますが途中でやめました。家族となるとかなりな袋になり、足の悪い年配者の移動は無理があります。これは家庭で考える事だと思っていますが。又、避難場所は自宅と高低差が同じ為、意味がないのでは。 ☆平成16年の豊岡台風の時、本社からは昼前には帰宅する様に連絡入りしましたが、上司が県外の方で大きな台風来ないだろうの判断をされ暴風雨が一番厳しい時に帰宅命令出ました。結局全員通常勤務しましたが。この時会社関係へ責任能力等の講習会等の参加を消防署労働局と連携して考えられてはどうでしょうか、と思いました。 ・災害が発生した場合、河川国道事務所及び関連会社の方達は住民の盾となるべき大変なお仕事です。机の上だけでなく、各関連部署や省庁と連携をされていると思いますが、もっとされてはどうでしょうか。 ・このアンケートで住所は無用だと思われます。自治会名に○をするのですから、これで充分だったはずです。 ☆9月中旬、県外の方を案内した時、草がどこに（→県中西部まで案内しました）行ってもものびほうだいと言われました。河川敷、特に橋の下等防犯面でも不安があります。花火大会もあるので範囲を広げて草刈をお願いしたいです。
8	50代	女性	30年以上	足に障害をもっている人はどのように避難するの？
9	70代以上	男性	30年以上	水害学習会鳥取のばあい、前年6月ごろやること。
10	30代	女性	10年未満	○避難所が川に浸水する地域なので本当に安全に避難が出来る場所を教えてほしい。
11	50代	男性	30年以上	水防訓練などに参加してみると、単なるパフォーマンスに過ぎないと思うことがある。地域住民全体で意識統一をし、訓練することが大切だと思うし、また、リーダーをしっかりと作る必要がある。
12	40代	女性	10～20年	地域単位で、と言ってもこの地区には避難に適した高い場所がなく、小学校では、少し不安を感じています。小学校でだめな時は？など、市、広域単位で話し合って、連携してほしいと思う。
13	30代	女性	10年未満	時々アナウンスが流れるが、声が重複したり、われたりして聞き取りにくいので改善してほしい。何を言っているのかわからないです。防災マップ等も作成されたものを、その地域に市報のように配布していただけるとありがたいです

地区名：富桑（2）

No	年齢	性別	居住年数	意見
14	60代	女性	30年以上	・ひとりぐらしの人や高齢者身体の不自由な人を地区の民生委員は常時把握しておくことが必要 ・避難をする時には優先的に援助がしてほしい
15	30代	女性	10年未満	東日本大震災をきっかけに、水害をはじめとした防災の取り組みがかなり積極的になされている。一番必要なのは個々の意識であり、日頃いかに考えているかである。避難訓練のようなことを一度自治会などで実施してみるのもいいと思う。
16	70代以上	男性	30年以上	最近の傾向として、高地豪雨が起っています。このことは、短時間に豪雨があるということも言えますので、護岸の整備も当然必要ですが、河川敷の樹木及び土砂の取り除きにより河川空立米の拡大が必要だと思います。これには大変な費用が必要と思われるますが、是非心がけていただきたいと思います。
17	70代以上	男性	30年以上	河川対策について 現状の河川の流水断面が、有効に機能するよう、河川敷の植生の撤去が必要と考えます。除々に対処されているようですが、下流域（八千代橋上流右岸）は急がれます。千代川News Vol. 141によると河川敷掘削計画が広報されていますが、千代橋下流の堤防の嵩上げは必要ないのでしょうか。昭和54年10月の大水を知るものとしては、堤防嵩上げが必要だと思います。
18	60代	男性	30年以上	◎ハザードマップ（洪水避難地図）と防災マップ（水害編）とは違うものですか？自分の住んでいる所がどれ位浸水するかは、水害編にのっていますが、避難路の出ているものはわかりません。◎いざという時、一番心配している事があります。防災無線の音が、響いているばかりで聞き取れないことです。お年寄りが行方不明になったとき放送していますが、内容が聞きとれない事が多いです。最近「防災無線の試験～」と、ゆっくりと落ちついて放送していましたが、話している速度がゆっくりで、音量もしっかりあるにもかかわらず、聞きとれませんでした。流しっぱなしでなく、内容が聞きとれているかどうか、アンケートをとるなりして、確認してもらいたいです。放送しても、内容がわからないでは意味がないです。声が割れないで、明瞭に言葉を伝えられるようにして下さい。
19	30代	男性	30年以上	すみやかな情報提供
20	40代	男性	30年以上	水害防災マップだけでなく、津波についてもマップを作ってほしい。インターネットで見えるが、紙としてマップが欲しい。
21	70代以上	男性	20～30年	何も自分自身が災害に逢った事がないので考えがその時にならないとわからない様に思います。千代川等はみるみる水が増してくる様子を見るととてもこわくなります でも水量は示してありますが今の現時点ではとても考えられない事です。しかし広報車が回ってもなかなか声がとどかないし雨の音や風等で・・・。障害者（車イス）高齢者等の避難場所を知っていてもそこまでいけない場合もあります。そんなときはどうするのですか？何かアンケートにどう応えてよいのかわかりません。ただ、元気な方達や若者がいないときはどうするのですか
22	30代	女性	10年未満	子どもも大人も、自分の目で見て、自分の頭で考え、それに対してどう行動を取るか考える。今まで学校での行事など、活動的な事には、参加して来ました。災害などの大事な事も、子どもと一緒に真げんに勉強出来る事があれば良いかと思ひます。
23	40代	男性	10～20年	実さい問題、水害と言われてもみんなピンときてないと思ひます。もっと分かりやすい形で防災のことをしてほしい。話し合いを一部でしてもわからない人はピンときてないです。市報などであぶない地区地域など知らせみんなに認しきしてもらいたいです。
24	60代	男性	30年以上	タイムリーな情報 タイムリーな避難誘導。
25	70代以上		30年以上	関係者だけの会にしないほしい

地区名：富桑（3）

No	年齢	性別	居住年数	意見
26	40代	男性	30年以上	富桑地区の避難場所は、地区内の多くの住民にとって、川（千代川）に近づいていくようなものだと考えられる。避難の際に、二次災害やたどりつけないといった問題が起こるのではないかと思います。指定の在り方が本当にきちんと話し合われたのかと思う。できるなら、再度、安全性、安全に避難するための経路などしっかりと見直して欲しい
27	70代以上	男性	30年以上	①近年、豊岡市の円山川大水害の時、鳥取の千代川も可能性があるいろいろな記事（写真）を読んだ時、ショックを受けました。工事して安全に出来ないものか、大雨の度に思います。②自治体にどれくらいの備蓄が可能があるか知りたい。③今注目の島根原発に関して、鳥取地域も今から影響が出てくると思うので検討してほしい。④高台避難所を作ってほしい。
28	60代	男性	30年以上	多分この水害に関するアンケートは、東日本大震災発生に解発されたものだと思います。将来（遠いか近い）不可抗力の震災が日本のかんりの部分を襲うことになるようです。その意味では、水害や火災などは意識的に避けうるそうそうシビアな苛酷な災害ではないので、せいぜい人知・科学的に手だてが準備できます。水や火は大切なものですが、過ぎたるは及ばざるが如しでコントロールできます。自治体、また国の知見・予測・対応力にしっかりしてほしいと思います。千代川流域住民対象に、過去このような意見聴取り要望聴取をされたことがありますか？
29	70代以上	男性	30年以上	防災・減災事業の拡充。
30	30代・40代	男性・女性	10～20年	汗ばつや塩害等、大規模なものへの対応は地域レベルでなく地球環境規模なので、国が京都議定書への批判もムズかしいレベルである。防災・減災は常に取組むべき課題であるが。自助・公助・協力のうち自助・協力を充分と発揮できるバックアップをしっかりとすべきで、そのものの力を引き出すことばかりが叫ばれているが、それはまちがいである。自助はできる人は努力するが、全住民のうち10～5%程度である。日常的に意識している人はさらに少ない。水害に対して、地域住民への教育機会の提供、自治会への補助（求められれば出向くではダメ）。
31	70代以上	男性	30年以上	千代川全面改修を特に要望する（中町等の取除き等）。
32	70代以上	男性	30年以上	防災に対する取組みは、継続に長期間定期的に行うことが必要と思う。毎年、防災活動を町内会を中心に行い、日常的な活動に行きたい。
33	60代	女性	30年以上	津波を想定した時、近くに高層ビルが少ない（トスクのみ）。老人化の進む現状で、高台までどう行きつけるのか現状では不安である。せめて、我家でゴムボートを準備するのの一策かとも思う。
34	50代	男性	10年未満	前述として、論点が違うかもしれませんが。前述しておきます。市庁舎新築の件や大平線のアーケード、その試算と議論はなされたのですか。アーケードに11億の資金を投じて行なう結果は、市民に何の利益が有りますか？先受け業者は県外で、県内業者は孫受けで、市民の税金は県外へ出ています。今の市政は、全てをアーケードと庁舎が物語っています。そんな億の金を使えるなら、災害準備に使用して、万一の事へのそなえに力をそそいだ方が市民の協力・賛同は与えられると思います。もっと考えて下さい。議会は”おかざり”ですか！！生きた税金（皆の金）の使い道を再度思案に下さい。
35	50代	男性	30年以上	たびたび、資料の配布・訓練をやってほしい。
36	60代	女性	30年以上	速やかな情報提供。現状のような市町村の情報提供では非常時には間に合わないのではないのでしょうか。各町村の中で各地域海に担当を決めておき、市町村からの情報を各戸に伝えるなど、よりスピーディーな方法の構築が必要だと考えます。インターネットや携帯サイト等を見る人は以外に少ないというか、そのような手段をとれない人もいます。

地区名：富桑（4）

No	年齢	性別	居住年数	意見
37	50代	女性	20～30年	認知症の義母93才、歩けなくて自宅にて介護してます。私達は、どうしてもよいですが（どうにかなる）私達が、仕事で居ない時にどう対応したらよいか解らないです。避難しても要介護4の義母が集団で一緒に過せるか不安です。
38	70代以上	女性	30年以上	床に寝られない者、特に汚物処理等、その他老人の必要な物色々準備がして頂けたらと思います。
39	60代	女性	30年以上	自分でも用意していますが、地域にも物品の備蓄が必要。
40	40代	男性	10年未満	千代川の氾濫が最も気になります。どの場所が最も弱く、もしその場所が氾濫した場合を想定した行動をシュミレーションしたい。そのためには各地の住まいごとに異なると思われるのでそれぞれの行動パターンがどうなるか示して欲しいところ。
41	60代	男性	20～30年	こう言うアンケートはおかしい。危険であるかないかは専門家でないとならば我々市民では分からない。ビデオで放映されたように学者などの識者で危険なことが分かったのなら改善整備に取組み実行して安全に備えていくべきではないか！行政予算で遊ぶほうに贅沢な予算です。市民も贅沢に慣れて補助金、助成金を申請してもらえるものはもらって特に老人の優遇には目につきます。飲んだり食ったり遊んだりの会合は自分の金でやれば良い。しかし高額な年金をもらっている人が公金引き出しに積極的であることにも個々の性格かも知れないが感じられる。勤めを終えて死に向かっていく老後の生活への年金くらい全員が同額平等であっていいと思う。（強き者が弱きを助けるまかなうことが心の歪みを無くし相互援助精神による温もりのある人間関係を築いていける感じがする。税金の有効活用をしてほしいものです。関係ないことを書いて申し訳ありません。しかし行政の方には（議員も含めて）一般市民の生活状況を良く把握して業務取り組んでほしいです。格差社会が大きくなると国民同士の心の歪みができ国が成り立たなくなります（国の繁栄は人がなすものです。人を育てることが必要です）
42	60代	女性	10～20年	避難場所は設定されているが現実には利用できるとは思えない。（制度上）全員、特に老人は行きつけないと思う。耳が悪くなっているので外部からの音声は役に立たない。若い人は少ないし、仕事場にいたと思われるので各自が自己責任で動くしかない。民間の施設で利用できる場所を数多く見つけて頂く事必要
43	70代以上	男性	10～20年	情報の周知徹底。要援護者に対する支援制度の拡充。
44	60代	女性	30年以上	富桑校区は高い建物がなく千代川の堤防が切れたら逃げる所がないので心配です。防災無線の音が聞き取りにくい
45	40代	女性	10年未満	近所の避難場所は富桑小学校です。しかし地区には小学校のカギを持っている人はいないと聞いています。セキュリティがしっかりして安心な一方で深夜に避難する場合はどうすれば？窓を破って入れればいいかなと地区の方はおっしゃっていました。そうするしかないでしょう。また津波がきたら富桑小では危ないのではと心配です。3階建てで十分ですか？
46	30代	女性	10年未満	避難するために高い場所を各校区ごとに設置してほしい。ハザードマップを見る限り東北の津波レベルの水害がおきれば鳥取市はほぼ逃げ場がないように思う。水害時は皆パニックになるので遠くまでは逃げられないので、ある程度近くにないと意味がないと思うし、川や海沿いには当然重点的に設置してほしいです。避難の決断は安全と認める逃げ場があれば、すみやかに動けると思います。どこに逃げれば良いのかわからない程度では被害は拡大すると思います

地区名：富桑（5）

No	年齢	性別	居住年数	意見
47	30代	女性	10年未満	天気予報などインターネットでよく確認します。冬など道路状況を見ます。速報性があるけど鳥取市内の情報は少ないように思います（局地的でない）市で防災・災害情報ページをやっていただけたらなあと思います。トップページで速報をしつつ市報にある事やハザードマップなどの情報ページが公開されていたら便利です。話は変わりますが防災無線ってあるのですか？一度ミサイルが飛んできた時小さい音で鳴っていたかと思いますが、家の中では聞こえてなかったような・・・点検も含めて防災訓練の時に鳴らしてみしてほしいです。音量は時報と同じぐらいですか？それじゃあもしもの時わかるのかどうか不安です
48	50代	女性	30年以上	避難する場所が少ないし、特に高層建物が近くにはあまりない。かえて自宅2階にいた方が良く思う。（暴風雨の最中などは外に出るのは危険）地盤も弱いのでそのあたりも考慮した防災減災をお願いします
49	60代	男性	20～30年	①行政が早めの指示を出してほしい（避難指示）②避難場所を地区の近所に造ってほしい③学校に避難する場合、学校の中に入る時カギは開いているのですか④もし学校に避難して非常の備品や食料等在庫が有るのですか
50	70代以上	女性	10～20年	千代川に水草がたくさん生えているし水底も浅くなっている。工事をして水害に備えてほしい
51	60代	男性	30年以上	防災行政無線がほとんど聞こえない。今のところ設置した意味がない。至急効果ある処置が必要
52	70代以上	男性	30年以上	新茶屋通りは下水道の排水（マス）が少ないのですぐにやってください。他の地区は1軒ずつ位にあるのに新茶屋通りないです。それでいつも雪の水、泥の水、雨の水が溜まるのです。道路の水をマス方にスコップできれいにします。体の動く人はいいいですが家にいても何もしない人は大変です。道路をきれいにしても他の家の前をやると、もういいと言われます。自分の家の前をやって流れません
53	60代	男性	30年以上	平成23年12月作成の富桑地区防災マップ（水害編）はわかりにくい。道路をはさんで2～5m浸水想定されるところと浸水しないところがあるなど早急に避難しなくてもよいか判断に困る。もっと広範囲にこの地区はこれくらい浸水するから早い避難が必要とした方がよいと思われる
54	70代以上	男性	30年以上	千代川の護岸も充分に安全が確保されていない場所もあると聞いている。何か起きる前に充分そなえてほしい
55	70代以上	女性	30年以上	気候変動にはすばやく対応して報せを密に流してほしい
56	60代	男性	30年以上	①年に1～2回程度の強力な訓練をやるように。②各町内、自治体で防災教育を徹底するように。

地区名：富桑（6）

No	年齢	性別	居住年数	意見
57	70代以上	男性	30年以上	昭和6年より新千代川通水までは、鳥取の地形が低い上、千代川河口の蛇行により水はけが悪く、千代川・袋川が増水し、ついに堤防を越して度々洪水に見舞われていましたが、霞堤を連続堤とし、河口の直線工事完了以後は、幸いにして新茶屋地区内での家屋浸水はありません。しかし、昭和9年9月21日、四国上陸徳島西方通過、淡路島縦断、全国で死者2866名、不明200名、倒壊建物75634戸の被害を出した室戸台風の際は、新茶屋から街に行くには舟で新品治町に渡らねばなりません。この時の千代川流域平均1日雨量平均184耗で、大正7年の187耗に次ぐ史上2番の記録でした。（別表②参照）幸いに昭和20年枕崎台風の時の139耗以降戦後は5位以内に入る豪雨には見舞われておりません。近年鳥取市街の地形が大きく変わりました。それにつれて新茶屋周辺は土地の高低がなくなりました。新茶屋の高度は4米63と、千代川対岸の徳尾6米、古海6.3米、街内では二階町五蔵円5.38米に比較して低いのです。30年くらい前までは、品治・大森・中の郷の田圃と新茶屋より低い土地が海まで続いていました。それらが大河の様になった室戸台風と時も、その地形のお陰で新茶屋は水害から免れました。別表②の各地の1日雨量の記録を見ても各地に5位内の降雨量が重なったら大変な雨量に見舞われます。其の時は低地が狐川しかない今の現状ではどんな状況になるのか解りませんが、現在の地形からして床下、床上浸水の可能性無い、と断言はできないではないでしょうか。昭和6年新千代川通水以降大きな被害を蒙った3台風時の、千代川行徳地点の最高水位と、各地区の降水量が別表①の通り発表されております。もし集中豪雨や大暴風雨がいった場合、テレビ・ラジオが放送する千代川流域降雨量を別表①と比較し、対処の参考にしていただければと思います。付記、伊勢湾台風時、袋川の鹿野橋上流、50米の所で川水が堤防越しているのを見る。尚、狐川の鳥羽屋橋から川下は一級河川になっていて建設省管理下になっている。又、都会地で問題になっている下水溝マンホールでの噴出被害等要注意。
58	70代以上	女性	30年以上	（身近な水害）道路状況が悪い。除雪車が入らない。狭い市道、雪で閉じこめられる。雪の行き場がないこと等。大通りより傾斜で水が流れたまりやすい状況を雪がふると（グシャグシャ道です）水槽に集める様施策してほしい。高齢化し雪かきできる者も少ない。中に入る道も少しづつ広げ水害だけでなく、火災時、救急車、霊きゅう車の出入り等、出来るようにしてほしい。自分がその個所に住んでないからではなく地域として皆の安全生活のしやすさのため道幅を広げてほしい。大きな水害以前の問題が山積している。もし災害がおこったらひとたまりもないと思います。近くでは大きな建物も二階建ての診療所しかない。
59	50代	男性	20～30年	高齢の方が増えている中、インターネット、携帯サイト等を使用出来る人がどれくらいおられるのでしょうか？（私も含めて）
60	70代以上	男性	30年以上	テレビ等による報道を適格にお願いします

地区名：明德（1）

No	年齢	性別	居住年数	意見
1	70代以上	女性	30年以上	一番心配なのは大水とか津波の逃げ場所が町中心部にない事。老人はすばやく行動が起せないで四階以上の建物（津波水でも）が一つでも本通りの辺りにあるとかいざという時、夜でも避難出来る所を作してほしい。学校まで公民館まででは役に立たない大変その事が心配。高いマンション、銀行をその時入れてもらえるよう、市が交渉しておいて市民にゆきわたるよう教えておいてほしい
2	70代以上	男性	30年以上	河川の整備、迅速な情報の伝達
3	30代	男性	30年以上	○日頃、堤防などの点検作業がしてあり、安心してはいますが、ヌートリアの事を聞かなくなりましたが、大丈夫でしょうか？ ○平素行政無線が聞こえにくい ○部屋によって二重サッシなどで広報車が巡回しても聞こえるか不安です
4	70代以上	男性	30年以上	鳥取県沖で地震が発生した場合の津波の度合は、どの様なものなのか、全くわかりません。私は6才の時に鳥取大地震を経験しました。この場合は内陸で発生しましたから、津波の影響はどのようなものだった全く判りません。町内会の勉強会でも、回答者からのお話しはあいまいだと聴いております。
5	60代	男性	30年以上	地区自主防災会との連携を図りながら情報をもっと提供してほしい。
6	60代		10年未満	①千代川水系の水害に限らず、地震、津波等それぞれの関係機関と連携しながら災害時対策の指揮系統の明確化 ②避難対策の綿密な見直しを（学者等交えて）定期的に行う ③早急に避難場所の拡大、拡充をする ④情報集収と情報広報の見直し ⑤被災者の救助、介護者のシュミレーション ⑥避難所の支援体制の手順と各県との連携（緊急時と長期間時）ボランティア対策 ⑦交通網整備と物資の流通確保、通信システム、時節の対応、水とエネルギーの確保 ⑧河川、国道の防災土木工事（危険箇所）以上よろしく願いいたします。
7	60代	女性	30年以上	もっと若い方にこの地域の事をよく知ってもらって活躍して頂きたい。
8	50代	男性	10～20年	確実な情報提供 避難指示
9	60代	男性	10年未満	①問5の（4）の設問の浸水想定深さや水害時避難場所のわかる標識（表示）を多くつけてもらいたい。「防災マップ」では一時的に納得しても、いざという時思い出せない。日頃目につけば自然と覚えるし、たえず注意することができます。②大雨の時など特に夜間が不安です。川の増水の状況が、安全なら安全だということを広報車などで流してもらいたい。（危険な時だけでなく、安全な時も）
10	70代以上	男性	10年未満	・居住して6年目になりましたが、具体的な活動情報はない。新住民への配慮をして欲しい。 ・1回／年、防災訓練を実施して欲しい。今年参加したが、明德小学校に地区別に集合し、自警団の消火ポンプで放水後、体育館で救急護（人工呼吸、ケガ処理、タンカー運搬等）の説明・実施後、タキダシゴハンをいただいて終り。 ・ビデオ（CG）などを利用して千代川（津波）決壊した時系列で状況説明などで避難の必要性をPRし欲しい。 ・避難場所、高所マンション等も考慮出来ないか？ トスクの駐車場と人から聞いたが、収容人員の検証されているのか？ ・河川敷の掘削し、有効流水域の拡大、樹木の撤去が必要と思う。堤防の強度検査とカサ上げ、強固にすることも必要。 ・水量（降水）を最悪の条件でシュミレーションして河中の拡大、カサ上げ等、検討して欲しい。 ・避難マニュアルを冊子（ビジュアルに）にして配布して欲しい。
11	60代	男性	20～30年	日頃からの避難場所の周知徹底が必要と考える。
12	60代	男性	30年以上	地域の高低差があるので、海拔標示板を要所に設置してはどうか
13	60代	女性	30年以上	台風、大雨のとき、雨戸も窓も閉めています。風雨の音は強く、防災無線のスピーカーから離れた所には届きません。必要なときには、テレビのテロップが正確に伝わると思います。千代橋近辺に暮らす者には、Dボタンで水位を確かめますが、画面に千代橋のそのときの写真を映して頂きたい。
14	70代以上	女性	30年以上	今町では老人住いの家には避難時に手伝いに来て下さる方が決っています。

地区名：明德（2）

No	年齢	性別	居住年数	意見
15	70代以上	男性	30年以上	千代川くらいの河川が一級で国交省マターというのでは残念。早く報告と予算を移して県の力（県内業者）のスキルアップをはかりたいものである。
16	70代以上	男性	30年以上	大正、昭和初期は洪水で悩まされ被害もあったと聞いており、千代川改修によってある程度改修されていますが、想定外、ということもあり、どの程度の洪水、津波であれ大丈夫か情が欲しい。そして居住地区は海拔何メートルなのか、公民館表示して欲しい。それによって避難場所が決まってくる。
17	60代	女性	30年以上	道路に水がたまりやすくなっているの、水を吸収するアスファルトなどが開発されるといいなあ。森林保護や河川整備の重要性に市民が関心をもつこと。そのための情報提供などお願いします。千代橋の危険水域のラインが大雨のたびに気になり、見るくせがついてしまいました。河川敷の車が浮いていたのを目にしたときとてもこわく思いました。
18	60代	女性	30年以上	県や市から防災に関する情報の提供をしてほしい
19	60代		30年以上	現在、水害に対して千代川の安全度はどうか、知りたいです。
20	70代以上	女性	30年以上	公明党はすごく大事な事だからDVDを見たりカードをいつももっているよう。記入してもっている他の党も協力して色々な角度でたびたび勉強会をもって、他が災害にあったからとろたえる事なく、いつも心の中に備えるのが良いので全力上げて自分自身の事だからやるべき
21	50代	女性	30年以上	千代川の川の内には生えている木等を取り除いて欲しい。川の流れを止めるものは全て取り除いて欲しい。
22	50代	男性	20～30年	平時でも細かな法律に縛られて役所内でも縦割り行政になっているのに、緊急時に、国や地方自治体、さらには医療機関が連携をとりあってスムーズに対処できるのでしょうか。
23	60代	男性	30年以上	防災告知スピーカーからの音声は室内等にいるときや外でも風向きによっては聞くことができない。もっと大きな音か、何かの工夫が必要と考える。
24	70代以上	男性	30年以上	①防災無線は、近くの人々のみ聞こえる程度 ②行政は防災無線又は広報車等で広報すれば周知できているようですが、普段から聞き取りにくいのに、雨の場合はほとんど聞くことが出来ない ③防災無線は各戸に必要である ④今後は、雨の降り方も変えると思う。集中的に降る雨が多くなると思う
25	50代	女性	10～20年	①地球温暖化を遅らせる為に緑を増やしてゆく事 ②雨などを地下に戻す為に家のまわりをコンクリートで固めない様に条例で定めて、減税をすとか（草取りが大変だから） ③川がはんらんしない様に所々を深くしておく。それにより魚（鮎など）も鳥の捕食を少しでも防ぐ。 まだたくさん思っている事はありますが、自分が実行している小さな事ばかりです
26	70代以上	女性	30年以上	千代川の氾濫は現在の堤防ができてから全く心配していません。以前は父から洪水の話は聞かされています。○ひもで家族全員をくくりつけて二階にいたこと ○水が引いた後、木々にへびがまとりついてたこと
27	40代	女性	10年未満	千代川の堤防の確認と弱い場所の強化。
28	70代以上	男性	30年以上	最近、実際に水害の被害にあわれた方から、体験から学ばれた生の声を聞くことのできる機会を是非つくってほしいと思います。自分自身にとっての水害への心がけも前進が期待できると思うのですが。
29	70代以上	男性	30年以上	（災害国ニッポン）はマスメディアばかりなく、国民が等しく認める日本の総名である。こんなに、大・小の天災の多い国は世界にあるだろうか。天災には勝てないが、しかし地球ができてから人類は少しずつ災害の被害を抑制しつつ、人間～発明と発見と研究によって小規模をものに規模を抑えたいところだが、地球が生きている以上これは不可能に近い。そこで、①災害の大小を問わず、その予知をより多くの住民に周知されること。②このため天災後の被害後の復旧を思うとき、事前の予知に知力を傾けること、天文学の進歩を参考にする。③災害が発表した場合の防災の対応に十分応えられる平事の知識（学習）・認識（国民）にも徹底的に学習させる機関をもつ。

地区名：明德（3）

No	年齢	性別	居住年数	意見
30	70代以上	男性	30年以上	問1③起り易いと思う。イ、上流部分の欠かん場所に手当てがしてない。特に河原稲害を中心として中州の除去されん上流の河中の滞流万の除去が進んでいない底上げの状態を早く改修しないと。
31	50代	女性	10～20年	防災活動を中心に行っている者を含め、地域の人々の中で鳥取で体験した鳥取大火・大震災を経験された方々が少なくなってきた。東日本大震災をメディアを通して知る事ができたが、私を含めどうしても危機管理が薄れている様だ。現に私も数年前は、災害に備えての防災グッズは揃えていたものの、今では年に一度の確認を怠っている有り様である。私の住んでいる町内では独居老人が多く、水害のみならず災害が起こった時どれだけの方々が備蓄品を持ち出す事ができるでしょうか。町内会館が充実しておらず、簡易な造りの為、それらのものが備わっている分ではない。集会場として利用されているが、限られた方達ばかりである。（狭い為、集約人数が限られるからである）そこで、町内会館の見直しをして欲しい。町内住民の防災意識を高める為にも、あれでは充実した話し合いができるとは思えない。町内全体でコミュニケーションがとれる場を希望します。因みに私が住んでいる所は幸町で、棒鼻会館です。 ※今回のアンケート調査に於て、少し趣旨が違っているかも知れませんが。どうかこの要望を直接目にして頂ける所にお届けして下さいと思います。
32	60代	男性	30年以上	狐川は、下流の地域は改修されていますが幸町の富田電機～トスク本店の裏の辺まで未改修です。下流地域のように、早期に改修してほしい。
33	60代	男性	20～30年	水害の危険区域に居る者として、いつ大災害が起っても不思議ではないと思っているが、特に堤防への備えや避難所への勧告など早目の指示をお願いしたい。大雨の場合、防災無線は一般住宅に居る者にとっては聞き取り困難と思われるので、そのあたりの対応についても検討していただきたい。
34	50代	女性	10～20年	このアンケートで、初めていろいろな取り組みがなされていることを知りました。忙しい日々の中で、ついつい見落としてしまうことの多い毎日です。マンションの7Fに居住していますが、あまり安心せず防災・減災に関する取り組みも行なって参りたいと考えました。東日本大震災で、日本中とても敏感になっています。明日は我身です。また、不意の災難もどこからおそって来るかわかりません。鳥取市内でも高いマンションが多くなって来ました。ヘリコプターの落下・激突等の危険も時々気になります。涯くずれ・トンネル・橋・公共の建物・道路の老朽化も是非、万全の注意をおねがいします。危機管理の優れたところこそ、住民の安全・安心を勝ちとることができます。この度のアンケートで、まことに現状を知ることができましたし、更に感心をもたなければならぬことにも気づきました。ありがとうございました。
35	60代	男性	30年以上	①袋川に対する住民の意識が低いように思う。現在のように、川辺やのり面が雑草で埋めつくされている状態では、住民が川に意識を向けないのも当然であろう。いくら鯉のぼりで飾っても普段の美化が無視されていれば、誰も川に目を向けない。川の防災意識を高めるには、「我々の川」という誇りと意識が重要である。 ②水害ではないが、若桜橋～智頭橋の遊歩道について、特に積雪時の除雪が全くなされない。そのため、歩行者（含、自転車）が車道を通行するために、非常に危険を感じる。近隣の住民の反対意見を無視して作ったならば、最後まで責任を持って管理してほしい。
36	70代以上	男性	30年以上	各町内により、条件が異なると思われるので普段から細かく対策を町内として考えて、町民の安全を考えておくことが水害に備えてほしい。老て避難がむづかしくなっている事、心配は尽きない。

地区名：明德（4）

No	年齢	性別	居住年数	意見
37	70代以上	男性	30年以上	①数年前までは、千代川の河川敷の中に樹木が大きくなっているのに河川国道事業所は伐採除去もされませんでした。あの様な事の無い様管理を充分して戴きたいと思います。②戦後は河川敷は、草が生え洪水の際でも土の流失を防いでいたのに戦前はスポーツ広場などにして洪水の際の土の流失で土手の崩壊など素人でも少し心配です。③戦前は、土手・河川敷には1本の柱を建てる事も許可されませんでした。現在は少し緩い様になっていませんか。
38	60代	男性	30年以上	想定洪水量の見直し、他県でのゲリラ豪雨（降雨量）データを考慮して見直すべきではないでしょうか。
39	70代以上	男性	30年以上	1. 広報活動があったのか知らない。2. 防災マップなどの資料配布を願いたい。住人である場所の危険度を知っておきたい。
40	70代以上	男性	30年以上	水害はとてもこわいものです。何としても防ぎたいですね。
41	70代以上	男性	20～30年	早目に備えの要領が解る様な計画が必要と思う。
42	60代	女性	30年以上	明德地区は、トスクが避難場所になっている。（市からの公民館・学校は危険との事から）トスクには明德地区の避難場所としてのそなえ（備）が出来ているのだろうか？千代川の水位が越えたら全市があぶないのではないかな？
43	50代	男性	20～30年	森（広葉樹）の再生。大至急取りかかるべき！！
44	40代	女性	30年以上	今の鳥取市役所では、どうなのかと思います。
45	30代	男性	10年未満	意見を書いたところで最近の鳥取県や鳥取市は、県民、市民の声は聞いているとは思えない。知事や市長の考え方一つで進んでいるような気がするので、ご自由にと言われても書く気になれません。
46	70代以上	男性	30年以上	・温暖化による集中災害が近年多く成っている。千代川本流にダムがなく調整が出来なくなるように思われる。・円山川の災害を見る時、千代川でも十分考えられる。・ダムが出来たので袋川関係は良く成ったと思われるが堤防の老殿部分も有り点検の必要が有ると思う。
47	70代以上	男性	30年以上	①災害情報を正しく知らせる②小型の消防車、救助の車などを各市町村に配備する③災害に対する訓練を実施する
48	60代	女性	30年以上	近所に高層マンションがあります。水害の時など一時避難場所として避難させてもらえると良いですが。
49	60代	女性	10～20年	近くに標高何mか表示があればいいと思う
50	60代	男性	30年以上	気候変動の要因解析と対策の確立対策の実施が望ましい。
51	70代以上	女性	30年以上	特に川沿地区に関しては、細道でも両側の測こう、排水口等の土や雑草が、測こうふたの下に生え繁って、路面の流れをさまたげているみぞが、多々有りますので（わずかの雨でも路にあふれている所も有る）年1～2回はかならず、ふたをはぐってきれいに、地草、流れ込んだごみ等、取りのぞいておいてほしいと思います。
52	70代以上	女性	30年以上	広範な地域の区をどの様に行動すればよいか、市の防災行政の人と地元をよく知る徳尾の役員の人達が、色々な場面を想定して避難誘導して下さる道順を定め、それに従って行動したいと思います。近所の人には各家庭の家族構成を良く知っていますので、お互いに助け合うようにした方がよいと思います。区の場所に依り集合場所も定め行動した方がよい時もありますが、一刻を争う時もありますので、それも出来ない場合もあると思います。私の家は世紀小学校が近いので水害の場合、小学校へ急行したいと思っています。

地区名：旧市（1）

No	年齢	性別	居住年数	意見
1	70代以上	女性	30年以上	久松山のふもとなので水、山くづれが心配です。お堀の水山の水と床上まで上がったことが何度かあり大雨だととてもとても心配しています。
2	60代	女性	30年以上	防災放送設備が近くに出来心強く感じています。しかし、気象条件の悪い時には窓も閉めていますし、雨、風の音で聞き取りにくく、心配です。
3	60代	男性	30年以上	修立地区公民館（山の手会館）は避難場所となっているが施設は老朽化して昔の小学校の跡地である。災害に備える備品、道具は一切なく耐震度の設計もなくこれまで何回か市や自治体にも改善を要求しても先送りとなり市内で一番悪い公民館である。最近は何回か会合がもたれているが老人ばかりで出席者も少なく若者の参加がない。ましてや女性の出席は全くなく町の役員だけである。町内で消火栓の点検や放水訓練は何回かしていますが老人世帯が多く参加も少ない現況である。やっと災害のハザードマップがくばられているがいづれにせよ訓練（人を集めての）は全く関心がない。やはり実践と訓練をして浸透させるべきだ。又夜間の体制は公民館には広報の体制もなく先日の台風で数人公民館に避難したが入口は施錠してあり、人もなく、公民館の用を足してない。やはり自治体の本気になって市役所建て替えは後にしてでも住民の安全を確保することといつ来るかわからん水災害に備えてもっと強く取り組んでいかんとまだまだいけません。
4	60代	男性	10年未満	資料の配布だけでは無く実施訓練を定期的に行う事
5	70代以上	男性	30年以上	天神川の川中に木が自生し大きくなっている所が数ヶ所あります。大雨の際川勢に倒されて川を堰止め辺りに流水が溢れ、家屋浸水の恐れがあります。ついては川中に自生する樹木を伐採して流れして流水を堰止めしないよう措置してください。
6	60代	男性	30年以上	全国的な一般的な内容ではなく、住んでいる所（たとえば湯所2丁目）のキケン性。こういうことが起こる可能性があるのにそれに備える必要事項の周知徹底。
7	70代以上	男性	30年以上	○行政機関が行なう避難情報システム等何一つ分らない。○指定避難所も災害の種別に適当なものかどうか。また、適当な時に避難所が開設されるのかどうか分らない。○行政機関の防災活動と自主防災会との協調するようになっていない。（市民を効率よく適切に救援するため）
8	70代以上	男性	30年以上	危険個所の補修
9	40代	女性	10～20年	雨が續くと道路の水はけが良くない所が、結構見かけるので、調査、修整してほしい。
10	70代以上	男性	30年以上	起きたときに、住民に周知する方法を考えてほしい。
11	70代以上	男性	10～20年	1.地域の基礎的排水能力を上げること 特に低地域に留意して下さい。2.ヒナン計画（ヒナン先）を現実的なものにする（大雨の中何百米も歩けの計画は実感が沸きません）
12	60代	女性	20～30年	直接的には国交省には関係無いかと思いますが市の方からの防災の知らせ（特に夏場での熱中症予防とか）のアナウンスがこちらでは全く聞きとれません。他の地区に居た時とてもはっきり聞いて驚きました非常時などのことを考えると不安です。広報車なども回ってほしいです。
13	70代以上	男性	30年以上	正確な情報が適切に得られるよう望む 千代川の整備は絶えず配慮されるべきであるが堰ダムに事故がないこと（未来永劫）を祈る
14	40代	男性	10～20年	・街中にも水防団が必要と思います。・排水ポンプ車は多い方がよい。
15	50代	男性	10年未満	・暗渠の許容量をふやして、道路の冠水などないようにしてほしい。・マンション等、高層ビルへの避難が可能にしてほしい（民間ビル）
16	70代以上	男性	30年以上	正格な情報を少しでも早くお願いします
17	50代	男性	30年以上	・地球温暖化防止の為の対策として、火力発電に変わる、原子力発電が有効とされているが、原子力発電も危険性が高いので、それに変わる発電所の建設又、エネルギー開発。・電気自動車を普及する為に、値段を下げる努力をしてほしい。又、充電設備の充実

地区名：旧市（2）

No	年齢	性別	居住年数	意見
18	70代以上	男性	30年以上	国は熱心なようだが自治体、鳥取市はあまり熱心でない。市庁舎の水害対策だけは配慮しているようだが、特に危険度の高いところへの心配をしているのか、見聞したことがない。
19	60代	女性	30年以上	今までの大きな水災害の時、国や地方自治体の行動が遅すぎる。
20	70代以上	女性	30年以上	○私達の町内では回数が少ないと思います○全体的に防災関係については余り関心が忘れられている様に思います。○災害は忘れた頃にやってくるとう「ことわざが」ありますが？
21	60代	男性	30年以上	1.山崩れの危険区域を住民に周知するとともに、防備工事を順次、進めていくこと。2.平常時、中小河川の堤防などを巡視すること。3.千代川などの川底が浅いから、もっと浚渫して日頃から川底を深くしておくこと。4.河川や河原に流標物があるので、常時、清掃して美化に努めること。5.市内各所にここは海拔〇mですとの表示板を立ててはどうでしょうか。
22	60代	男性	30年以上	水害等に関して、自治体などは、出きるだけ早めに広報をお願いしたい。
23	70代以上	女性	30年以上	地域毎に水害がどのような形で迫るのか説明して頂いて、状況にあった避難活動や避難時の必要な物（最少限）はどんな物なのかなどなど、住民の関心を高めていただきたい。久松山の登山道の整備、車椅子でも避難出来るような配慮がほしいと思います。
24	70代以上	男性	10～20年	水害意識調査の前に1.千代川とはどういう川なのか、流域面積は、何本の河川を集めているのか流域に1時間当たり〇〇mmの降雨があった場合△△時間後に千代橋の橋脚に示している印のどの程度の所まで水位がくるのか、さらに降雨がどのくらい続けば氾濫のおそれがあるのか、万一決壊のおそれのある所はどのあたりか…等々 シュミレーションの結果があればその情報を説明会、講習会等で示してほしい。2.川が氾濫しそうです。どこに避難しますか（問3－4）、洪水ハザードマップを持っていますか（問2－4）千代川以東の避難所（2005鳥取市防災マップ）で千代川が氾濫した場合の浸水深さが示されています。鳥取市88避難所の内55避難所（62.5%）が水深50センチ以上避難所が床上浸水したのでは笑い話にもならない。参考を！
25	70代以上	男性	30年以上	災害発生時、高齢者や障害者の避難、対応について平常からの準備不十分。誰が誰を、どの様にして誘導、支持、運搬するのか、具体的な方法、器具等の準備等、昼間は？夜間は？万全の準備必要。
26	70代以上	男性	30年以上	1.防災用治水ダム建設 2.千代川防波北の強化
27	70代以上		10～20年	千代川、袋川が洪水に成りあふれた場合、市内のどの地域まで水害が有るのか？
28	50代	男性	10年未満	河川工事による抜本的な水害防止
29	70代以上	男性	30年以上	千代川、袋川が増水する度に河口より賀露港湾内迄大量のゴミ等が流れ込み、又海には大きな木材等が流れ船舶等の運行に支障を来す事が度々です。何とか防ぐ方法は！河川、護岸の整備だけでなく、そこに至る小河川の整備も必要。
30	40代	男性	10年未満	水害のための防災、減災について、現在の対策や施設とその限界などの情報を知らせて欲しい
31	60代	女性	30年以上	オオチダニ公園の所に水門があるそうですが、市役所が早く開けてくれなくて7～8年前に大水がついた事があるのでもっと行政がしっかりしてほしい。
32	70代以上	男性	30年以上	早期の避難勧告の発令、避難体制の充実
33	60代	男性	30年以上	・千代川だけにこだわることなく、わが町であれば、袋川、久松山の土砂崩落等、地域について豪雨が生じた場合、どの程度の雨量でどのような被害が生じるのかというような講習会、研修会を実施してほしい。
34	30代	男性	10年未満	・危険の度合などはっきりと示し、住民へ意識づけをしてほしい。
35	40代	女性	10年未満	自然災害の恐ろしさに対して、危機管理意識の甘さがうかがえる。意識の改善を持って欲しい。
36	70代以上	男性	30年以上	災害時の災害場所を常に住民に周知させておき危険が予想される場合には期を矢はず適切に指導するよう努めること。
37	50代	男性	30年以上	早い段階での情報提供
38	70代以上	男性	30年以上	この地区で千代川からの水害があるとは思えないので、可能性があるのならどんな機会かといったことを教えてもらいたい

地区名：旧市（3）

No	年齢	性別	居住年数	意見
39	60代	女性	10～20年	具体的に訓練したことがないので不安（自分としては早目に高いところに逃げようと思っています。）
40	50代	男性	30年以上	問4－1にある内容をより充実すべきと考えますが、200兆円かけて全国に防潮堤を巡らすという考え方には賛同できません。
41	60代	女性	30年以上	近年、ありえない災害が日本中で起きているので、まだ経験がない自分達でも情報が常に知る事ができる状況にあることが一番の安心だと思う
42	50代	男性	10～20年	①安全地帯へのハザードマップ。②袋川での危険水位の橋への目印の設定線不足、その他テレビモニターでの視聴防災無線の設備各家庭への配布が必要。③千代川がケッカイする前に袋川がケッカイするのでは？
43	70代以上	男性	10～20年	1、一般論は広報でよいか。2、重点地区は対象をしばらく個別、具体的に。3、危険度の根拠を検証したい。（専門家はリスクを拡大するから）
44	30代	女性	10年未満	市役所？から時々、防災の放送が流れているが、「熱中症注意など」何を言っているか、さっぱり聞こえない。これでは、いざという時に困るのでは？と思う。
45	60代	男性	30年以上	各家庭で防災のシュミレーションをチェックする、テストパターンを実施されてはどうでしょうか。各家庭が備へと、行動形態を確保していることが一番肝心と考えているからです。
46	70代以上	女性	30年以上	防災時の支援対峙の早く出来る場所、安全な場所を知らせてほしい。現在近くに7Fビルがあるが築後年数がたっているし、個人的な建物（ビル）は十分に基準が満たされているか分からない、住民の安全を守るためにはもっときめこまかな視点で安心して避難できる建物を指定してマップを作してほしい
47	60代	女性	30年以上	個人情報で町内でも少し離れるとどなたがお住いなのか知らない状態です。せめて町内会長さんに町内の住民の状況がわかる様にしてほしいものです。
48	70代以上	女性	20～30年	住んでいるところの海拔が知りたい。
49	70代以上	男性	30年以上	早めの情報提供をお願いします。
50	30代	女性	10年未満	防災に対しての取り組みを何かされているのですか？一切伝わってこないのもっと広めてほしい。どこに避難するのか断定的には分かりません。
51	70代以上	男性	20～30年	千代川が氾濫した場合、どこまで水がくるのか、海で津波があった時3mの場合、5mの場合、10mの場合、それぞれどのあたりまで波がくるのか知りたい（資料がすでに有っていたら申し訳ありませんが）。近くに用水路がある。これが洪水になったら、人の流される危険があるので道路に近い水路にはフタをしてもらうことは出来ないものか、検討してもらいたい（これは是非）。問2－（4）の洪水ハザードマップ最近のを作られて全世帯に配ってもらえないでしょうか。
52	30代	男性	10年未満	ハードではなくソフト対策を充実させる。お金をかけないで
53	70代以上	男性	30年以上	近年局所的集中豪雨による水災害が発生している。命を守ることを第一に情報を早く、的確に住民に知らせるかが、カギになると思う。町内会・自主防災会の防災訓練（年2回）も大事な取り組みだと思っています。
54	70代以上	男性	30年以上	昨今鳥取県東部地区は災害があまりないので、準備意識が足りない様に思う。注意喚起が必要である。
55	70代以上	男性	30年以上	国や地方自治体はよくやっておられると思う。このアンケート自体その一つであり、過去90年近く生きているが、このアンケートは初めてである。
56	60代	男性	10年未満	最近、豪雨とは言え、頻繁に堤防決壊等多発しているように思われる。修復等が、手薄に成っているのではと、危惧する。
57	30代	女性	10年未満	住民参加型の大規模な訓練（広域）。訓練体験を定期的に行っておくことで、住民の防災意識を高めるとともに避難経路や防災への備えを確認し、万一の時あわてず、正しい行動をとれるようにする。
58	30代	男性	10年未満	実際、災害が起こったとき、町内放送なのかテレビなのか、広報車なのかどのように情報が入ってくるかよくわからない。そう思ったことが知りたい。

地区名：旧市（4）

No	年齢	性別	居住年数	意見
59	70代以上	男性	30年以上	特に水害は、家により状況が異なるので、各家ごとに対する状況の説明が欲しい。子供の頃を思い出すと、排水状況が良くなって来たので、降雨量にもよるが、水位があまり上がらなくなった。
60	70代以上	男性	30年以上	①水害（土砂崩壊・風雪水害等）に強い森林にする。具体的には除伐・間伐・枝打を励行する。私有林については森林所有者に義務付ける。義務を果たさない所有者に対しては、それ相当な対価を要求する。それが果たせない場合は最終的には所有林を没収する。なお、除伐・間伐材はすべて搬出し有効利用させる。燃料材に加工する。このためには、全国的に国土防衛隊を組織し、無職者を以ってこれに当てる。結果的に完全雇用となる。②河川の堤防は強化し、高める。と同時に河底を掘削し、水面高を下げる。ダム貯留土砂を除去し、ダムの機能を最大限果たさせること。前記の国土防衛隊がこれに当たる。③住宅等の建築に際しては、風水害に強い住宅を至急開発し、規定に反する建築は許可しないこと（詳しいことは省略する）
61	30代	男性	10年未満	災害が起きた時に備えをしておきたいので、具体的な指針が欲しい。自治体は、県と市が連携をとって欲しいが縄張り争いばかりしている印象しかない。今の県知事では防災体制がとても不安。威勢だけはいいが、中身が伴っていないので、まともな判断のできる人に県の防災指針を示して欲しい。
62	40代	男性	10年未満	風潮としてwebに掲載していることで周知になっていると思う傾向がある（自治体に限らず世間一般）リーフレット（ハザードマップ）や小冊子の配布は、コストはかかるが、有効だと思う。
63	30代	男性	10年未満	家を建てしばらくしてからハザードマップがでた（というか知った）建てる際に、水害等の情報（浸水想定）などがわかっている基礎等に工夫ができたように思う。
64	70代以上	男性	30年以上	救助の際の器具はそろっているか（舟やヘリなど）要するに救助体制は万全か
65	60代	男性	10～20年	河川水位上昇による洪水警報、防災対策はもちろん小さな地域単位での土砂災害の避難指示などの警報、防災対策を願います。
66	60代	男性	20～30年	実際に事が起こって見ないと、住民・行政共働かないと思うし、どう行動すればよいかわからない。
67	60代	男性	30年以上	千代川がはんらんしないように積極的な対策をお願いします
68	70代以上	男性	20～30年	6には合致しませんが、実際に体験したことを以下に。6～7年前でしたか、私が町内会長をしていた時に「日赤東支部の方を招いて近くの公民館で「防災の会」を東町ブロック（4町内会）があるが1地区のみ自主防災会が組織されておらず（今はどうか知らない）折角するのに一町区にも「ちらし」をと各戸に入れたのに未組織の自治会の地区からの参加はZERO人であった。後日、その地区の知人に話したところ、もう20年も前か？真偽の程は不明だが官公署（おそらく市役所か）を退職して間もなくそんなもんつくって何になるんだいや、形式だけだがなあ！」と。他人をリードする立場にあった人の発言だけに、それ以後誰も防災会立ち上げを言う人はいなくなったとのこと。市役所担当課の話ではあくまでも自主防災会なので強制はできないとのこと。どこかおかしい！
69	70代以上	女性	30年以上	道路の排水設備をよりよくすること、流れが悪くなっていないか度々点検することを常に行ってほしいです。
70	40代	女性	10～20年	防災訓練を年1回だと、その日に参加できなければ、2年間参加できないことになる。年内の実施回数を増やすか、近隣の訓練情報を公開し、参加してもよいようにして、広く体験できるようにしてほしい。
71	70代以上	男性	30年以上	実際に防災活動が行われたことは聞いたことがない！
72	70代以上	男性	30年以上	どんな情報をどの様に流しているのか？各家に確実に流れているのかフォローが重要。避難場所、通路等（最適な）
73	50代	男性	10～20年	豪雨時においても、防災行政無線で避難勧告指示を呼びかけることが出来るようにしてもらいたい。（雨の音で屋外無線は聞こえない）
74	60代	男性	30年以上	河川改修等で側面は美しく見えるが木々が切れ川辺に緑が少なくなっているなか、植樹も検討してほしい。
75	60代	男性	30年以上	山地の落葉広葉樹林の復帰

地区名：旧市（5）

No	年齢	性別	居住年数	意見
76	70代以上	女性	30年以上	比較的、大災害の影響を受けない地形と過信することなく、絶えず災害に対する知識の啓発を促進し危機感のもてる指導を・・・。
77	60代	男性	30年以上	各地区に備わっている防災無線放送が風向きによって聞き取れないことがある
78	50代	男性	30年以上	地方自治体の担当者がよくかわり、地域の実情がわかっていない。いざという時には、困るのでは。
79	70代以上	男性	30年以上	職員のレベルアップ(現在は低い)
80	60代	男性	30年以上	防災、減災が必要な対策(地域の意見も聞いて)を立て、立てたらずみやかに実施すること。そして結果を検証すること。
81	70代以上	男性	20～30年	幸いなことに、県内に於いて大きな水害は発生していないが、昨今の異常気象の状況を考えると、何時発生してもおかしくない。住民に対して、もっと防災減災の意識を高めさせるために半強制的な説明会、講習会等への参加を義務付けを考えても良いのではないか。
82	50代	男性	30年以上	Natural disasters come to us when we have forgotten about them むかしから言うように「天災は忘れた頃にやって来る」と言いますが、忘れさせない為に各自の意識が必要なのは当然ですが、公の機関は動機づけや、意識改善そして、市民を守る為に常日頃どんな事をやっているかをもっと皆に分かるように連絡していただきたいと思います。
83	50代	男性	20～30年	私の地域が水害等の被害が、本当に起こりうるのか知りたい
84	60代	女性	30年以上	綿密な避難計画、それにも増して希薄化する地域のコミュニケーションの強化、個人情報問題もあり情報を共有することが難しくなっている現在、災害時の共助が、困難かと思われる。
85	70代以上	男性	30年以上	1.津波による浸水予想マップ(正式なもの)が12月に県から出されると聞いていますが、ざん定的に出されているもので鳥取港、千代川河口あたりの津波の高さが低く疑問あり(青谷～福部の沿岸部に比し)。防波堤のおかげなのか、解説も欲しい。2.大呂川、旧袋川etc鳥取市周辺の水害に対する現状予測etc解説が欲しい
86	60代	男性	10～20年	千代川の水害の可能性できたら、宣伝車で放送を市内で行なって欲しい
87	70代以上	男性	30年以上	○想定外と云うことのないような防災施設の充実 ○高齢者、身体の不自由な人の把握とその避難対策(個人情報の関係で近所の人の動向がよくわからない)
88	60代	男性	30年以上	気候変動にともなう水害を予測、予防に力を入れるべき。そういう方面に対する取り組みが弱いように思う。訓練は大切だが、その前の取組が重要
89	40代	女性	10年未満	西町5丁目に住んでいますが、大雨が降るとトイレからボコボコ音が言い、悪臭が上がってきます。水道局に聞くと道路下の排水管が昔から変わってない為、小さい(幅がせまい)らしく水の流れが悪いです。水害になれば、たちまちトイレから悪臭、水が流れずあふれ出す事になりかねません。水害に備えるため、道路下の排水管を太いものにして頂きたいです。そして道の雨水も流れやすいように欲しいです。古い排水管(幅がせまい)の地域を全部取り替える工事をお願いします。
90	50代	女性	30年以上	子供の頃に1度だけ(小学生)少し水がついた事がありました。道路までで全く家には被害はありませんでしたが、昔は溝があり、そこへ水が流れかなり吸収していたように思います。今は整備されて溝はなくなりアスファルトばかりの道路で、溝に落ちる心配もなく、みた目もキレイですが、実際大雨になり、千代川があふれた場合、道路にあふれた水を吸収できるのかなと思います。(土が少なくなった事も原因があるのかもしれませんがね) ☆子供の頃は溝があり、かなりの量も溝が吸収して、知らない間にすっかり引いていました。
91	70代以上	男性	10年未満	云うは也すし、行うは難たし いうばりではなく実践することが一番大事だと思います

地区名：旧市（6）

No	年齢	性別	居住年数	意見
92	60代	男性	30年以上	防災対策としては、やはり、河川の堤防決壊などが発生しないように、しっかりとした河川堤防などの充実をはかる。また、住宅近辺の土砂崩れなどを全てなくす治水工事をパーフェクトにする。減災対策としては、防災情報の提供や教育と共に、避難体制の充実化を徹底させる。以上のことに国や地方自治体共に、優先的に予算計上し、実行に移していくことが重要である。
93	70代以上	女性	30年以上	鳥取市の防災情報の声が高音で、高音の聞き取りにくい老人には不向きの様に思います。少し低音でしっかり発声していただきたい。
94	70代以上	女性	30年以上	町内班単位にリーダーを決め纏った行動がとれるのが望ましい 85才以上の独居老人は判断力が乏しく行動力もない
95	70代以上	女性	20～30年	実際に起った発災時の具体的な避難の方法、前もっての情報伝達法、避難場所の問題、持ち出し物品、あらゆる点について具体的な問題と今後対処方法について、資料配布、講習を行なう。この場合なるべく小さな単位（町内会等）で行ない、一人一人への浸透をはかること。指導は発災後その時々を実施して欲しい
96	70代以上	男性	30年以上	近くを流れる千代川の支流の袋川は河川敷の数10cm上まで増水することがある。堤防も高く川幅もあり、整備されていれば問題ないと思うが、町区域の河川敷およびのり面の除草を行っているが河川敷に穴があきのり面のブロックが壊れているのが見つっている。河川敷の除草は年1回行なわれているがのり面の除草は手つかずで木や雑草でおおわれている。これらののり面のブロックが壊れており、大雨のとき災害になりはしないかと心配である
97	70代以上	男性	30年以上	囲りに山が有り定期的に見舞ってほしい→一部の場所（たびたび言う人有力者の言う所）のみで全体的にしてほしい。連絡（不安が有る時）するが何か事（異変）が有ったと言われるだけで有ってからではおそいと思う。
98	70代以上	男性	30年以上	地域の実態・実情に即した情報の提供及び訓練など
99	60代	男性	10～20年	保水力の有る森林（山）を作る
100	70代以上	男性	20～30年	時間雨量100mmを越す降雨も起り得る確率は高くなってきている。このような降雨が2時間も起これば大変です。時間雨量100mmを越す降雨に対する防災情報は・・・？
101	40代	女性	30年以上	水害時”どのう”ってどこでもらえる？のでしょうか？各家庭で用意するものでしょうか？
102	50代	男性	30年以上	税金の無駄使いにならぬ様有効かつ効果的な対策を望みます。利の温床にならない様にして下さい
103	60代	男性	30年以上	防災情報の提供はデジタルだけでなくラジオなどアナログで重点時にやってほしい
104	50代	女性	10～20年	片原通りの地下に大きな下水管が埋設されてから浸水の程度が低くなりました。大雨が降っても安心していただける効果的な処置をとっていただくことを望みます。又、土のうは重いので万が一に備え高齢者でも扱いやすい”土のう”を各地区に配置してもらい、心配な時は早めに自由に使えるよう「土のうステーション」があるといいと思います。
105	70代以上	男性	20～30年	防災訓練を鳥取市全体で全員（出来るだけ多くの人々）が参加するものを一度は実施しておく必要がある。勿論、各地区での避難対応等は決められていると考えるが、その実際の訓練をする。
106	70代以上	男性	10～20年	詳細な情報伝達を
107	70代以上	女性	30年以上	ひなん場所を知っておきたい。水害が来た時どうすれば良いかを習っておきたい。洪水が来ないため堤防を創ってほしい
108	60代	男性	30年以上	ハザードマップがどの程度正確なものか知りたい
109	70代以上	男性	10～20年	口先だけのことでなく具体的に計画性をもって計画を継続して行うこと。国税であるからまず危険な場所を最優先に事業を実施する。お金は絶対に間違いのないように（犯罪も防止する）
110	70代以上	女性	30年以上	災害避難場所など確定されているが実際の場合だれがどのように指示するのか、時間外であればどうなるのか。車が国道県道を横切ればどうい避難時には混乱となる。紙上ではなく実際に体験できるような機会も必要ではないかと思う
111	60代	男性	30年以上	災害支援のため国、県、市の公共施設への避難場所の拡大と中国電力、NTT、高層ビルを利用できるようにし学校、公民館等の避難場所以外に近くて確実に避難できる施設活用を望む。

地区名：旧市（7）

No	年齢	性別	居住年数	意見
112	40代	女性	30年以上	避難場所もたしか浸水のおそれがあるエリア、1次避難場所2次3次など段階的にきめた方がよいと思った。
113	70代以上	女性	20～30年	家の裏側は山崩れの危険性があり、家の表側は天神川で両方からの危険がせまった場合、天神橋があふれるまでに避難しなければならぬと考えていますが、そのタイミングが判断出来るかどうか不安です。
114	60代	男性	20～30年	地区指定（急傾斜等）してあるが、実感がない
115	70代以上	男性	10年未満	鳥取市の中での各地区での具体的な方法／方向が判らない。
116	70代以上	男性	30年以上	郡部へ行くと有線放送で色々な情報を流しておられますが、鳥取市内全戸に有線放送を取付けて頂きたいと思います。
117	70代以上	男性	30年以上	現在実施されている防災情報の提供でよいではないかと思っています。
118	60代	男性	10年未満	自宅裏山が危険地帯となっており、不安がある。
119	70代以上	男性	30年以上	避難場所が実情にあっていない。見直しを
120	70代以上	男性	30年以上	1. 自分の町は地域住民が対処することは当然であって2. その為の町別組織体制が必要であります。3. 行政指導として（県、市におかれましては）定期的に自治会費等を集め各町（とりあえず我が町）の組織体制を整備することが急務であります。4. 体制が出来れば・・・即、講習会等を開催すべき。5. 災害マニュアル的なものを作成し、定期的に実施訓練すべきである。6. 自分自身防災知識が多少あるのに音頭とる人がなく残念である！！
121	60代	女性	30年以上	鳥取県西部は津波対策、訓練があるのに鳥取ではあまり聞いた事はない。火事、地震の件ばかりの訓練の様に思う。その時、津波の時の逃げ場所聞いたが久松山までは遠いので、高い（4階以上）ビルに逃げる様にとの返事だった。
122	70代以上	男性	30年以上	玄好町にポンプ場が開設されて以来安心出来てきたが大雨の際は今少し早めに始動してほしい。（下水の水が道路に出てくる）
123	60代	男性	30年以上	森林の保全・宅地開発の抑制
124	70代以上	男性	30年以上	平成20年に浜坂遊水池が完成し運用が始まりました。当時、運用に当っては地元の意見を聞いた上で運用するよう要望しております。しかし、4年が経過した現在も地元で運用マニュアルが示めされておらず、洪水が発生した時目的通りに営用出来るのか不安があります。遊水池は運用を誤まれば2次災害を引き起こすことも想定されるので地元で十分説明していただき運用マニュアルを地元で徹底していただきたい。
125	70代以上	女性	30年以上	避難場所が明確に示されていない。防災対策の説明会が催され参加したが、はっきりしていなかった。
126	60代	女性	30年以上	地区公民館で災害時の心がまえ等話し合う・町内での会合が必要だと思う。
127	60代	女性	30年以上	どれ位の雨が降れば、どこが浸水し、どこへ避難すべきか、はっきりしたデータを知らなければ、何もできない。また、ニュージーランドでは、国が活断層を常に調べ、発見され次第、住民に知らせているということだ。日本ではできないのか、そういう話は聞いたことがない。これほどの災害列島で、すべき事は多いが、すべき事を実際に行い、国民に知らせていくのが、国の責任だと思う。このようなアンケートが行われた事は、評価したい。
128	60代	男性	20～30年	今の人々は東日本大震災をテレビで見てその時は災害の恐さを感じるけれど、それが又普段の生活になると頭から全くなくなってしまっている生活のくりかえしなのでは。だから私は今後市報等に報じられても市報じたいを読んで居ない人達が多いと思います。又、私は地区ごとに講習会をもうけテレビでの姿そのものを皆の目に観せはっきり頭に入れ込まなければ今の状態では余り市民一人一人に災害に対しての自分に対しての事としての恐ろしさと言う物を感じて居ないのではないかと思います。
129	50代	男性	30年以上	地域毎に対して情報を提供してほしい。
130	60代	男性	30年以上	近年山の荒廃が進み山林の自然の保水が極端に減少している様に思われます。護岸整備もいいですが、山林の整備が必要かと思えます。
131	70代以上	女性	10～20年	しっかりしたビルが有ってもカギがかかって入っていけなかったり外階段がないと利用出来ないと思います。
132	50代	男性	30年以上	地震と水害では避難場所も変わってくると思うが、それに対応する避難場所を地区ごとに示してほしい

地区名：旧市（8）

No	年齢	性別	居住年数	意見
133	50代	男性	20～30年	災害に耐えることが可能なスーパー堤防の整備を早急に行うべきである。
134	70代以上	女性	30年以上	鳥取大地震、鳥取大火と経験してきました。自然の力にはどうしようもないと思いました。
135	60代	男性	20～30年	自治体の地域把握（1）危険地域（2）準危険地域（3）比較的安全地域 降雨量、河川の増水量に応じた広域の災害（防災）マップはN G 小地域毎に上記（1）（2）を色分け 現在自分の住んでいる地区がどの程度の危険性を有しているかを認識 避難場所はどこへ？身体の不自由な方の避難方法を小地域毎に町内会を通じて話す場を設け、避難方法を自治体へ報告させる（住民の意識向上効果も狙い）
136	70代以上	男性	30年以上	千代川の海に通ずる川筋のあり方が大正12年の洪水時の流れ、改修された状況（重箱とは、松並町とは）私は記憶では河口が賀露の河が■へ出ていたと思うが現在は砂丘の西であり、この様になったいきさつがあまり説明されていない。これが■洪水が激減したと思う
137	50代	男性	20～30年	公共の橋、砂防他の設備は、全国的に建設されてから長期経過するものが発生しており、改修工事が一斉に迎えることが、近年問題となっています。災害防止の第1は設備であります。多額の費用がかかることなので、計画的に進めていくことを早く着手してほしい。（政治の問題でもある）
138	40代	女性	10～20年	避難についてです。住宅地は平日はお年寄りが多くて、要支援者が多すぎます。職場にいる人が地域の避難訓練（自分の居住区でなく、職場）の体験が必要ではないでしょうか。
139	50代	男性	10年未満	地震に対する防災訓練だけでなく、水害に対する防災訓練も地区によっては取り入れて実施していくべきだと思います。
140	40代	男性	10年未満	東日本大震災の際、住民の対応を見ると、津波情報の提供タイミングが間に合わなかったことで、被害は大きかったが、避難によって助かった人も多かったと感じる。津波の規模が想定外だったことは不幸だが、人々の災害対応に関する知識や行動の水準は、日本人は高いと思う。これは、日頃の訓練が比較的良好に行われているおかげ。これを持続、あるいは高めるよう啓発が必要。行政については、技術的な課題が多くとも、早期に危機情報を人々に提供できるよう、制度やシステムづくりをすすめる（強化する）べき。
141	20代	女性	10年未満	豪雨時は外の音が聞きとりにくいため、避難エリア内の一斉メールを実施してもらえればと思います。
142	70代以上	男性	30年以上	防災に対する周知徹底はくりかえし地区ごとに開いて努力されたいし、町民も努力していきたい。
143	70代以上	男性	10～20年	特にありませんが、市民の生命安全については、格別のご尽力のほどお願いします。
144	30代	女性	10年未満	分かるように伝えて欲しい。水災や災害についていまいちという部分が多い。昔からこの地域に住んでいないので土地勘がなく、何かあった時には近所の知り合いも少ないので不安。
145	50代	女性	20～30年	千代川についてのアンケートですが、我が家は袋川（旧袋川？）の近くで雨が降れば川が増水しています。以前100年に一度の災害に備える（一級河川＝千代川）と話されましたが、100年に一度に起こるような水害がいろいろな所で発生しています。それより小さい河川ではもっと心配です。対策が机の上だけの計算ではないのでしょうか？避難するにあたって、橋が渡れないのではないのか？（危険）
146	60代	男性	30年以上	減災対策を整備してほしい。
147	50代	男性	30年以上	鳥取は自然しか誇れるものが無い街なので、自然を壊さない方法で防災をやってほしい。
148	70代以上	男性	30年以上	地域の大災害発生の予知対策、研究の状況を情報として発信してほしい。
149	70代以上	男性	30年以上	河川の流路の雑木堆積土の除去により流路の整備
150	50代	女性	20～30年	危険な地域には、早く防災施策を実行してほしい。個人では、できないことは、国や地方自治体にしてもらえないので、よろしくお願いします。
151	60代	男性	10～20年	あらゆる手段を用いて住民のすべてに周知される情報を発信して欲しい。

地区名：旧市（9）

No	年齢	性別	居住年数	意見
152	50代	男性	20～30年	非常の際の機材(ポンプ等)を各地区等で使えるようにしてほしい。
153	70代以上	男性	30年以上	津波とか大雨洪水が起りそうな時の通報連絡のスケジュール確立
154	60代	女性	30年以上	国や地方自治体が防災・減災に取り組んではいけるのだろうが、末端まで伝わってこない。担当部署と、町村の役員だけが取り組んでいる感じがする。災害時には最終的には指定された避難場所に集合し、公的な支援を受ける事になるのだろうが、今の処、各機関の対応が何も見えて来ず、自分のことは自分で守るという準備だけはしておかないと・・・という気持ちでいる。災害は来ないに越したことはないし、必要以上に恐れさせる必要は無いが、万が一に備え、具体的な対策を徹底してほしい
155	60代	女性	30年以上	3年程前、米子方面の国道での正月の大雪で交通マヒした時の件正月2日になったので交通マヒはなくなっているかと思い毎年2日には出雲大社に行くので9時頃家を出ました。国や県の腕章をつけた方が歩道をあちこち歩いておられましたがあれは何のために歩いておられたのでしょうか。何を聞いてもわかりません。そして高速に入る道路には通れないとの看板ひとつ立っていなかったのでもどの車も入ってはバックしてますますの大混乱でした。 (米子道に入る道路のこと)寿城あたりおまけに水はけが悪くどの車も困っていました。今でも腹立たしく思い出されます。役所の方は現地指導を徹底していただかないと大災害には立ち迎えなと深く思っています。
156	60代	男性	30年以上	時間がかかってもより具体的な防災訓練が必要。
157	60代	男性	30年以上	ドブラーレーダンの設置とその映像の公開ですかね。
158	60代		30年以上	改善されてきているが定期的の下排水の点検、整備をすることが必要。各自治体(町内会単位の自主防災会)への協力要請も可
159	70代以上	女性	30年以上	防災に関して地域や公民館での講習会等に何度か出席しましたが、もう少し身近で分かりやすい説明がほしいと思います。皆が頑張っているんだという気持ちになれる様な非常持ち出し品等も(これだけは絶対持ってでるべき)という様な点も知りたいです。
160	40代	男性	10～20年	防災や減災の取り組みには参加したいが、平日の日程のものは参加しづらいので、土日にしてもらおうと参加しやすい。
161	30代	男性	10年未満	以前の事例を知り、その対策を、どのようにして今どの位進ちょくしているか知りたい。
162	70代以上	男性	30年以上	地区に即応出来る講習会の開催を頻繁に開催願いたい。
163	70代以上	男性	30年以上	放送材器を最大限活用して早期の予報を何時如何なる場所でも受信出来るようお願いします
164	40代	男性	10年未満	地区ごと(市単位)にきん急連絡がケイタイに通信される機能
165	70代以上	女性	10年未満	不安ばかりで 老人は情報も行動も難かして不安です。 分りやすいパンフレットがあると便利で安全です。 よろしくお願い致します。
166	60代	男性	30年以上	市、町の早期情報(詳細)をお願いしたい。 雨水を流す側溝の改善をして頂きたい。道路両サイドの側溝に雨水が溢れ水を捌かす能力がないため、居住している床下に浸水する。(平成19年8月7日鳥取市長へ陳情書提出)19年8月3回答(別紙のとおり) 行徳地区のように側溝の改修工事をお願いします。
167	60代	女性	30年以上	高令者は家にいる事が多く、又、独居の場合は不安である。やはり日頃から情報の入りやすいルート作りをしてほしい。地域を通して、情報の共有が出来よう… 近年、役所、病院等においてもプライバシー保護の表現で、近隣の高令者の情報が入りにくくなっている現状がある。具体的対策を願う。
168	50代	男性	20～30年	各地区の拠点となる公民館や小学校の耐震化と炊き出し様態の強化
169	70代以上	女性	30年以上	市や町(県)の広報資料は一般的だと思います。もうすこしきちんと区切って説明してほしいと思います。(海から何千kとか千代川から何kとか)・防災情報をいろいろ提供しているとおっしゃられても年齢を重ねると器具の使い方もわからないので、一般のニュースの中に、しっかりと提供してほしいと思います。・このような災害でも国の予算化が出る所と一寸の事で出ない所がありますが、災害がもとで周まっておられる所には予算が使われるよう、しっかりと各担当部門で行動してほしいと思います。

地区名：旧市（10）

No	年齢	性別	居住年数	意見
170	70代以上	男性	30年以上	①河川の状況や河川の護岸など基本的なものを充実する。②市内等居住地区の廃水施設の整備
171	60代	男性	30年以上	市街地は防災無線なし、屋外放送も遠く内容が聴き取れない。 (近くても大雨の時は聴こえないと思う)

地区名：稲葉（1）

No	年齢	性別	居住年数	意見
1	60代	男性	30年以上	川に生えている大きな木は取り除くべきである
2	50代	女性	30年以上	先々、気候変動による災害を減らすためにも、危険な所を調べ改修され、市民の防災知識・意識を高めていただきたい。（市報、新聞などで）高齢者、子供達を一番に守るため、各町内などで、話し合っておく必要がある。（沢山の命を守るために）
3	60代	女性	30年以上	山と川にはさまれた場所に住んでいます。災害が起きてもどこへどう避難してよいかわかりません。近くの学校も水害には弱いと思います。（低い土地の様子）自宅の二階で助けを待ちたい気持ちになります。各地の公民館などで、具体的な避難方法を教えて下さる機会が欲しいです。10年ほど前までは、近くの山や川を県や市の方が大雨・台風などの際、見回りをして下さる姿があり、とてもとても心強かったのですが、最近ではそれも見かけません。あの頃の作業服姿の方の見回りは住民にとりましてとても有難いものでした。住民はただ自立的に考えて動くだけになりました。その上要支援者の方もほって避難するのは心苦しく思いますし…。
4	50代	男性	10年未満	どちらに逃げたらよいか。避難経路も指示を広報してほしい。例千代川が増水、はん乱した時、滝山からどちらに逃げるべきか？（国府方面or福部方面？）
5	60代	女性	10年未満	既存の想定では対応できない地球規模での変動が報じられています。避難場所が不適切な所であった事など、東日本の震災でも浮きぼりになりました。災害の内容によって避難場所も変わってくるのだと思います。地域に根ざした、きめ細かな対応を望みます。立場を越えて、本気で防災・減災に取り組む意識の変革も必要かと思いますが、如何でしょうか。
6	60代	男性	20～30年	①地域の防災マップを早急に作成する。
7	70代以上	男性	20～30年	水害、豪雪等の災害は近年は何時どの地域に発生するかわからない時代になっている。特に当地域は市内でも積雪の多い地域であり、道路の除雪が歩道上に積み上げられ高齢者や児童の歩行ができない場所があります。"質問" 車道の除雪を歩道上に積み上げて歩道を歩くことのできないような除雪はどうお考えでしょうか？どうすればよいのでしょうか？
8	60代	男性	20～30年	危ないと推察される箇所は早急に手を打つべきだ。また定期的な点検も必要だと思います。（役所が手が廻らないのであれば、地区防災会等に依頼して問題点を上げてもらっても可）
9	60代	女性	10～20年	メディアによる情報も必要だがさらに広報車等での声かけも必要と思う。又、隣組福祉員、民生委員等人による活動が大切だと思う。
10	70代以上	男性	10～20年	自主防災に対する自治体からの予算的なものあまりにも少ない
11	70代以上	男性	30年以上	適正な森林管理必要 密生なら下木、下草の発生少い。
12	70代以上	男性	30年以上	河川の維持管理には莫大な予算を必要とする 天沖川流域の河川の中にはブッシュが樹木のように生長して自然の流れを邪魔しているヶ所が何ヶ所もある 水害を事前に防止するため河川の改修を是非実施して欲しい
13	70代以上	男性	30年以上	もっとわかりやすき情報を住民に提供ほしい
14	50代	男性	30年以上	・水田を宅地化したために遊水池（稲葉山小学校のみとなった）がなくなり、水害が起こりやすくなった。40年以上前の状態にもどしてほしい。また百谷ダムの安全点検の状況を公開してほしい。・前橋を通らないと、山に避難できない。前橋の安全度等の説明も地区住民には必要ではないかと思う。
15	70代以上	女性	30年以上	この地区は避難場所は稲葉山小学校と聞いています。が、この学校は30年代は何回も水害（浸水）を受けていると聞いています。今は新校舎で昔とは違っていますが学校周辺の町内はこの小学校に避難するでしょう。しかし住宅そのものが学校より高台であれば意味がないし、又、地震の時はお世話になりたくても道がせまくて2階建てが向き合っていて並んでいるので住宅が地震によってくずれたら目的地に行くことすら出来ない状態です。高台でも水害を受ける時は受けるので家の2階に居るのがよいか別の場所を選ぶ方がよいか迷います。たとえ東中学校を選んでも道幅がせまく建物がくずれる状態ならば避難は困難だと何時も思っています。
16	50代	女性	10～20年	最近の異常気象はコワイです。大雨、大雪等やれることはやってほしい…。でも自分の命は自分で守るしかないのかな…

地区名：稲葉（2）

No	年齢	性別	居住年数	意見
17	30代	男性	10～20年	これまでの日本は百年や千年に一度起きる可能性にさえ多額の税金を使い、海岸や、川辺など、人が住まぬ場所まで、治水という名目で、破壊しつくしてきた。これからも、気候変動という名目でさらに不要な治水事業を行うのだけはやめてほしい、津波をさけるためと巨大な堤防をきずくような発想はやめてほしい
18	70代以上	男性	30年以上	当地では天神川が流れている。その上流に土砂の採取地が有る。今は稼働していないがその跡地から雨が降れば土砂汚れが広くもない川に流入し河床が上っている。大雨が降ればいつかはと思う気がします
19	70代以上	男性	30年以上	佐治川合流地点までが、直轄管理区間だと思います。用瀬区域内の河積は断面不足ですから左側の町道はトンネルとして、河幅を広げるようにしてはどうでしょうか。岩盤を除却することは、景観上できないと思います。
20	60代	女性	30年以上	以前大雨の時、百谷ダムサイレンが鳴ったようだが、大雨台風の時は全然聞こえなかった（後で聞いた）。これは市からの近くの防災放送ですが、これも大雨台風の時は何を言っているのかわからない。家の中にいたら放送している事体わからない（静かな昼間、熱中症とかの情報の時はなんとか聞こえるが）
21	60代	男性	30年以上	最近気候が変化していますので、あらゆる防止策を講じていかないと、生活活動が困難となる。
22	50代	男性	20～30年	テレビ、天気予報等で雨量をmmで報告しているが、mm単位での雨量が分かりづらいのでこのような内容を含めて基本的な情報がほしい。避難場所は高台に必要と思う。小学校、体育館は平地にあり、水害、津波には適さないのでは。
23	70代以上	女性	30年以上	○S50年から梅雨時大水がでました。私達の町内は床下浸水し、滝山本部落に避難しました。これは百谷ダムの放水が遅かったこと、他にも「ツツミ」があります。気象情報を早く察知し早目の対策をしてほしいです。○H54年に新滝山橋が完成しました。その時私の家の敷地少し西側を深く掘られたとき「ヤイタ」というか鉄板の大きいものを縦に入れられました。それが影響しているのか分かりませんが、大雨が降り水かさ土手の7～8分まで上がりますと、床下にきれいな水が湧いてきます。主人が亡くなって10年となりました。私一人心細く、雨が降る度心配しています。○立川大橋から前橋までは川の両面広くなりましたが、岩倉から流れる川と上から流れる水がぶつかりよどんで逆流します。前橋のあたり川はばを広げていただきたいと強く願うものです。要するに水の流れが悪いです。ありがとうございました。
24	70代以上	男性	30年以上	稲葉山地区の山を改良し、災害の為に避難が出来るようにグランドゴルフ場と便所、駐車場を作って市民の安全を守る
25	60代	女性	20～30年	防災無線が一番わかりやすいので（12時、今なら5時予報、熱中症が予想される日の連絡）語りかけてくれるので多いに利用してほしい。
26	70代以上	男性	30年以上	今の避難場所が良いとは思わない。
27	60代	男性	10～20年	インターネット、携帯サイト→していない、持っていない人は情報分らない。そんな人の為にあるだけ。役所は自然、大切にしない、乱開発していて知らん顔、植林も大事だが雑木林と組合せないと■■けざられる。林道造ってほしいが雨や雪で通れなくなる→そんな所余分なお金かける河川もコンクリートでブロックで固めているだけ、水を一気に流すだけいろんな所で水を弱める方法が必要でないか。技術的な事はよく分かりませんがホットするし、流れんどれくらい役にたっているか分かりませんが少しは弱まる？避難避難とよく言われるが避難先の生活が情報見えてしんどいなーが先に立つ。休む所の工夫、水道、トイレ等ライフラインの整備不十分。これってアンケートするだけ、聞くだけ？こんなんで終り？・・・良くなるの？
28	70代以上	女性	10～20年	高齢一人住いのため情報を早く知りたい。
29	70代以上	男性	30年以上	※避難道路の確保※生活道路の確保
30	40代	女性	10年未満	森林の整備 川や海の整備
31	70代以上	男性	30年以上	降雨が2～3日続いた場合、県が地方に■■を出す事が大切
32	50代	男性	30年以上	天神川の上流は西谷ダムが有りその水位が注意が必要なので市、県等が雨量が多い時の注意等が必要ではないか。
33	60代	男性	20～30年	森林の保全。宅地開発等の抑制。地域の危険場所の明示、周知

地区名：稲葉（3）

No	年齢	性別	居住年数	意見
34	60代	男性	30年以上	千代川支流の天神川は、川幅も狭く、前橋より上流は堤防の法面が約2m以上で土であり、崩れやすい。川幅が狭いためか、少量の雨でも増水し、法面の土が洗われることが多い。最近、猪が出没し、法面に穴を開けることがあり、今夏は3回もあった。行政に通報しても「しばらく様子を見ましょう」で終わっている。この穴が崩れて、堤防決壊に繋がる恐れは有り得ることだ。堤防の法面の全コンクリート化を望む。
35	50代	男性	30年以上	土砂災害の説明会で県の対応がわるく河川・土砂災害は別だと言わしたが 関係は有るのではないかと 今後の対応を考えて下さい。
36	40代	女性	10～20年	自分の地域のどの辺りが危険なのかがわからないので、わかるようにしてほしいのと、昼間子どもと一緒にない時に災害がおけると困るので、そういう時にはどうするかを、学校教育に組み入れつつ、各家庭で話し合いたい

地区名：松保（1）

No	年齢	性別	居住年数	意見
1	60代	男性	30年以上	森林の保全や宅地開発の抑制
2	70代以上	男性	10～20年	1年1回でなく複数会の活動をしてはどうか（行政と住民がより密接になるよう）
3	70代以上	男性	20～30年	避難場所を住民に周知徹底することが大切。
4	70代以上	男性	30年以上	老人が多くなったこの頃です。色々な情報を解りやすく、末端まで届く様に!!
5	70代以上	男性	20～30年	①千代川流域の防災のための構築物は地球温暖化、異常気象以前の降雨量をもとに築かれたものが多い。依って、異常気象を想定し改善を急ぐ必要がある。②台風による高潮、高波、低気圧の通過と洪水等悪条件が重なった場合を想定した防災が必要。③鳥取港周辺の開発、千代川河口部の浜坂団地、北ジャスや湖山小■には千代川西側の宅地開発等見直しては④千代川河床の堆積物の除去⑤JRの鉄橋の改良⑥上流域の林森の育生
6	60代	男性	30年以上	東日本大震災の教訓から津波に備える為には避難場所の情報等・平素から知識を深める為にも災害に対して場所によっては、海拔（標高）を標示した標識の設置を望む。異常気象の情報伝達を地区に防災無線を設置しているが暴風雨の時等は、家の中にいても全くと云っていいくらい放送は聞こえない。（家では雨戸をしめたり、どこもメ切る為と、雨・風・木のゆらぐ音で）情報伝達の方法を検討する必要があるのではないかと思います。
7	50代	男性	30年以上	私たちの地区は普段は水量が少なく流れも良いが、大雨等になると水路がはかせなくなりたびたび浸水に見舞われた。最近浸水は少なくなったが水かさが増えると心配であり市等へ陳情をしたが、現状では無理だとの回答であった。何とか浸水の被害をなくす様努力をしていただきたい。
8	60代	男性	20～30年	気候の変動が予想される場合ですが、（大雪、大雨、大風など）、前もってTVやラジオ、新聞などでPRして下さい。住民の心構えを前もって啓発して下さい。
9	70代以上	男性	20～30年	水害に備えるという事は、山林の管理、保全を国が徹底して行う事です。河川整備、その中でも特に潮止堰などの流速を阻害する様な構造物や中州などの土砂だまりが出来ない様にする事です。
10	70代以上	男性	30年以上	千代川の堤防強化

地区名：大正（1）

No	年齢	性別	居住年数	意見
1	70代以上	男性	30年以上	・独居老人等に対応できる組織を作ってほしい（防災）・東大阪 市作成の防災マップを参考にしてほしい・ペットなどの避難も同 時に考えて欲しいです
2	50代	男性	20～30年	・現在はインターネットが主流になっている様ですが、個人に よってはパソコン等を持っていない人もいますので、その様な方々 にはどのような方法で伝達（連絡）をするのか詳しく説明があつて も良いのではないですか・緑ヶ丘は千代川と野坂川に挟まれている 地形である為、千代川の情報も大切ではあるが支流の川の詳しい 情報をもっと出してほしいと思います
3	60代	女性	30年以上	災害等、高いところで生活している者はいざという時どうすれば 避難出来るかと一人暮らしの者にとっては不安です
4	60代	女性	10年未満	千代川は過去に何度も決壊しているのでは、忘れてはいけない事と 思う。水の道は変わらないと歴史の本等でよく目にします。東日 本を見るにつけ、自然の恐さを忘れることなく、心にとめておく ことを考えさせられました。
5	40代	女性	20～30年	普段からどこが避難場所かを貼っておく。
6	60代	女性	20～30年	町内放送、スピーカーの音が聞こえにくい。古海（高架下） （ガード下）が暗い。明るくしてください。これは願いです
7	60代	男性	30年以上	洪水ハザードマップに避難所が表示されているが、浸水深から見 れば避難所として適当でない場所が多い。洪水を想定した場所を 指定すべきでないか。広いエリアで避難が必要となった場合には 組織的、地域的な避難を行政で行うべきでないか。
8	70代以上	男性	10～20年	国の予算を確保すべきです。
9	70代以上	男性	30年以上	問3～(2)避難場所のチラシを大正地区から貰っているが、今いち よくわからない。問～(5)消防団などに連絡する…連絡場所が よくわからない(災害時はとくに連絡がむづかしい) 問4～(3)そ の他 鳥取市は水害・その他の災害についてどう考えているの か…市長さんは市庁舎の事で一杯だろうが、水害・その他の災害 について市民の事をよく考えてほしい（市の駅南庁舎はどうなる のか？りっぱな駅南庁舎は利用できないものか？） 問5～(6)非 常用持出し品について～セットで販売している所があれば知りたい …尚地区で…セット販売してもらえば有難いと思う
10	70代以上	男性	30年以上	○各町内単位の水害避難場所の地図及び収容予定人数○その場合 の必需品の名・数量
11	60代	男性	30年以上	河川改修 土砂でつぎ、草刈等 河川を調査し修繕計画を立て改 修していくこと。
12	60代	男性	30年以上	日常より次の項目のチェック及びその対策が必要と思う。 1.徳 尾町内会の野坂川堤防で崖積みになっているヶ所がありますが、 現在では、崩れかけているヶ所があるが、チェックして対策は考 えてあるか。 2.野坂川の中に繁っていた柳等は整理されたが、 町内会を通過する国道29号線下より堤防の出張りが整理されて いないが、その対策は、如何に？
13	70代以上	女性	30年以上	①千代川について。 千代川の川の中にはえている木を除去する 事によって、水位に関係するのではないのでしょうか。 ②有富川 について。 草刈をしてもらえたらと思います。 ③瀬戸川につ いて。 大雨時には、水位が上がって、大変な時があります。ポン プアップしてほしい。
14	60代	男性	30年以上	大井手川の早期改修。昭和60年代より用地買収の話があり、平 成4年に、すぐにかかるからということで売り渡したが、その 後、着手されず、水漏れしたり、買収地は放置状態のまま20年 経過している。 この間、大雨が降るたびに本高地区方面からの 水と、地内の水で、浸水が発生したりして、地区民は、20年に わたり早期改修をお願いしているが、着工の目途がたっていない。 こんなことがあってもよいのだろうか疑問を持っているもの である。どうしたら早期に着工してもらえれるのか明示してもら いたい。千代川の水位が上がると菖蒲地内に降った雨が樋門を閉 める為、増水するので、近年ポンプで汲み出している状態であ り、総合的な計画を早く出してほしい。

地区名：大正（2）

No	年齢	性別	居住年数	意見
15	60代	男性	30年以上	古海地区は、昔から水害が多く発生しています。最近では、河川の改修整備され千代川の反乱が少なくなりました。私の要望ですが国体道路の近くに設置されている、古海ポンプ場があります。ポンプ場の役割等の研修を設けて大正域の住民に教えて下さい。
16	50代	男性	30年以上	大正公民館を水害に対応できる避難所及び防災拠点となるよう建て替えてほしい。
17	70代以上	男性	30年以上	水害のアンケート調査ではありますが、震災風災等のアンケート調査もお願い（自然災害）
18	50代	男性	10年未満	大型発電機の設置 ポンプまた水害防災用自治会用ハウス設置
19	70代以上	男性	30年以上	自分の安全は自分で確保するが、被災後の対応は政治・行政に頼らざるを得ない。その為の組織を明確にしておいて欲しい。
20	60代	女性	10～20年	気候変動に伴う水害に備えてます。第一に早めの対策をお願いします。
21	30代	男性	10年未満	高齢者の避難訓練（定期的） 学校での知識習得（連絡・手段）等の指導と対策を行って下さい。 非常持ち出し品を揃えたいけれど値段が高いので補助する制度を作してほしい。（マップ付）
22	70代以上	女性	30年以上	台風が来て、千代川が増水する度に堤防は大丈夫だろうか心配です。この地域は土手より低く、避難場所に指定されていても安全ではないと思います。高い建物もなく東日本大震災のように津波で千代川が逆流したら考えると「ぞっ」とします。
23	70代以上	男性	30年以上	大正地区では災害時の避難場所が無い感じがしています。水害にしても、自分の家の高い所に移動するくらいがせいぜい・・・公共の広くて高い建物もないのでせめて大正小学校の屋上にでも避難出来ればと考えても屋上には登れない構造になっているとの事で話になりません。又新興団地では隣近所の様子を知る事もままならず、行政が言いだした個人情報の拡大解釈が邪魔をして人と人との絆が弱くなってしまった事が一番のヘイガイだとも思っています。
24	50代	女性	10～20年	川の土手を高くしてほしい。又は道路の片方にかべを作り少しでも水が入りにくくする◎川の水位の状態をテレビで速報のような形で知らせるなど。
25	60代	女性	30年以上	勉強不足でよくわからないですが、国や地方自治体は把握している危険箇所を早く改修するように努力していただきたい。
26	50代	男性	10年未満	早い避難誘導、指示 早い情報の発信
27	70代以上	男性	30年以上	千代川の支流である野坂川のそばに住んでいるが、近年はらん浸水堤防けっかい等の水害は多いが、今後は気候変動により水害が発生することも想定される。どのような状況、降水量、時間、地形等によるきめこまかい被害想定をシュミレーションして、情報提供してほしい
28	50代	男性	10～20年	住民の安全安心を守るため洪水事業の推進をお願いします。
29	70代以上	女性	20～30年	避難場所を住民達に教え、本当にその場所が高齢者にとっても良き場所かを判断して頂くよう説明してほしい。現在緑ヶ丘地区では避難場所の確保がわからない。大正小学校までは遠い。住民にとっては避難する場所としてむずかしい。身近な場所、どのようにしてその場所に行けば良いか説明してほしい。現在では説明もなし、このようなアンケートに答えても自分の気持ちがうまく伝わらないと思う。今現在の川の真中土砂を取りのぞき川を広くして水の流れを良くしてほしい。このままの千代川であれば水害はふせぐことが出来ない。東側堤防野球場大きな雨が降ると水があがりあれを見ると関係者にも意識を持って良き川の流れを充分にしていき千代川としての整備を心がけてほしい。
30	60代	男性	30年以上	※水災等は他人様の様に感じてました※恐さをしらない（今回の件東北で恐さを感じてます）※団体行動（移動方法）
31	70代以上	男性	30年以上	分かりやすい防災情報の提供をお願いします。

地区名：大正（3）

No	年齢	性別	居住年数	意見
32	60代	男性	10～20年	災害対策学習会、実施地訓練等の防災イベントの参加者は地元の役員等に偏っており、多くの住民参加による訓練学習会となっていないのが現状である。以前鳥取市で実施した防災訓練でも地元の役員から要請されて参加で自分自身が進んで参加した人ばかりではないように思われる。防災訓練学習会は、サバイバル訓練として、有効だと思うので、地元住民が、積極的に参加できるような仕組み作りが必要だと思う。例えば、被災時の衣食住（寝る場所作り等）をテーマとした楽しくできる訓練メニューの作成等々検討してみたいかと思う。
33	60代	男性	10～20年	県や市は民間に色々と仕事・作業を押しつけすぎだと思います。
34	60代	女性	10年未満	広報車の呼びかけがうまく聞きとれない事。何をしゃべっているのかわからない事がある。それを何とか出来ないものなのか。
35	60代	男性	30年以上	野坂川の土手を強くしてもらいたい
36	50代	男性	20～30年	日頃よりの厳格なチェック体制化
37	20代	女性	20～30年	防災無線が聞こえづらい。
38	50代	女性	20～30年	想定外の自然災害の備えは早めの避難、食料毛布や水等必要な物の早急な運送。知識を持つ事。自分には無関係な事だと思わず関心を持つ事が必要だと思います。小学校での防災訓練は大人になっても覚えています。国には原発に変わる電力を確保して欲しい。
39	50代	男性	20～30年	洪水ハザードマップ、災害時の避難地図がほしいです。
40	70代以上	男性	30年以上	具体的な地域の例をもって、意見を申し上げます。集中豪雨や直撃による台風の洪水は、県道42号線の西側と有富川の右岸、大井手川右岸で囲まれる地域の被害は、現状では避けられません。ご承知でしょうが、この範囲内の水の抜け道は、有富川右岸堤防に有る一ヵ所だけの樋門だけだからです。しかし、この樋門は有富川の水位が上がると（千代川の増水もともなって）直ちに閉鎖します。服部、野寺、下味野地域の数十ヘクタールの水田や農道、農免道は数十年間にわたって冠水を繰り返されてきました。現状のままですと、今後もこの被害は解消されません。
41	50代	男性	30年以上	避難勧告、指示、命令と3段階あると思いますが、命令以外の2つ（勧告、指示）は危険度が今いち解らない。一般の人々にわかりやすくするための表現が無いのでしょうか。（例地震などには、震度1～4、5弱、5強等）
42	60代	男性	30年以上	徳尾は千代川でなく野坂川である。野坂川についての対策を十分やってほしい。河川改修工事がされ、国体道路の徳尾大橋の上手の川底の幅を大橋の下幅と同じに広げられたが、その後護岸の工事をしないで土をむき出しのままで終わっている。きちんと護岸工事をしてえぐられないように終わってほしい。
43	70代以上	男性	30年以上	河川の清掃等に注意を払う必要がある。山林の清掃、不必要な伐採の除去。河川改修を徹底し行う。
44	40代	男性	10年未満	土手の除草などは自治体でやってもらいたい。洪水時頻繁に水没する河岸は護岸工事をしっかりしてほしい。
45	70代以上	女性	30年以上	父親の兄が死んでいる。何時も思い出す。その後、死んだ原因の除去があった。行政が動くのがおくれた。政治は大事。
46	30代	女性	10～20年	ケーブルテレビの「安心・安全チャンネル」で千代川の水位がリアルタイムで見ることが出来ますが、（豪雨時しか見ませんが・・・）夜の映像は橋の灯りだけで、とても暗いし、千代川の全体が見えるアングルもあっていいのではないかと思います。
47	60代	男性	20～30年	・ハード面での堤防整備、補強、ポンプ場増設・国、自治体での防災学習会等の回数（繰り返し）を増やしてほしい。
48	60代	男性	30年以上	・テレビ、ラジオ等による緊急避難速報の整備が必要・地区（村）間での水害発生連絡体制の整備が必要（上流で発生した時、すばやく下流域の自治会長等へ連絡し、早い避難指示が可能となる）
49	30代	男性	10年未満	土地が低い所にある為、3階程度の建物では役に立たない。本当の意味で避難できる場所（高台）を作り、そこを避難場所に指定してほしい。
50	60代	女性	30年以上	インターネット、携帯サイトの情報等。もっていない家庭にも、情報がわかりやすい方法はないでしょうか。
51	50代	男性	30年以上	河川の整備

地区名：大正（4）

No	年齢	性別	居住年数	意見
52	70代以上	男性	10～20年	災害に対しての詳しい、細やかな情報の徹底。
53	40代	男性	10年未満	堤防の強化をお願いしたい。
54	50代	男性	30年以上	菖蒲地区は低地に有る為、多くの雨が降るとすぐ住宅周辺が浸水するので、早期にポンプ場の設置もしくは排水路の整備を行ってほしい。
55	50代	男性	30年以上	大正地区（菖蒲）・毎年大雨時、千代川の増水のたびに支流の水門を閉めるため田畑が水没する。毎年このことで国は手当てをしない。・有富川、千代川が決壊したら、大正地区は平成16年の円山川の氾濫の状況と同じになる。不安を取りのぞいてほしい。
56	60代	女性	20～30年	近くに高台が少ない為、福島用の水害が（ツナミ）来たら避難場がない。
57	60代	男性	30年以上	真に本気で周知徹底して欲しい。又、体制づくりもやるべき。形式だけになっていないだろうか？本当に防災・減災へどう取り組んでいるのか知らされていない。
58	70代以上	女性	30年以上	とても不安を感じているけれど、体の調子が悪いので急いで歩いたり走ったり出来ない事。最近の電気製品を使った事が無い事、持っていないこと等、不安でいっぱいです。
59	40代	女性	10年未満	千代川水害対策として河川整備は進んでいますが、近辺の河川についての整備がされていないのは国土交通省の調査不足が原因か？災害時、雪害時の道路整備、避難経路の確保も不十分だと思う。防災マップをもらっていない。新年度に配布の予定はないのだろうか。
60	40代	男性	30年以上	早く正確な情報を全戸に確実に伝わるシステム（しくみ）作りが大切だと思う。防災無線とかテレビが強制的にONになり、災害情報が分かるようなシステムがあればよいと思う。小学校、公民館等のスピーカーから流れる情報は、一字一句まで聞こえない。
61	70代以上	男性	20～30年	素人的なことで申し訳ありません。治山、治水は昔からその地の為政者が常に心掛けていたことで、現代に於いても、ゆるがせには出来ないことである。進歩した科学、技術を大いに活用し、国及び地方自治体は、大小の河川（農業用水路も含む）の修復、山の土砂崩れ防止、保水の為の植林等をして、災害を未然防止すべきである。
62	60代	男性	30年以上	H22年のように東日本大震災のようにならないように日頃から国や地方も水害防止に備えることが大いに有りますと思います。
63	70代以上	女性	30年以上	古海から菖蒲間の土手の下の田畑が雨が降るとすぐに水に浸かります。なんとかして下さい。お願いします。
64	60代	男性	20～30年	小さい川（フタが出来る範囲だ）フタをすべきだ（理由）（管理を）民家のそばを不衛生。大井手～田に行く川だろうけど田をしていない近所はボウフラ～蚊・虫（害虫）の発生の根源。清掃は誰が。いつもキレイなため～フタを。通行する人、車からのゴミ、他の投げ捨て。永年～ガケ～側溝くずれ。
65	50代	女性	30年以上	情報提供をインターネットに頼りすぎでは。パソコン、携帯のない人もたくさんいると思いますが、新聞、パンフレットも字が小さく見にくいと思います。
66	50代	女性	10年未満	一人暮らし、平日、仕事で家にいない為、昼間の水害が心配。その時の対応をしっかりとしてほしい。
67	50代	女性	20～30年	水路に砂、土がたまるのは、どこか水の通り路に問題があるのでしょうか？
68	60代	男性	20～30年	忘れた頃にやって来ると思います。（災害）地域に根付いた防災活動は何よりも大切な事だと思います。
69	40代	男性	10年未満	大雨の中で、広報車や防災無線の音が家の中にいる人には聞こえません。（窓も閉め切った状態では晴天でも聞こえません）はっきり言って役に立ちません。郡部の方では、各戸に無線の受信機が設置されており、家の中にも防災情報の放送が聞く事が出来ます。防災拠点としての市役所も大事でしょうが、市民の命の方が大事なのでは？その様な予算の使い方を希望します。
70	30代	男性	10～20年	水害発生時に避難場所が分からないので、具体的にどこへ行けばいいのか、ハザードマップへ追加すべきでは。
71	60代	女性	10～20年	常に気になっているのが、じゃあどうすればいいのか、問題提起がよくわからない。インターネットやケイタイサイトは利用しないので、他のことで情報がわかるものがほしい。

地区名：大正（5）

No	年齢	性別	居住年数	意見
72	70代以上	男性	30年以上	古海排水機場について。千代川が豪雨等で氾濫すると、有富川や大井手川が千代川への流れを遮られ、逆流して特に古海地区一帯が床上・床下浸水になることが度々ありました。平成の初期、同和対策事業の一環として、鳥取県や建設省へも代表者をおくって、何回も陳情を行い、大変な資金のもと建設してもらいました。今、鳥取県企業局や工業団地の店、マーケットなどができるようになりました。しかし、千代川上流の集中豪雨の状況によって、どんな水害が発生するかわかりません。古海排水機場のあたりは、三叉路もあり、土手が低くなり（車が多い）あと2米位で千代川の水位が越えようかという時も近年2、3度みかけました。
73	40代	女性	10年未満	高齢者・障害児者・医療行為が必要な方の避難の支援の仕方などがわからないのでそういう方の避難のやり方なども何かにのせてほしい。
74	50代	男性	10～20年	服部は、大井手川・有富川・各支流の流末で大量の水量が集まり危険である。その為、河川の整備（ポンプの設置を市・県に要望）をお願いしたい。（真摯をお願いしたい）
75	50代	男性	30年以上	〔国〕○治水は、国民の生命・財産を守るという観点で公共事業を最優先すべき行政であるにもかかわらず、堤防の新築・引堤のための用地買収は近年皆無であります。それはおろか、河川掘削・堤外の樹木の我採も長年手が付けられていない河川が見られます。継続的な堤防の新築・引堤等を行うことで、建設業者を育成しておかないとブルドーザーやスクレーパー等の大型建設機械を保有する会社はなくなってしまい、堤防の建設工事ができなくなる危険性もあります。この解決のために、一般会計から特定財源を持たせて特定会計として安定的な事業が行えるようにすべきです。○治水行政を国地方で分けるのではなく、流域別に責任を持たなくては上流から下流までの総合的な施策が展開できないのではないのでしょうか。現在の1級河川は、その流域は全て国が管理し、洪水の情報は国から自治体の市町村に責任を持って伝える。○洪水指定地と補償制度の創設をしてはどうでしょうか。例えば、市街地が洪水にならないように田畑が多くある地域を洪水指定地にして雨水をストックし、後に補償します。○今回のアンケートは水害に特化した設問になっていますが、住民の避難先・方法は、地震・火災では異なることから自治体の防災・減災を考える時には3つの視点で対応して欲しい。もちろん、この3つが同時に起きる可能性はあります。このため、各市町村単位に危機管理担当部署を設置し、情報網の整備・危機レベルの統一化・合同の研修等を行い、事後措置の確立と自治体同志の連携を図るべきだと思います。
76	60代	男性	30年以上	現場の状況を行政もきめ細く把握し、対応を考えてほしい。
77	60代	女性	10～20年	防災訓練に参加していつも思うことですが、若者と子どもの参加が少ないように思います。災害が発生する時は、一番中心にならなければいけないのは若者だと思う。若者の判断・誘導で、高齢者・子どもは動くと思います。だから、防災訓練の参加に特に若者に呼びかける方法を考えるべきだと思います。
78	60代	男性	30年以上	地域で可能なことと、行政で準備することの線引きを明確にして欲しい。自己責任の明確化とも重なります。
79	50代	男性	30年以上	この地域（大正地区）は、地域的に水害発生時の避難場所（高台等）が無いと思われる。公民館・学校までの避難経路も危険である。
80	70代以上	男性	30年以上	千代川の河川に柳などが生え大きくなって水流を悪くしているとか、河床が高くなっている処など、これに対処されているようですので安心・安全に思います。
81	60代	男性	30年以上	一級河川が多い鳥取県に住んでいますが、日野川・天神川は夏の草刈など河川敷の管理が大変良くできているようです。千代川は、大風・大雨の時においても、管理が出来ていない。特に河川敷に雑木が多く、増水時には流水が悪いと思われます。水害意識・防災学習会も大切ですが、千代川の適切な管理をお願いします。

地区名：大正（6）

No	年齢	性別	居住年数	意見
82	60代	男性	30年以上	大雨が降った時に、雨水がどのような経路で流れるか把握しているかうたがわしいので、最終地区に集中しないように経路を分散してほしい。
83	70代以上	男性	30年以上	1. 災害時・防災訓練時に老夫婦一人暮らし家庭では、戸締り等していると時間的に避難が遅れる心配が有る。防犯対策の強化が必要と思う。（防犯見守組織作り等）2. 大・中・小河川の管理の充実。（地域住民との意見交換会・責任分担等）
84	40代	男性	20～30年	鳥取市菖蒲地区は、ほぼ毎年大雨による冠水がおきています。長年、現状を放置している行政に対し少なからず不信しています。早急に対策を実施していただきたい。
85	70代以上	男性	30年以上	情報は早く伝えて欲しい。万一の津波の事も気になる。菖蒲と服部、部落の間に（県道）津浪橋という橋がある。以前、ここまで津浪が来た事が有るのかと思う。
86	50代	男性	10年未満	菖蒲は千代川王手下の田畑が台風・大雨等で水につかり、農作物が被害にあっている。もう少しで民家へも届きそうだ。県や市にも要望しているが排水設備をお願いしたい。
87	60代	男性	30年以上	・情報を早く伝えていただきたい。・勧告をできるだけ早く出していただきたい。
88	60代	女性	10年未満	自分の地域には、水害の恐れ（昭和初期から）があるにもかかわらず、いくら自治体に陳情しても順番があると言う事で後回しになっている現状です。何十年も前から水害危機があるのに、昭和・平成とほったらかしの様な気がします。人災・災害が起きないと動いてもらえないんでしょうか？ここ数年に発生した危機感ではありません。実際に被害が起きてからでは遅いと思います。自治体の責任は大きいと思います。
89	60代	男性	30年以上	国・県・市が連携した防災を一層進めて欲しい。地元の要望をまず市にするのですが、予算の関係でとの理由で却下され続けている。県や国の機関に出向くと市とよく相談してというようなことがある。防災といった大きな取り組み事業は、国・県・市が一体となった所で要望したい。
90	70代以上	男性	30年以上	大雨による増水で排水ポンプの設置を望む。
91	50代	男性	30年以上	避難ビル（場所）の指定・表示。
92	60代	女性	10～20年	・千代橋の川の水位が大雨で危険水位になった時などサイレンは鳴るのでしょうか。・又、放送もして下さい。・近所の1人でいるお年寄りの件などなど。
93	20代	女性	10年未満	東日本大震災の際に一番思ったことは、子どもが学校へ行っている時に災害が起こった場合、きちんとした対応で、学校と連携をとっていく必要があるということです。子どもの所在がわからないのは親はとても不安ですし、避難訓練もしていますが、いざという時に学校と連絡がとれないのは困ります。親との連携（連絡手段・避難場所をふだんから知らせておくなど）をもっと強化してほしいです。
94	50代	男性	30年以上	・ヌートリアの駆除。・有富川との合流地の堤防の強化。・上流水源地の森林の広葉樹化、保水確保。・河川敷きのブロック化ではなく植物による流水の鈍化。・放置による天上川化の防止。・一級河川の管理、地方と国による協調。
95	50代	男性	30年以上	大正地区は農村で水田による保水能力が高かったのですが、千代工業団地の造成・商業地・他の造成により雨水を保水する能力が低下し、用・排水路の整備不良により大雨の時、用・排水路が満水となりうる現状である。流末の川中がせまく排水せず、道路が浸水・住宅が浸水するなど身近に水害がせまっています。早急なる対策を強く要望します。
96	60代	男性	30年以上	1. 森林の保全・管理1. 広域（東部地域）全体を見通した防災計画・実施1. 地域での連携を深めるための研修
97	60代	男性	30年以上	役所は広範囲の地域を想定した机上の政策であり、狭い地域の被害想定した現地住民の考えに相当の開きがあり、行政の指導に本気で応じられない。

地区名：大正（7）

No	年齢	性別	居住年数	意見
98	60代	男性	30年以上	東日本大震災で日本全国が自然災害の恐ろしさ、怖さを実感した。しかし、言い訳のように聞かれた“想定外”ではすまされないと思う。後で、ああすればよかった、こうすればよかった、と悔やむことのないように対策を大規模に立てて欲しい。復興にしても遅れていると思う。いろんな公共事業がすすめられていると思うが、それらを一時停止してでも復興に向けて欲しい。と思ったりもする。
99	70代以上	男性	30年以上	天災時にどこに避難したらよいか分からない。地区の小学校とか部落の集会所等が考えられるが部落として決めている訳でもない。早急に天災の種類によって避難場所を部落として決めるべきと思う。
100	30代	男性	10年未満	国には、期待はしていません。自治体の方は、それなりに一生懸命取り組んでいると思うが、想定外の事態を考え、思いきった政策をしてほしい。川が氾濫する可能性があるのなら、そうならないようにするしかないのでは。現実には氾濫して避難して、命が助かったとしても、家がなくなったり、機能しなくなれば、死んだも同然と思う。現実には、東日本大震災で被害に会われた方々も結局、とても苦しい生活をしいられている。困った時に国は何もしてくれない。自然災害がおきたら、逃げるしかないでしょう。その前に、水害とは関係ないのか知りませんが、この狭い日本に原発が54基もある。そこに住んでるじたい、危険すぎると思う。現実には、日本に住むしかないで、仕方ないですが。
101	60代	男性	10～20年	異常気象による急な増水については、一早く逃げるしか無いと思います。早い情報の発出が大事だと思います。しかし、地形や、廃水経路の集中により、多少の雨でも直ぐ、水がたまる現状は、廃水の改善が早期に実施されるべき地区なので、他より先に行政による対応をしてもらいたいです。最近、天気予報が、あまりに大ざっぱで、もう少し東部とかで詳しく出してほしいです。
102	60代	男性	30年以上	当部落は海拔 8mと認識しているが避難ルートも同じ様な高さであり、山へ避難するしかないが（最悪の場合）3方を河川に囲れ孤立するであろう。その為に、近くの「はまゆう」と協定し、避難場所にと当部落は年1回訓練している。その為にも避難ルート確保の方法として、河川（千代川、有富川）の逆流（水門からの）防止で水門閉鎖すれば海拔7m～6mの道路と田畑が冠水（雨量50mm程度より）してくる。よって、周辺冠水防止の為又、避難ルート確保をすることが必要と思うので、有富川へのポンプ放流設備を設置してほしい。
103	70代以上	男性	30年以上	防災・水害避難場所、道路経路場所を見やすく明確にする。
104	70代以上	男性	30年以上	我々の地所は平坦な所なので災害時に高所ひなんする建物が近くにあると良い。避難高所建物を作る
105	70代以上	男性	30年以上	市や地区が指定した避難場所（小学校・地区公民館）は、大雨等の最中では集落から遠く、且つ下流に位置し、安全な場所なのか不安である。近くの高台等を検討頂きたい。
106	50代	男性	30年以上	市、県、国土交通省の横連携が必要と感じました。
107	60代	男性	30年以上	アンケート調査の結果を、分析した情報を早く地域に還元してほしい。

地区名：美保（1）

No	年齢	性別	居住年数	意見
0001	70代以上	男性	20～30年	国土交通省鳥取河川国道事業所の活動を御願を致します
0005	40代	女性	20～30年	シュミレーションは、あくまでも理想で動くものであり、実際に災害等が起きた時は、あまり役に立たないと思っているので、本当に大変な時に、市民が必要だと思って声を上げた支援に迅速に対応してほしいと思います。
0008	60代	男性	20～30年	堤防の強化と日常の点検。大路川、新袋川にポンプ場が設置されておりますが点検、試運転等も行われているのでしょうか。行なわれていると思いますが平素見ていないもので申し訳ありません。管轄違いであれば申し訳ありません。地域の海拔の高さを知りたい。又、避難するためにも他地域の海拔の高さを電柱等に表示してもらいたい。例年湯梨浜町の129自専道入口には表示してあり参考となっています。
0010	40代	男性	10～20年	有効的な予算の使い方をして、効率的に施工して欲しいです。
0018	70代以上	女性	30年以上	新袋川■南大橋をわたるたびに目にするのが、川の両岸にはえているやなぎ等の大木です。年数と共にすっかり大きくなって雨が降るたび川の流量が増えて、それらの大木が堰となって水の流れを妨げていて心配しています。そして雨が止んで水かさが減ると、それらの木の枝にゴミが沢山引っかかっている見苦しい川の景色です。あの両側の木々はそのまま何もされないのでしょうか？
0027	40代	男性	10年未満	まず、気候変動ではない。気候変化である。このアンケートを作成した人は専門家なのか？昨年の台風12号では、千代川も数ヶ所被災を受けた。8K付近では、右岸のD.W.H.Lの根跡より、H.W.Lを超えていると思われるが、公表されず、対策等の計画も明確ではない。意図的に隠しているのか。早急な河床掘削か伐開が必要と思われる。本当に流下能力は戦後最大の洪水（1/40年）が確保されているか不安である。また、大路川等、県管理の区間は堤防の量的整備も未である。本川、支川の安全度のバランスがとれていない。※調査の願の写真がなぜH10用瀬なのか、H23でも同様の出水、被害写真をのせるべきだったのでは。
0041	30代	女性	10年未満	河川敷の整備。
0044	50代	男性	20～30年	いわゆる「ゲリラ豪雨」の様な緊急情報の告知の充実。
0050	60代	男性	30年以上	学校（子供）及び地域への防災教育の支援
0060	60代	女性	10～20年	マンションでの生活の為に管理組合で話しはしますが、どうも町の町内会の自治ほど住民同士のつながりが薄く横のつながりがなくとても不安に思います。町内会の会費を納めてないのかどうもマンションは地区の防災に関してとりのこされるように思えます。市にお願いします。マンションも沢山増えましたので地区の町内会の活動、公民館の活動、いろいろの防災、行事に参加出来るようにしてもらえないでしょうか
0062	60代	男性	20～30年	集中豪雨の時の雨水の処理で、いつとき水は空気が排水口に入らないため、いっそう水がたまってしまふ。そのためのたいしょ、空気を入れる方法？側溝の掃除
0084	70代以上	男性	30年以上	広報用スピーカーは家に居る時、雨、風が激しい時、風向きが反対の時は効果がない。戦中の警報のようにサイレンの活用は出来ないか。（内容は不明でも緊急警報としては有効。）
0091	50代	男性	20～30年	役人の机上の空論や、ハザードマップ作成のアリバイ作りの様な非現実的な防災計画・訓練は止めてほしい。地域住民の意見を求められても、洪水時避難場所ひとつを見ても、地域には高層建造物は皆無に等しい。堤防直下の2階建公民館を避難場所に指定するのではなく、民間のマンションや工場などと避難場所としての使用協定を結ぶべき。
0108	60代	男性	10年未満	袋川近くに住んでいるが、河川内の樹木を切らず川中が相等狭くなっている。大水の際には相当な障害となると考えられ、早急に処理されたい。特に因美線架橋の前後は放ったらかしに見える。

地区名：美保（2）

No	年齢	性別	居住年数	意見
0119	70代以上	男性	30年以上	当地域は、新袋川建設により数度の床上水害を受けています。ポンプ場が建設されていますがいわゆる想定外の水害の発生があるかとも思います。新袋川土手の沢が防止、洪水地の排水対策を更に進めてもらいたい。
0123	70代以上	男性	30年以上	大きい地域のことは知識がありませんのでよく分かりませんが、身の廻りの住地造成等について無制限に許しておいては災害の発生を容認しているようにみられる側面がある。利益優先で地形に対する配慮がないし必要時にトラブルは起きると感じています。スケールの小さい話ですが農地と宅地造成のせめぎあい等。
0130	70代以上	男性	30年以上	ピントがはずれているかも知れませんが住んでいる地域の状況も大切ですが、その源になる森林の崩壊防止・株業の発展を望む 今、山は荒れている。
0135	60代	男性	10～20年	家の中にいると防災無線放送の声が聞き取れない。風雨が強い時はなおさらです。
0138	70代以上	男性	10～20年	地震による避難場所と水害（津波等）による避難場所の区別が明確でない。洪水ハザードマップ内で避難場所指定等があり、明確な区別として住所に周知徹底すべきである。広報紙等で！（インターネット・ホームページ等は高令者には不向きである）
0144	40代	男性	10～20年	防災・減災の為の自由報道の規制
0161	40代	女性	10～20年	道によっては、雨量の多い時水はけが悪く池のようになることもあり、夜間などそれに気づかず車でその中につっこみブレーキがきかない…などという事もある。ちょっとしたことではあるがそんな小さな所から、工事して水はけをよくすることが大事と思う。またそのような情報をどこに連絡すれば良いのかわからないので、連絡先を市民に知らせることも必要。ちなみに、つのい工業団地へいく R29のコンビニ付近の側道（鳥取方面の）が水はけ悪し。
0183	60代	男性	30年以上	的確な情報を迅速に流し避難誘導に役立つ
0189	50代	男性	20～30年	現在の防災無線は普段でもとても聞きとりにくく、借りに大雨でも降っていれば、完全に聞こえなくなる。各戸に防災無線を配布するのが望ましい（郡部のように）それが不可能なら、家の中にいても、確実に防災情報が聞こえるように防災無線を改善してほしい。
0200	60代	男性	10年未満	防災は地域によって対策が違ってます。画一的なものでなく地域に合致した防災対策を考えるべきだと思う
0205	60代	男性	10年未満	千代川増水により田畑より水がふんしゅつしている。
0212	70代以上	男性	30年以上	国土交通省、鳥取県、鳥取市、関係が出来てない国交省に言えば市に言えと言うこんなことで災害があった時国か市か住民をばかにしとる
0226	50代	男性	30年以上	日常的に放送施設に同時放送を一般的にいつも行う事が大切である。
0227	60代	女性	20～30年	自分の身は自分で守れるよう一人一人が勉強していけばよいと思います。（防災に関する知識の向上）
0233	60代	男性	30年以上	・森林保全・強制避難退去
0234	60代	男性	30年以上	・米子市の取組みで各地点の海拔表示がなされたテレビで見ました。意識の向上としては良い取組だと思います。これに類した事が他にあれば探して実施して欲しい。・不安をあおってはいけません居住地区での水害シュミレーションは必要だと思います。・エコ減税がありました災害に備えたりリフォームに対する減税又は補助金みたいなものがありますか？
0251	70代以上	男性	20～30年	県、市とも平素において危機管理意識が欠けていると思います 特に鳥取市の場合 （例）1.地区で形ばかりの防災訓練をやり、市からわずかの補助金を受けとり、毎年こんなことをくりかえしている。市も「やったやった」と自己満足している 2.防災拠点として新庁舎を作るといいながら今だに出来ていない 地震、大水害はいつおこるかわからない、早く新庁舎を建設してほしい

地区名：美保（3）

No	年齢	性別	居住年数	意見
0257	30代	女性	10年未満	昨年越して来て周辺の事がよく分かりません。子供がいるんで水害に備え避難場所を把握しておきたいです。実際その場でパニックになり行動で出来ない冷静でいられないと思います。何かそういう時の為の本とかあればいいなと思っています。
0266	50代	男性	20～30年	・高所に広報スピーカーを設置して知らせる等。・川底が土、木、草が多く高くなっている気がしている。道路側溝もふたがあり見えないが、水はけが悪い所がある。・まずは自己所有の千代川、測溝管理を行ってから、意見、感想を求めたりアンケートにしてほしい。河川、測溝を増やしても管理してない。不安を、住民にあおられたくない。地元要望書があればするは無責任。
0269	70代以上	男性	30年以上	近くの公民館による広報を住民のよく聞きとれる放送にしてほしい。放送内容がウワウワと言っている。かんじんの内容が確実に伝わる様お願いする。
0271	70代以上	男性	10～20年	避難しなければならぬ状況をリアルタイムで確認出来る情報確保システムを手近な方法で入手出来ることを切望します
0273	60代	男性	20～30年	防災スピーカーを適切な位置に配置する事
0275	60代	女性	30年以上	より詳細かつ迅速な気象予報システムの構築
0276	50代	男性	10～20年	継続的な情報の提供
0279	60代	男性	30年以上	各町区及び見直し最度するべき！近辺の見廻り又となり地区（町内）での問題点等を定期的に見直しをして現場等を皆で見たら？と思う。
0282	70代以上	男性	30年以上	破堤しない様に堤防の強化と流れを妨げる障害物の撤去に努めて欲しい。破堤しなければ大雨の最中に危険な避難をしなくても自宅が流されることはないと思う。河口を広く頑丈にして下さい。
0293	50代	女性	10～20年	河川、堤防をもっとしっかりとした造りにしていく事が必要だと思う。国土交通省の調べ（NHKニュース（ラジオ、TV）とか聞いたりすると）日本の川は、いくつもあり、今の状態では水害が起こった時には、防ぐ事が出来ないとの発表があり、その資金がないという事で（調査していく等）そういう事ではなく、すでに大きな水害があり川のとっかい等もありお金をおしまず人の命があるので、ぜひともそれにあてて欲しいと思う
0294	70代以上	男性	10～20年	市では町区の95%に自主防災令が設立されている。ただ市の補助金を受けるのみの組織であり、組織的にも活動と訓練を行うのみで無に等しい状態にある。災害が発生したとき頼りになるのは防災令であり活動しているかどうか実態を調査し、自らが対応できる体制整備が急務である。また、避難等に至る器具等、整備は皆無であり、早期整備が急がれている。
0299	50代	男性	10年未満	防災、減災に伴う業務は、地元コンサルへの発注を希望する。地域防災は、地域の人間が考えるべきだと思います。
0302	20代	女性	10年未満	千代川の避難判断水域（？）（橋の下にあるやつ）って高すぎませんか？水が「1」のところにきた時点でメッチャ怖いと思います。
0304	50代	男性	10年未満	海ばつ表示を街中に付ける事で意識付けにはかなり効果あると思います。
0306	50代	女性	20～30年	防災無線の放送が聞こえない（放送の声が反射する。音が小さい）家の中にいると聞こえない
0307	70代以上	男性	10年未満	防災に関する総合的な資料集を作成して全戸に配布してほしい…。
0308	70代以上	男性	30年以上	国や県は、現地を調査をして頂きたいと思います。
0310	50代	男性	20～30年	避難場所の有効制、大人数の対応など。
0311	50代	男性	10年未満	避難体制の充実を望みます
0379	60代	男性	10年未満	転勤で鳥取市に住んでいますが、鳥取市の広報など一度も配布されていない。いずれ転勤で出ていくと思いますが、2年間何も公的なものは見たことがない。高い住民税を収めているのに怒りを感じている。

地区名：美保（4）

No	年齢	性別	居住年数	意見
0413	60代	女性	20～30年	大路川沿いに住んでいます。堤防に生えている松の木等、台風の時倒れたら大穴が開いて水がもれ出ないかと心配です。地震が起きた時の事は、机の下にかくれるとか火の事とか言います。洪水の時の為に非常持出し用品は2階に準備したり、いろいろ考えさせられましたが、情報が第一なんですね。しかし、インターネットはありません。携帯サイト？よく知りません（これから勉強します）
0418	30代	男性	10年未満	過去の災害を参考に例えば何mm以上の豪雨で危険ということを発表してほしい。避難経路やハザードマップ等がもしあるなら、羞恥を徹底してほしい。
0419	60代		10年未満	防災活動については努力されていると思いますが避難場所についてもっと考えて欲しい。高齢者には全く逃げるところがない状態だと思う。
0439	60代	男性	20～30年	千代川水系、新袋川河川に柳の立木等が生い繁っており増水した時等流れを阻害しており、伐採すべきだが放置されたままになっている。
0446	30代	女性	10年未満	科学的根拠に基づく予想、予測で身のまわりに起こることを教えてほしい。+それに対する備えを学校教育、地域の高齢者等守られるべきにこそ教育してほしい
0458	70代以上	女性	10～20年	新袋川等河べりに沢山の木が大きくなっている場所があり大雨の時流れてきたゴミが沢山ひっかかっています。切り取ったほうが流れが良くなるのではないかと思いますと思っていますが本当は良い事か悪いのかよく分かりませんが・・・
0465	50代	男性	30年以上	鳥取は自然災害のほとんどない、住みやすい地域である。水害についても、多少の冠水程度であり、河川の決壊も聞いたことがない。引き続き、国民の安心、安全のための行政をお願いしたい。
0466	50代	女性	10～20年	鳥取は災害が少なく防災意識が、自分も含めて低いように思います。最近では予想外の大雪、大雨、台風並みの強風を体験しており、いざという時がいつ来てもおかしくないと思慮している人が多くなってきました。今こそ、個々の防災意識を高めるいい機会だと思います。誰もが町内会単位で取り組めるよう、現場に見合った対策を提案していただきたいです
0477	70代以上	男性	30年以上	当町内のような新興住宅地（吉成、■■町）でも、30年が過ぎ、殆んどが高齢1人～2人世帯となっている。そのような状況の中での、最低限の地域の対応等を考えておくことが必要と考えるが、ご指導願いたい。
0478	60代	男性	10年未満	今年の夏、大路川流域の住民に対して100mmぐらいの雨で広報車が避難の呼びかけをしていた。この程度の雨で避難の呼びかけをしないように川を整備していただきたい。
0483	40代	女性	10年未満	・天気予報が、見るTV番組によって全く違う時があるので、どれを信じればいいのか分からない、判断がつかない。・本当に避難する時に聞く放送や広報車が本当に個々の住民に聞こえているのかどうか、確認してほしい。（雨や風で聞こえない）・TVやパソコンで見れるライブカメラを千代川以外の川にもつけて、夜間でも見やすいようにしてほしい。・地震の時の様に、携帯に避難メールを送ってほしい（送るようになっているのか知らないのだ）
0487	70代以上	男性	20～30年	主要河川の堤防の補修強化は怠りなくやっていただきたい。新袋川や千代川では河川敷の樹木が大きく成長しているが、水の流れに支障にならないか。又新袋川は非常に浅い。土砂がたまっているのではないかと。ポンプ場の水が流れ込む角度が流れに直角になっており、その上手は特に土砂が溜まりやすくなっているように見える。
0490	30代	男性	10年未満	市街地でも防災放送が聞き取りにくい地域があります。万一の災害に備え、平時より聞こえ方の調査、整備が必要かと思います。
0491	50代	女性	30年以上	早い情報の入手をお願いします。
0492	60代	男性	30年以上	・水害が起こらない為の物理的な整備。・講習会・資料の配布一但し、白人でもわかる様な具体的な説明。例、過去のこれ位の雨では、この地域では、この辺まで浸水すると言った、白人でもわかりやすい説明を！町内等出前講座して頂ければ有難い

地区名：美保（5）

No	年齢	性別	居住年数	意見
0502	50代	女性	10～20年	袋川の近くに住んでいます、土手下の河川内に木が繁っていて水の流れが悪いように思います、川岸の木を切って川の水が流れやすいようにしてほしい。大雨のたびに川の水位があがりとても心配しています、避難訓練はいざという時、さっと動けるよう日頃から何度も訓練し、身体が動くようにしなければ、効果がないと思います、
0504	60代	男性	30年以上	市の校区単位で発生した被害情報の広報例 強風で〇〇町内の電線が切れた。立木が倒れた。大雨で〇〇町内の〇戸が床下（上）浸水した。大雨で〇〇町内の〇川の水位が〇〇であった。
0507	70代以上	男性	30年以上	大呂川・新袋川の千代川への入口の逆流についての検討のお願い
0510	70代以上	男性	30年以上	堤防、土手の補強、かさ上げ。老人、身障者に対する避難誘導訓練。災害情報の確実な伝達など
0516	60代	女性	30年以上	防災行政無線が聞こえづらい。家の中でははっきりと内容が聞き取れなければ意味がない。何か、言っているのは分かるけれど、内容が分からない時が多い。
0521	60代	男性	30年以上	私達の住んでいる美保地区は、ハザードマップで水深1～2m、2～5mの中にあり、この中に小、中、保育園、公民館等が避難所として指定されている、また美保公園は避難場所として指定されている、3階以上ある施設は、浸水前に避難し、上層階に居れば安全かも知れないが、地盤も低いし2階建の公民館や保育園といったところは逆に危険に思っている、大規模な洪水被害を防ぐには、高台で絶対安全な広いエリアの場所を指定しておき、（例えば、環境大学、鳥取商業高校等）グラウンドに駐車も可能で施設も大きい、事前に避難の準備が出来、車で避難も可能な方はそちらに集めた方が・・・行くよう指導する洪水の中に浮いている様な施設に避難させても、救援物資もまともに支給できない、依って避難所の指定を市の施設と考えず、県や国、民間施設も含めてほんとうにどうあったら市民の安全が確保でき、災害時の対応が容易に出来るか考えるべきである、避難者の中で車で5割でも安全な場所に移っていてくれたら老人等その他の人の対応にまわれる結論多少遠くても、絶対安全な高台で広い敷地や施設のある場所を避難所に指定しておき、車で避難できる方の避難施設とする、
0535	70代以上	男性	20～30年	早めの情報を望む
0537	50代	男性	10年未満	山の植林や、休耕田の整備、活用を
0542	60代	女性	10～20年	水害時の指定された避難場所は、大雨の時、大路川の危険度は非常に高いです。大震災の津波時に吉成の周辺は高台が無いので常に不安感があります。
0544	60代	男性	30年以上	ハザードマップは定期的に（1～2年毎に）各戸に配布すべき。堤防の郷土点検を怠らない。15分間程度の大雨でもすぐ冠水する道路は速やかに直すべき。（鳥取市が造成した、古海、千代工場団地、ミズノ商事の前の道路など）アユの登る道を考慮しつつ、千代川の浚渫を毎年行う。針葉樹は保水力が弱い。治水対策には広葉樹が良い。針葉樹の補助金を止め、広葉樹を奨励すべき。
0550	50代	女性	10～20年	早目の情報提供と避難場所の周知徹底
0569	30代	男性	10年未満	堤防作り。しっかりした避難所の確保。連絡システムの確立
0577	20代	女性	10年未満	引越して来て、地域との関わりもなく、またどういった活動がされているのかもわかりません。ですが、防災は地域との関わりも大切であると思うので、機会があれば、取り組みに参加していきたいと思う。もしそういう機会がある時は、前もって知らせて頂きたいです。
0578	60代	女性	20～30年	高い建物に避難する時、どこにしたらよいのかわかりません。マップでもあればと思います。
0594	70代以上	男性	30年以上	千代川の源太橋下流方からいなば大橋・千代橋付近までの川床の樹木は現況の様子で流量断面は確保されてるのでしょうか？この数十年間大雨の度に堤防が決壊しないかと不安でなりません。誰が見ても納得のゆく処置をしてほしい。

地区名：美保（6）

No	年齢	性別	居住年数	意見
0616	60代	女性	20～30年	最近は、以前に例の無いレベルの災害が増えているので予想以上の想定で防災に取り組んでいる所が多くなっている様ですが、現実今自分の居る所がそういう状況に直面した事がなく、意識が低い住民が自分も含め多い。防災に関心を持ち、身近な危険箇所等を申告出来る様な窓口があれば良いと思います。
0628	60代	男性	20～30年	水害時の避難場所が実際にあればいい。画一的ではないか？（水害の恐れ）橋を渡って行く
0633	70代以上	男性	30年以上	高齢化に伴い、お年寄りや身体の不自由な人の支援
0643	40代	女性	10～20年	川ざらいする回数を増やして欲しい。
0646	40代	女性	10年未満	インターネット、サイトではなく紙ベースで情報がほしい。どういう取り組みをしているのか等、マメに。
0654	70代以上	男性	30年以上	今の時代すぐインターネット、携帯あたりまえの様ですが私も他の人も持っている人ばかりではないと思います。行政無線もその日によって聞こえない時もあります。又耳の不自由な人もいます。まず近所、町内会、消防団で助け合える様に公民館で勉強会をお願いします。誰でも参加出来ます様に（近くであれば出席出来るかな）
0661	40代	男性	10年未満	緊急避難情報について。NHKや地域のケーブルテレビ、鳥取市や国交省の関連サイトなどなるべく多くの手段で情報提供していただきたいです。停電している時は別ですが、広報車の呼びかけは、今一つ信頼度に欠ける印象です。
0662	60代	女性	10～20年	周辺には高い場所として「市立病院」しか無いことが、非常に不安。町内でも病院は避難場所の対象としておらず、洪水が現実となった時、どうすれば良いのか。
0668	60代	女性	30年以上	新袋川の中に樹木が茂って流れを妨げているのが気になります。
0673	30代	男性	10年未満	水害に備えるための公共事業も大切だが、財源にも限りがあると思うので、住民の防災、減災意識の向上に頼らざるしかないのではと思います。
0677	60代	男性	10年未満	堤防などの整備計画を立案するにあたり、現場地域の具体的な事情に詳しい住民組織との連携に留意して欲しい。
0694	60代	男性	30年以上	川の中州や護岸に生えた樹木の除去。大水になった時、流木などが引っ掛かって堰になる。川の流れを良くする事が重要で有る。
0697	50代	男性	20～30年	行政がどこまで情報が伝わっているか、その手段は何かなど把握しているか不安に思う。
0714	30代	女性	10年未満	これ以上山を切り崩したり、埋め立てたりしないほしい。防災情報（ネットやデータ放送）が見づらく、わかりづらい。
0715	70代以上	女性	30年以上	いろいろと無理な面もあるでしょうが、年に1～2回の点検（テレビによく出るが）のみならず、毎月1回～2回、実際に河川・土手の具合を目で見て歩いてみてほしい。それも県内の大きな河のみでなく、生活の場に近い川を。市民町民は、それらの川と共に生活しているのですから。このようなアンケートも役には立つ（立てたいから）でしょうが、普段から生の声を拾い集めたり、気安く通報できる具体策を（例火災の時は119、警察へは110）PR、周知して下さい。私が困ったのはどこに言ったらよいかでした。おまけに休日の日でした。#9110→32-0110→市役所→鳥取河川国道事務所に通じて全国ニュースの時NHKで帯でやっと流れた。
0716	70代以上	女性	30年以上	防災とう等で放送して下さい
0735	60代	男性	10～20年	○避難場所が少ないので増やしてほしい。○平日の昼間の避難対策を考えて頂きたい。（身体の不自由な方や老人等の対応）
0739	60代	男性	10～20年	風雨が強くなると小学校に設置されている広報設備では地域の状況を知るのはなか～大変です。防災無線の設置を各町内会単位で設置して欲しいと思います。
0764	40代	女性	10年未満	災害について、もっと啓発活動してほしい。
0782	30代	男性	10年未満	有事に備えて、どの程度市や県が体制を整えているか現状では分からない。千代川のどの辺りが大雨による影響があるのか？想定される区域への対策は計画的に進められているのか？

地区名：美保（7）

No	年齢	性別	居住年数	意見
0795	60代	男性	10年未満	河川、海岸部に関わらず、インフラを含め総合的な対応が必要
0801	60代	女性	30年以上	すぐに災害状況を発信して欲しい。市の放送が風の向き等で聞きにくいときがあります。なんとかよい方法はないのでしょうか。市からの一斉放送に頼らず、素早く地区、町内に連絡をし、すぐに状況を早くキャッチしたいものです。どんな行動をするのか。
0819	60代	男性	20～30年	早めの広報、防災行政を!!
0839	50代	男性	10～20年	連絡をみつに行ってください。
0844	60代	男性	10年未満	地球温暖化は私達が招いた結果を自ら反省し、自然の台風や豪雨の激しさが過去の経験以上のものになっていることを認知すべき。国や自治体は、地域別のデータをより分析し、事が起ったあとでは遅すぎるため、事前の対策及び住民への啓蒙活動を震災ばかりでなく、同様の順位で推進されたい。
0845	40代	男性	10～20年	東日本大震災のような地震が、鳥取沖で発生した場合の被害想定(地図上による被害範囲)などを知りたい。また、そのような地震が発生する可能性もあわせて知りたい
0865	40代	男性	30年以上	森林育成が放ち状態、国はもっと育林に力を注入すべきだ。
0878	30代	男性	10年未満	それぞれの地域に合った防災・減災の提唱
0882	60代	女性	30年以上	大雨が長時間続くといつも不安になるので、より速く、解りやすい伝達を希望します
0892	30代	男性	10年未満	家の近くの大呂川が、よく急に増水し、堤防ぎりぎりまで水がくるので心配です。何らかの対策をお願いします
0899	30代	女性	10年未満	インターネットが無い家庭には、ペーパー(紙)での防災情報が必要です。日本はゲリラ豪雨になりつつあるが、それがどういうものなのか周知できていないように思う。
0911	70代以上	男性	30年以上	市区町村等からの正確迅速なる情報をお願いしたい。
0932	70代以上	男性	10～20年	天災は人知の及ぶところではない。運は天に在りいたづらに思い頼ふことはない
0949	70代以上	男性	30年以上	河川の整備、河幅の拡張等、もっと水害への備えをお願いしたい。大水のたびに川べりの雑木にゴミがひっかかり、見苦しい。何とかしてもらいたい。
0952	60代	男性	30年以上	1. 海拔5～7m地区としては、堤防補強、ポンプ場の100%稼働を希望します。「高い所が無い」からです。(民間のビル以外の) 2. 避難場所に行く市道の海拔の方が低いという実態があります。どうしたらいいのか？
0974	60代	男性	30年以上	最近局地的な災害が多い。過去の経験、体験が通用しなくなっている。逆にこの事が災害を大きくしている様に思われます。これからは常に想定内の意識を持って対応してほしい。
0988	50代	男性	20～30年	千代川の砂利を取って水位を低くする。
1001	60代	女性	20～30年	千代川の中洲の木々が水害の時に流れをふさぐと思います。川としての役目は果たしていないように思えます。伐採予定はないのですか？私達の地域で避難場所がありますが現状でそういう状況の時とても行ける場所ではないと思います。
1002	30代	男性	10年未満	・市報での広報は無意味。この地域には市報が入らないし、読む人も少ないのでは。・水害時の避難場所と地震時の避難場所が異なる場合の周知方法が不明。また、転宅が多い地域もあるので、定期的にポスティングするなどして周知してほしい。
1004	50代	女性	30年以上	森林の整備
1006	30代	男性	10～20年	避難場所の想定が現状甘すぎると思う。東日本大震災を考えると過剰すぎる危険設定で丁度良いくらいだと思う。市の避難訓練時々、情報が行き届かない事態が本年発生している。国からの厳しい指導を徹底して頂きたい。

地区名：美保（8）

No	年齢	性別	居住年数	意見
1008	40代	女性	10年未満	転居前に地域の防災マップなどを市町村から提供して欲しい。鳥取市に転入して2年以上経つが、図書館などへ行っても詳しい過去の事例がわかりにくく情報が得にくい（〇年の水害でどの程度どのあたりが浸水したか）県外から転入したため知人もおらず全くわからずだった。住居を決める時に参考にしたい人が多いはず
1012	60代	男性	10～20年	千代川河口をまっすぐ付け替えしてから、千代川の逆流は改善され美保南一部の地域の浸水被害はなくなった。しかし千代川自体の川底は昔と比べ土石のたまりで高くなってきており大洪水で危険水位が上昇していると思われる川底の整備と低い土手の補強は必要また大路川の土手のかさ上げ補強は早急に完備する必要有り（昨年の洪水の際危険水位を超え土手の高さまで1mもない位に水位が上昇し危険な状態であった）地域住民に対する避難命令は発令されてなかった。
1084	30代	男性	20～30年	洪水にならない様、河川整備を充実させて頂きたいです。排水場の増設等にて対応して欲しいです。土手の増強では、やはり洪水が防げないのでは？と思います。
1103	50代	男性	30年以上	現在のハザードマップでは津波時の役に立たない。
1105	60代	男性	20～30年	袋川の川の中にはえている木の削除
1111	70代以上	男性	30年以上	私は美保地区の住民です。千代川の支流で大呂川と新袋川間の地域です。雨量が多い時は、川の氾濫に常に気を配ります。堤防の補強工事も進んでいます。大呂川の美保公園～美保橋間の補強工事が遅れています。地域の皆さんも心配しておられます。早急な補強工事を希望しています。
1117	40代	女性	10年未満	まだ、引越してきて、半年くらいなので鳥取市の気候変動や、水害が、おこりそうな場所などがよくわからないので、そういうM A Pがあれば配布してほしい。
1136	60代	男性	10～20年	大雨洪水の場合予期せぬ事が多々有ると思います。机上で考えた予想など何の役に立たない場合も有ります。
1161	60代	女性	30年以上	市の洪水ハザードマップに数ヶ所の避難所がありますが、どの町内は、どこに避難するか書いて無いので、指定して欲しい。
1163	60代	女性	10～20年	この先歩行がままならんようになると思えば、人に迷惑をかけるに決まってる。たとえ避難場所がわかっても、行くことはないと思ってる。この時が死の覚悟だと思ってます。・・・それより早いかも！
1174	70代以上	男性	30年以上	気候変動の現実を見て、防災の設備・工事などを進めること、併せて、万一に備える自治体の防災（伝達とか避難など）の徹底をはかるように。訓練などをお願いしたい。
1186	70代以上	女性	20～30年	土手の補強。非常食、毛布、簡易トイレの準備
1212	70代以上	男性	30年以上	※「災害は忘れた頃にやってくる」の格言を徹底して平素の心構えを地区集落で共有させるようお願いしたい。
1213	40代	女性	10～20年	〇年月をかけて、水際の住宅を移転させ、水害へのマージンをとる。（特に公共施設や病院等、ひなん先になりうる建物の将来的な移転）〇結果的に少ない被害ですんでもいいので、早い避難の呼びかけ、勧告を行う。〇もちろんポンプや堤防も大事だが、今までの他の災害を見ても防ぎきれない事が多い。それを前提とした防災をひろめてほしい。
1247	70代以上	女性	30年以上	避難場所は知っているが、そこに行く迄に民地があったり小川があったりで、非常に危険である。（特に水害）
1276	40代	男性	10年未満	原因を「気候変動」に矮小化し過ぎていないか、そもそも「温暖化」自体がいかかわしいプロパガレダであると考え（少なくとも、我国は、平成11年度に、京都議定書からも脱退している。）行政の対応の不十分さを「自然」に負わせることは、理由にならない
1280	70代以上	男性	20～30年	高年会（80才代後半）のため自分自身の体を守る事以外活動に参加する事は無理と思う。千代川水系で見ると支川では整備が充分でないと思う。

地区名：美保（9）

No	年齢	性別	居住年数	意見
1298	70代以上	女性	30年以上	防災無線で何を話しているのかわからなことが多い、特に風雨・風向によっては全くわからないので、地区でわかる様にして頂きたいと思います。避難場所が河川の側です。行き着いてしまえば安全なのでしょうが、高齢者の足で避難場所に着く迄に水が来ては？と不安です。近くに消防署とか高層マンションがあるので、いざとなっては、そういう場所でも避難させて頂けたらと思います。
1305	30代	女性	10年未満	道路情報カメラを参考に積雪の状態を確認したり、通勤の参考にさせていただいているのですが、大雨の時なども川や橋などの状況がわかれば実際に確認でき参考になるのうれしいです。（ケイタイの積雪情報観測システムのような感じで）
1309	70代以上	女性	30年以上	公民館の設置場所が低いため、しっかりした高さのある建物を設置して欲しい。
1321	70代以上	男性	10～20年	津波・水害等の浸水等に備え市内の目立つ所に海拔を表示し、その場所からの避難場所を案内してほしい。
1323	30代	女性	10年未満	自宅のすぐ近くに新袋川が流れており、こちらの水害情報の方が気になる。大雨や台風の時、よく増水している。
1327	60代	男性	30年以上	各地域毎の海拔の高さが知りたい。全体的に海拔の高い所が少ないので実値的な避難場所・方法などの見直しが必要と思われる。
1369	60代	男性	10～20年	東吉成公民館（新袋川左岸）の堤防道路への坂路、裏法面から雨が降ると水がにじんでいると云うより湧れに近い。
1387	70代以上	男性	10～20年	川の中に中州や樹木が見受けられますが、取りのぞいて水の流れをよくしたらどうでしょうか？
1392	50代	男性	30年以上	過去の記録では想定できない程の気候変動が予想される。前例にとらわれずその時におけるベストな対応ができる柔軟性と高度な知識/技能を特に身近な地方自治体を持つべきである。
1394	40代	男性	10年未満	こまめに防災に関する情報を提供し、災害の備えに対する意識づけをしていく。（広報誌など）災害が発生した場合は、住民が不安にならないよう、少しの情報でも流していけばいいと思う。何も知らされないのが住民としては一番不安であると思う。
1416	70代以上	男性	20～30年	地域周辺の災害情報の速報。
1424	20代	男性	10年未満	大学とも連携をして対策を考えていって欲しい。
1425	40代	女性	10年未満	河川にたまっている土砂を取る。やみくもに不安をあおるような災害の報道ばかりではなく、実際にどのように避難すればよいか、各家庭でできる準備など誰もが取り組めるような内容を発信して欲しい。
1440	60代	男性	10年未満	山白川流域の大覚寺のサイフォンの内部の清掃、出口側の土砂の撤去が何より大切である。約50年間も県、市、大口の改良区の努力のなさに防災、減災に対する有り方が問われているはずである。県と市のポンプアップの有り方が、地域住民に真実が知らされずにいる事は今後の大きな問題である。大雨の場合主な幹川が流れるようにし、支線は止められるのかどうか。千代川流域の大口用水路や、大井手川用水路の管理の有り方に、地域住民の主体的な努力による管理の有り方を導入し、気候変化に対する素早い連絡の有り方と、認識を地域住民と共有しなければ災害等は本当に防げない事となります。本来の河川の堤防等がどれくらいの降雨に対応できるかをキチンと通常から周知すべきであると思います。単なる予想ハザードマップは県市、用水管理の責任逃れと言われても仕方ないと思われます。
1448	40代	女性	10年未満	自宅（吉成3丁目）裏の川は袋川ですが、大雨の時など、一気に水位が上がるので、そのたびに不安です。
1458	60代	女性	30年以上	地域で安全な建物（民間のものであっても）を決め（従来の公民館・学校は果たして安全か疑問視している）一時避難場所として契約し より近い場所へより安全に避難できるようにして欲しい。
1480	70代以上	男性	20～30年	天変地異に対応するにはとても大へんなこと。その都度考えられるしかないと思われる。○大幅な予算でもっと耐災害に備えるべき。姑息な手段はいけない先見の能力を要するもの。○一級河川が草木が繁り大木化している。あれは洪水のときものすごく■の■が■されると思うが-

地区名：美保（10）

No	年齢	性別	居住年数	意見
1505	50代	男性	20～30年	すぐ裏が川である。川がかなり増水していても何の情報連絡も入らないことが常である。“心理的な恐さ”というものもあるものであり、何等かの情報等は欲しい。インターネットは信用していないので画面内での情報は真偽の程がわからない。“人の声”“車の姿”での安心感というものは大きいと思っています。行政は更に更に前面へ出て行くべきであると思う。
1506	70代以上	男性	10年未満	テレビ、ラジオ等で連絡してほしい。
1513	50代	女性	10年未満	千代川の堤防をはさんで（土手下）すぐの所に居住をかまえているので大雨が続くと、自宅から千代川の水量が見えてすごく不安です。今までに千代川の堤防が切れたようなことがあったのか、過去の事がまったくわからないので、堤防の歴史を知らない事が不安であり、千代川の水量が多い時は不安で夜中眠れません。又、千代川の木もしげっている為、水の流れも悪くなる為、気を切ったりして、きれいにしてほしいです。
1516	70代以上	男性	20～30年	当地区は比較的平坦地が多いが、避難場所として指定されている公民館まで浸水状態のなかで到着できるか疑問である。少しでも高い処へ避難した方が良いと思われるが…
1517	40代	女性	10年未満	予想外の災害もあると過程したアピールをもっと多くお願いしたい
1522	30代	男性	10年未満	的場に住んでいます。最近の大雨で近くの川が危険水域に達しているとの報道があり不安になりました。水害対策を考えると、十分ではないと思うのですが、どうなのでしょう？（大呂川です。）ハザードマップでは近くの学校に避難するようになっているのですが、市立病院ではダメなののでしょうか？
1523	60代	男性	20～30年	千代川に限らず袋川、大路川も水害の危険があります。危険水量の情報をどのような経路で発信するのか教えてほしい。
1524	70代以上	男性	20～30年	近年世界的に地球異変が…地球温暖化 特に3.11の映像、或いは紀伊半島、佐用等の台風、水害等記憶に新しい人間の力では及ばない…想定外のことが発生する
1526	60代	男性	30年以上	機械が使えなくなれば危険な地区と思っています。メンテを継続して、災害被害を最少に食い止めていただきたい。必要であれば、住民の力を利用しても良いのでは。
1530	30代	男性	10年未満	袋川に気が茂っているため、増水時の上流から流れてきた木、ゴミ等で水の流れが止まり反乱の危険があるため対応していただきたい。

地区名：面影（1）

No	年齢	性別	居住年数	意見
1	40代	男性	20～30年	・千代川水系の排水機場の整備・堤防のパトロール
2	70代以上	男性	30年以上	自宅の近くが面影山があり地すべりの危険区域になっているが市（県？）はまだ善処してくれる気がないとの返事であった（一昨年）
3	60代	男性	30年以上	最近の災害は以前とちがいが局的になっているように思います。きめこまかな防災計画をたててください。
4	70代以上	女性	30年以上	千代川のはん濫はあまり考えてはおりません。1時間100ミリとか50mmとかの場合、前の道路が川のようになりステップアップがよく流されます。一方に多く降るため側溝の下水処理がうまく排水せず側溝から逆に雨水がふき出している状態です。
5	60代	男性	30年以上	○森林の保全 ○土石流対策
6	60代	男性	30年以上	年寄りが増加している中で、特に一人暮らしの年寄りを、災害時にどのように避難させるかを決めておく必要があると思う。
7	70代以上	男性	30年以上	地区公民館単位で定期的に行うようにしてほしいと思います。
8	70代以上	男性	30年以上	(1) 問4. 5の設問に記した内容。(2) 大金をつぎ込んだダムは鳥取市街の洪水に対して、どれほどの効果が期待できるかなどのPRが不足しているのでは？
9	60代	女性	10年未満	市役所建替、駅前（大丸前）開閉アーケードに税金使うなら防災設備等（老人対応・病人対応）にも目を向けると良い。
10	50代	男性	20～30年	○自分が住んでいる地域の過去の水害の有無、有れば、その内容を広報資料で出してほしい。○自分の地域で本当に水害が発生する危険性があるかどうかの可能性、それは、どの位の雨量でどの様になるのか等の統計、データをホームページ等で広報してほしい。水害の危険性の度合によって準備の程度、仕方が違ってくると思う。
11	70代以上	男性	30年以上	テレビ○ラヂオ等により連絡して下さい。
12	70代以上	男性	30年以上	○利水権を主張するからには、水路の除草、水の流れを良くする義務を果たさせて欲しい。○むづかしいだろうが、ゲリラ豪雨予想？地震予知等、完璧に出来たらなァ～！
13	60代	男性	10～20年	※どの程度まで県や市が水害等に取り組んでいるか市報等で具体的に発表して通達して欲しい。
14	60代	女性		「市報」で、水害、地震の防災に関する資料をのせて下さい。
15	70代以上	男性	30年以上	テレビ・ラジオの情報で市などの情報は余り聞いたことがない。
16	60代	男性	20～30年	「地滑り」への対策をお願いしたいです。豪雨・台風による大雨で悲惨な状況をテレビ・新聞等で見聞きしています。
17	50代	男性	30年以上	水路の幅を拡大。水路のつまりの点検。危険ヶ所の早期対策。
18	70代以上	男性	30年以上	防災減災とは水害だけでなく地震、火災、突風等まで含めるべきであります。統一された企画による防災計画を望みます。
19	60代	女性	30年以上	地区ごとに近くの河川が氾濫した場合、水がどのように住宅地に流れ込んでいくか、シュミレーションし、避難方法と経路を考えるような会合を開いてほしい。
20	50代	女性	10～20年	新袋川の水量はどんな判断で調整・調節されているのか知りたい。雨の夜、土手沿いの道路を通ると水量が増えており、恐さを感じることもあるが・・・放水の際はサイレンが鳴っているのだろうか？聞こえないのだが・・・。
21	40代	男性	10～20年	河川の拡幅
22	30代	男性	30年以上	田畑、山林等が徐々に無くなり宅地へと変わっている。本来、土地が吸収する分の水量まで河川に流れ込んでいる事も考えられると思う。景気対策・雇用対策等々の為もあると思うが、市町村における土地開発計画の見直し、必要以上に宅地を多くしていくことが良いのか？（高齢化社会、核家族等の問題も含め）。
23	30代	女性	10年未満	避難場所を各地域、各家庭に伝えるなどしてほしい。
24	70代以上	男性	20～30年	水害に対する地区での対応を皆で協議する事が重要と思う。現在は何もないのが不思議に思う。
25	70代以上	男性	30年以上	河川に多くの雑木が繁殖し、水の流れを阻害して田畑に流れ込んでいます。河川の整備を要望します。
26	70代以上	男性	30年以上	公共工事(水防ダム、大型堤ぼう)の大規模なものは、千代川水系ではもう必要ないと思う。今までは必要だったが、福俵、八東、川中の山腹に作られている砂防(水防)ダム本当に必要なのか疑問に思う。200年300年に1回の災害に備える工事は必要なし。そうした災害は自然の浄化として必要なのではないかと思う。

地区名：面影（2）

No	年齢	性別	居住年数	意見
27	70代以上	男性	30年以上	川のはん濫による"洪水"だけでなく、私の家は山手にありほとんど"洪水"は心配ないと思うが、"ごう雨による山くずれ"が懸念されるので、そうした"水害"にも"どう対処すべきか"を教えて頂ければ幸甚。
28	60代	女性	30年以上	近くの河川の中の木が成長して洪水になった時、流れを邪魔しそうですが取り除かなくては良いものでしょうか？それとも訳あって植えてあるのかいつも気になっています。
29	60代	男性	30年以上	・自助、共助の意識の向上に対する支援・防災情報の提供と周知徹底すること。※せっきくの提供を知らないのでは問題
30	40代	男性	30年以上	災害に対して敏感すぎる。100年に1度、一生に一度くらいの災害なら、まあ仕方ないかと、あきらめられるのではないかな。
31	30代	男性	30年以上	防災は必要だが、過大なものまでハードで考えるべきではない。東日本大震災での10m以上の津波防波堤整備の計画など、異常な考え方である。逃げるルートの整備等、現実的な対策を！
32	30代	女性	10年未満	大きな川への防災対策は日頃より目は向けられていると思うのだが、地域に流れる用水路に対してはあまり注意が向けられていないのではないだろうか。局地的な豪雨が発生した場合、まず水があふれるのは道路脇の用水路。その用水路を自分たちの都合（田畑に水をあげる為）でせき止めている事が非常に迷惑で危険に感じる。現に自宅近くで行われていて、大雨のたびに道路に水があふれている。直接注意もしにくいので、自治体などで促してもらえると非常にありがたい。あとは、水量の多い用水路へのガードレールなどの設置ももう少し細やかにしてほしい。
33	30代	女性	10年未満	水害もだし、地震や竜巻など、何が起こってもおかしくない世の中になっているので、道路が分断されたり、避難出来ずに孤立したら・・・と考えれば考える程恐ろしいです。道路や橋などの強度の面、言い出せばキリはないですが、とても気になります。いろいろと大変でしょうが、宜しくお願い致します。
34	40代	男性	10年未満	千代川河川アドバイザー会議のような取り組みが地方自治体にも広がっていくと良いと思います。
35	40代	男性	30年以上	雲山地区に住んでいたころ、水害のマップがくぼられており、ひなん場所などが記されておりわかりやすかった。しかし、面影地区に移ったが、ひなん場所が不明確（この地域は、面影小学校、桜ヶ丘中学校、公園など特定されていないマップなど周知がされていない？）である。西日本大震災があり、また周りには高齢の方も多く、不安が募るばかりである。家族とも、災害にあったときの集合場所を決めておきたいが、指定場所がわからなかったのので、近くの小学校と勝手に決めている。避難ルートは地震時大丈夫なのかと思いつつ、話し合いをした。
36	50代	男性	10年未満	訓練と万が一に対する防災に対する意識を高める必要があり一人々の日常の中で改革されるべきその啓発啓望をなすべきである

地区名：美穂（1）

No	年齢	性別	居住年数	意見
1	50代	男性	30年以上	体験的に行政は危険水位（例え）まではポンプ、■内等を動かさない。予防的に基準の半分の水位くらいから動かす（予防）すべきであるといつも感じる。
2	70代以上	男性	30年以上	①千代川河川敷の木を全部伐採して下さい。千代川をきれいにして下さい。ゴミや木に引かかってきたない②中州のジャリを撤去すること
3	70代以上	男性	30年以上	千代川はいつも用瀬町の左岸が決壊する。地形的なものなのか人工的(作為)なのかよくわかりませんが、何故抜本的改修(強度的に)がなされないのか不思議です。なお、河原町布袋地区から下流は左岸が作為的に低くしてある、とは本当でしょうか？もしそうであるならこれ以上の差別はありません。
4	70代以上		30年以上	参加活動には参加したいが、何分手を取って行く上に足が悪くなって来ました。自分が動ける様になった時の事を考えれば、自分を守る事を考えて人の邪魔にならない様にしたい。
5	70代以上	男性	30年以上	近年、気象変動に伴う異常気象が多発。防災対策の強化を望む。
6	70代以上	男性	30年以上	温故知新 地域毎に、地域に適した防災計画を周知をあつめて計画すること。机上の空論では必ず「想定外」が起きる。自然の力は絶大で、人智を絶する。
7	40代	男性	30年以上	非常用のボートの各地区への配置
8	70代以上	女性	30年以上	地域にあるきん急放送は外にいる時は聞えるが家の中にいる時は聞えない。我家のように聞えない家がある事を知ってほしい。でもその電柱に近い家にはこれ以上ボリュームを上げるのも出来ないでしょう何かいい方法はないのでしょうか。先日の防災訓練の時（市全体）携帯電話（au）もダメでした。
9	50代	男性	30年以上	500年に1度あるいは1万年に1度、もっといえば1億年に1度の災害には対応は困難だということを知った上で国や地方自治体に対応して欲しい。（公共事業の範囲の縮小）（都市への人口集中をやめる、等）（余分の公共工事は必要ない）
10	60代	男性	30年以上	梅雨や台風シーズンには鳥取地方気象台の情報をいつも電話で確認しています。千代川は水害に強いのでとても安心してしています。いわゆる構土構木がしっかりしているので心強く思って生活しています。古来、治水事業は国家の基本であり、鳥取県においても防災対策をしっかりと確立して頂き、安心、安全に暮らせる郷土にして頂くようよろしくお願いします。
11	70代以上	男性	30年以上	インターネットや、携帯サイトといった現在のITを知らない人が多くいると思います。そういう人達の為にもっと分かりやすい方法を考えて欲しい。命のかかわる件ですので、カタカナは余り使用しない方がよいと思います。
12	70代以上	男性	30年以上	千代川河川敷にある立木の伐採、土砂の取り除きをすれば水の流れがよくなり、水害が防げるのではないかと考えます。
13	50代	男性	30年以上	スピーディな情報・対応
14	50代	男性	20～30年	鳥取自動車道の設置により川の水が雨天時に急に増えるようになった。雨量による水かさの速度等情報を流す手段を講じるべきではないでしょうか。
15	50代	男性	30年以上	森林の保水環境を整える
16	70代以上	男性	30年以上	防災甲の構外に設置されている放送設備は、住宅に戻る時は聞こえない。
17	60代	男性	30年以上	自治会単位での勉強会がきちんと実施できるような支援（災害時の対応は自治会単位の取り組みや判断が重要）

地区名：倉田（1）

No	年齢	性別	居住年数	意見
0083	40代	男性	10年未満	地域に合った、気候変動情報を、テレビにて公開して行けば、もっと被害の軽減が図れると思う。
0116	70代以上	男性	10～20年	大路川南側のカサ上げ工事が進んでいない様に思いますが？これが終ると的場地区の安全、安心がとりあえず達成されると思っています。
0229	70代以上	男性	30年以上	・繰り返し、当該情報（ex.今取っている対策etc）を提供し、常に防災意識の動機付けを願いたい。＊災害が遠ざかると意識も低下スル。ex）、T、Vコマーシャルの如く、反復して。・千代川の土堤を、河川パトロールカーがゆっくり走っている様を見ると、とても安心します。平素の河川管理の姿に感謝して居ります。
0280	70代以上	男性	30年以上	国は防災施設（堤防）の現状をよく調べ対策を考えること。現実には堤防があるからと思いがちであるが、叶水源地附近の堤防は堤内地のコンクリート舗製の天端を越す水位に上昇すると、堤外地（地域の農地側）に堤防からしみ出した水が流れ出し、農地に湛水する。このことによって、畑地は被害を被ることがある。洪水時に堤防を巡視して実態をよく知るべきである。
0441	60代	男性	10～20年	災害を防ぐためには、元を正しくすることをしなければならぬ。水害の根本の原因は森林がなくなってきたと考えているため、林業に力を入れる政策を今からでも討つべきである。
0503	30代	女性	10年未満	ホームページなど、みんながかんたんに情報をゲットできる手段があるんだよ！！ということをもっとCM、しんぶん、ポスター、看板などを使ってアピールしてほしい。年輩の方には新聞、広告の方がいいかな？
0598	60代	男性	10～20年	円山川や佐用川のように異常気象による集中豪雨の為、いつ何時千代川の堤防が決壊するかも知れない。堤防の集中見回りや、激流に弱い所の補強及び周辺市民への周知を図る。又小型模型を作れば（大学の研究室に依頼）どこが激流の当たる所かが解るはずだ。写真では一見するだけで心にあまり残らないと考えるので、どしどしビデオ、DVDで動く画を見せれば、心に残るのではないかな。頑張ってください。
0723	20代	女性	10年未満	○千代川の中州を取り除いてほしい。（大変な費用が必要なので難しいとは思いますが）○大風の時など、県内の洪水情報がテレビの端の方に流れることがあるが、情報が遅かったり、（近くの大路川があふれてポンプ車が来ていたのに何も情報が来なかったり）とても不安だった。（本当に避難しなくていいのか）本当に避難することが必要な場合、防災無線だけでは風や雨の音で聞こえず逃げ遅れそうなので、エリアメールやテロップなど、発信方法を増やすべきと思う。○これは津波についてですが、以前市報に米子、日吉津地区の浸水マップが載っていましたが、鳥取市については書いてありませんでした。鳥取市は津波による被害の心配はないのでしょうか？ぜひ鳥取市バージョンで作成いただきたいです。
0817	30代	男性	10年未満	・現在の整備状況 何が整備されていて、今後どういう整備がされるのか。 ・現在の体制で、何が起こると被害が大きいかわかりたい。 ・色々情報公開されていると思うが、それにたどり着いていない人が大勢いるように感じる
0864	70代以上	男性	30年以上	河川敷の樹木が多くあり、又、それが年々成長し、大水があったときは、流れがよどみ、そして、ゴミがひっかかり、流水を妨げることがあるので撤去したらどうか。
1091	40代	男性	20～30年	・万全な治水工事・弱者救済体制の強化・地区住民への啓発活動以上を推進してほしい。
1194	40代	男性	10年未満	毎年の訓練
1393	30代	男性	10年未満	状況によっては、防災鳥取市の放送が、聞こえないことがあります。携帯やパソコンを「使いこなせる世代は、万一」聞こえなくても、そういったツールで情報を入手できるが、希望者かお年寄りだけの家など、各家庭に直接伝えることのできる防災無線（放送）システムのせいびが必要ではないかと」思います。

地区名：米里（1）

No	年齢	性別	居住年数	意見
1	60代	女性	20～30年	地域住民がすすんで参加するような魅力的な方法してほしいです。（参加者には何か得があるような方法） 鳥銀文化ホールなどでイベントがあるときに、広場で魅力のある説明会をするのもいいと思います。
2	60代	女性		今年、大雨で大路川があと数cmで決壊と言うニュースが流れましたが、その対策は出来ているのか、知りたいです。
3	70代以上	男性	20～30年	○当地には水害に対する避難場所がない。ビルなどの高い階がある場所までは相当な距離がある○水害だけならば自宅の二階で良いと思うがこの地域が千代川の氾濫により水位はどこまでになるのか等の具体的な予測位が知らされていない
4	60代	男性		書面での連絡より、口頭での説明（対面）をしてほしい。災害時、避難勧告時の自治体職員の支援の充実、お年寄り、身体不自由者に自治体職員の支援
5	60代	男性	10～20年	河川の土手を散歩しているが河川敷に生えている雑木を切ったほうが良いのになあと散歩しながらいつも思っている。
6	60代	男性	10～20年	鳥取市配布のマップが現実（現状）にあるものかギ間である
7	30代	男性	10年未満	大路山東側の工事は何のための工事だったのでしょうか？地元？住民に知らない者（私）がいます。周知はしておられたのでしょうか・・・不安です。
8	50代	男性	10～20年	正確な情報提供
9	70代以上	男性	30年以上	①防災無線の設備が足りないと思う。実際に風雨の激しい時などは、役に立たないと案じている。②避難場所が遠い。実際に風水害があれば避難することが困難。
10	50代	女性	20～30年	大呂川（近くの川）がはんらんしたらどうなるかわからない。まづいつも危い状況なのでこういう川を安全にしてほしい。
11	50代	女性	20～30年	千代川での防災訓練は聞くが大路川、八東川などの水位が増すことが近年多くなっている。地区ごとの防災をしてほしい。
12	60代	男性	10～20年	学校・公民館等の避難場所は海拔何mにあるのか標示が必要である。又津波等で浸水すればどの位の位置まで浸水するのか標示が必要である。
13	50代	女性	20～30年	危険なところのチェック、修理
14	30代	女性	10～20年	防災メールにて、大雨の度に東雲山、雲山、大路は、一体どうなるのかと不安に思っています。ここに住むべきではなかったとも考えます（将来、子供達とどう住むべきか）引っ越すとなる判断は、一度浸水してからになるでしょうが、逆にそうならないように治水対策を進める。堤防を上げる、河川改修をする、何故行えないのかと思います。自らを守るだけではなく最悪を考えた場合の計算で予想、想定した河川の安全対策工事も行うべきでは？今、流行の「想定外」では安心は出来ません。このアンケートも結果があると期待して返信するのです。
15	60代	女性	30年以上	今はゲリラごう雨で水量が急に増加することが多くなっていると思います。以前は田舎の方では田んぼをたくさん作り、水を利用していました。ところが近年は田んぼを作る人も減り、少しの雨でも、イッキに下流に流れ込んでくる。あたり前の事を書いていると思いますが、これが一番の理由だと思います。

地区名：大和（1）

No	年齢	性別	居住年数	意見
1	50代	男性	30年以上	河川改修（堤防をより強固に、また高く）
2	40代	女性	10～20年	防災訓練、勉強会、防災活動等、時間を作って参加するにはそれぞれ家庭の事情などもある為、問4（3）で回答したように、広報資料、新聞などで、多くの人の目にふれるような資料の配布を行って下さい。
3	60代	男性	30年以上	洪水ハザードマップは千代川を基準にしたものであり、地域によっては関係のないマップである。ここ玉津地区のように、各地域にはため池を上流域に5つも抱えているところもある。想定外の雨によってため池が連鎖的に破壊された時どうなるのか誰も知らないし、不安である。このようなケースを想定したハザードマップづくりが急がれる。
4	60代	男性	30年以上	私の住む所では、降雨による水害に併せ、土砂災害も心配される。地形によって変る防災活動を望む。
5	60代	男性	30年以上	予算・人員、緊急度等はあるものの急傾斜地等の災害整備、又混交林化の啓発・整備促進を国策として推進して頂きたい。
6	60代	男性	30年以上	避難指定場所が（自宅より低地のケース）本当に安全かどうか検証する必要がある。避難したことにより又、避難中自宅に居る方が安全な場合がある。家の立地する状況によって個々に異なり、加えて中山間地は農業用貯水池の崩壊などの危険との関わりの上で判断を下す必要もある。
7	60代	男性	30年以上	必要な箇所を整備する※不必要と思われる場所の整備が多い※専門的に必要かもしれないが一般人に説明不足

地区名：河原（1）

No	年齢	性別	居住年数	意見
1	60代	女性	10～20年	・深層崩壊の調査はもう終わったのでしょうか。調査データ（日本全体）は、どこに提示されているのか知りたいです。空からの大がかりなものか聞いているのでまだ終わっていないのかも知れませんが。今後の防災マップに生かされる予定ですか？・小学校での命を守るための基礎的教育は理科、社会が主となるのでしょうか。＋防災教育が何単位か義務化されているのでしょうか。将来、日本を背おう子供の教育も大切だと思います。（専門分野への道すじをつけておく）・災害に関する川、河の研究は活発になされ、日常の業務改善等々生かされているのでしょうか。
2	60代	男性	10～20年	河川の護岸が崩れるのは、水が当たる（ぶつかる）所が大半だと思います。頑丈（例えば厚さ1m程のコンクリート）な物が良いです。千代川も支流（八東川、私都川、曳田川、佐治川、土師川、新見川など）も堆積物で浅くなった。浚せつが必要。
3	70代以上	女性	30年以上	水害や地震の時の避難場所をよく分かるように広報紙などで知らせてほしい。
4	40代	男性	10～20年	11月に千代川が氾濫したという設定で防災訓練があり夫婦で参加しました。避難場所が芝公園でしたが、河川近くで高台でもない為実際、起こった場合の事を考えるととても不安でした。（地震等の場合であればあり）参加した方々と話したのは川と平行に避難しても意味がないので山に、避難ルートを確認の方が安全という事でした。（日赤の方の応急処置の講習会はとても参考になりました）本当に地域住民が安全に避難できるルート、場所を指定して頂きたいです。防災無線も途切れる事もあり各家庭への確認も必要だと思います
5	60代	男性	10～20年	国内の相互に離れた同規模の市町村同士を国レベルで指定し、避難民受け入れ準備する（廃校になった校舎、老朽した県、市住宅等をリホームして利用出来ないだろうか）又は国内の数ヶ所に大規模な避難施設を作っておく。
6	60代	男性	10～20年	河川の川床が土砂、木、竹等により上昇して雨水が千代川に流入するのを防ぎ、今のゲリラ豪雨等では水害の恐れが非常に高い。何故、国はこのことを知りながら対策を打たないのが、不思議に思う。
7	60代	女性	10～20年	昨年度よりの大事をみて、寄付とか協力とかボランティア等に來た人まで届かんことばかりと考えます。意見は通りますか。
8	50代	男性	10年未満	危険箇所の洗い出しと対応マニュアルの策定（理解しやすいもの）。情報収集方法のPRを徹底（理解不足が多々ある）

地区名：用瀬（1）

No	年齢	性別	居住年数	意見
1	40代	女性	10～20年	ローカル情報を知りたい時にわかるようにしてほしい。例えば、台風の時など首都けん直げきの時などはずっと気しょうニュースをするのにローカルのみのひがいになるととたんになくなる。地域情報を身近なものにしてほしい。
2	60代	男性	30年以上	千代川のバランスをとる。
3	60代	男性	30年以上	災害時の避難活動について。避難活動等における備品購入は、自主防災組織からの申請により購入できるようになっているが、新市地区は、今までの公民館活動が地区の活動であり避難活動もその一環としており、自主防災組織を立ち上げていないのが現状である。自主防災組織からの申請でないと購入できないのではなく、経過措置として公民館や自治会組織等からでも申請し購入できるようにして、災害に対する備えをすみやかに多くの地区が行えるようにしてほしい。河川国道事務所に言う意見ではないと思いますが、地方自治体（市役所）への意見として書きました。
4	70代以上	男性	30年以上	護岸について、自然石を可能な限り小魚やうなぎの棲む川になればと思う。
5	50代	男性	10年未満	河川に流れる小路、樋門の操作をしなくなった。（用水路等）高齢化が進み、こまめな作動をしなくなっている。
6	60代	男性	30年以上	早めで分かりやすい情報の提供（地方自治体の情報は遅く分かりにくい）
7	50代	女性	20～30年	洪水ハザードマップをいただいているが、見方がよく分からない。説明会などがあると良いと思います。
8	70代以上	男性	30年以上	防災工事は中断しないで早急に完成させること。
9	60代	男性	30年以上	予測できない雨量に対して、河川の地域の洪水シュミレーションを住民に周知がして欲しい。例えば、雨量何ミリが何日続いたとき、現在のところでは、どの地域が浸水の恐れがあるか図示等
10	70代以上	男性	30年以上	過去千代川の危険箇所（気になる場所）の改善を地区館長を通じて図示（写真で）したが当時の支所長の返事が「担当外だから」という返事で無視されたのに腹が立っている。現在ほど防災意識のない時期だったが役所とはまあそんなものと思わざるを得ない。ナンセンスだ。
11	70代以上	男性	30年以上	女子、子供、老人、身体障害者等弱者に災害等の程度を早期に情報を出して避難、誘導をしてもらうことを願うばかりです。千代川の氾濫はまだ経験ありませんが何処でどうなるかわからない異常気候の今日この頃ですので、特に災害のおこる前に地方自治体は良く考えてほしい。
12	50代	男性	20～30年	近年の気候変動が激しい為、予想がつかない事例が多いですが、危機管理が、まだまだだと思います。最悪のパターンを想定して取り組んで下さい。急務だと思います。いかなる仕事よりも、今は、第一だと思う。
13	70代以上	男性	30年以上	私の提案。千代川が増水した折は用瀬の町より水が高くなります。国道53号で防いでいるところでこんな所は他県にもいたる所に在ります。私が申上げている所は川の中に岩が在り流を妨ています。岩を撤去して流を改良して頂きたい。私の住家は全て安全な所に居ます
14	70代以上	男性	30年以上	平成10年10月の千代川が増水で鳥取市用瀬地区は国道53号まで浸水しました。現在鳥取市用瀬地区は千代川改修工事が進められています。一日も早く改修工事が完成して安全・安心で暮らすことができますよう希望します。
15	50代	男性	10年未満	防災情報の提供方法の多様化。お年寄りにもわかりやすいCATVを利用した情報提供。（ぴょんぴょんやNCNのデータ放送）千代川水位変動。千代川増水の映像、避難状況など。

地区名：不明（1）

No	年齢	性別	居住年数	意見
1	50代	男性	30年以上	水害に備えることは必要。ただしそれを口実に大量の税金を投入していたずらに公共事業を増やすことは、絶対に止めていただきたい。
2	50代	男性	10年未満	防災工事や復旧工事を目にするが、期間が極めて長く、その効果が不明瞭であり、工事を継続するための工事に見える。期間を要する理由、工事により得られる防災強度、安全係数の増加度合を一般の者が見て分かる具体的に簡明な情報を継続的に（例えばパネル）明確にすべきである。
3	60代	男性	30年以上	以前は河川の改修がよく行われていたが、現在は中洲に木が生えたりして容易に洪水時には災害が起き易くなっている。
4	40代	男性	10年未満	ハザードマップの毎年配布
5	60代	男性	30年以上	河川の改修、立川町、天神川の清掃、草木、立木で水の流れが悪くなっている。
6	70代以上	男性	30年以上	河川管理とダムなどの運用技術など全くのシロートであるが、日ごろ思っていること、2点下記します。1.千代川水害の一つ袋川（国府を流れる本流）に7級ダムができましたが、この有効管理は大変だろうと思っています。ところでダム活用以外に河川の理状に心をうばわれます。総体河川が放置状態に どんどん河川が埋まっているのではないですか。海拔との関係等地形のこともございいますが、洪水時有効な河川状態でありたいものです。2.八頭郡内のふるさとに行ってしまうこと、河川と道路の関係、自動車時代の今日、道路重視で河川敷にはみ出した石垣等の張り出し拡張、洪水時ひな道路上を流れるだろうなと思いながらみております。
7	60代	男性	30年以上	防災機器等の説明を住民他に分る様にして欲しい
8	40代	女性	10年未満	日ごろから注意を促すような記事やTV放送などがあれば関心を持ち、持続しやすいかと思います。
9	60代	男性	20～30年	現在実施されていない行政機関による下水本官の定期的清掃。住宅地近辺の排水溝の定期的清掃。（市の一斉清掃では不十分）鳥取港からの津波・豪雨による千代川氾濫で鳥取市内は全滅する。千代川護岸高上げ工事を急ぐべきと考える。
10	70代以上	女性	30年以上	防災活動は必要ですが、年令的にも家族がない場合は仲に参加しにくい参加出来なくても災害時には避難出来るようなシステムにして欲しい。
11	20代	男性	10年未満	洪水等の際に水があふれてもよい干渉地を設けるべき